

葡萄産地の産地

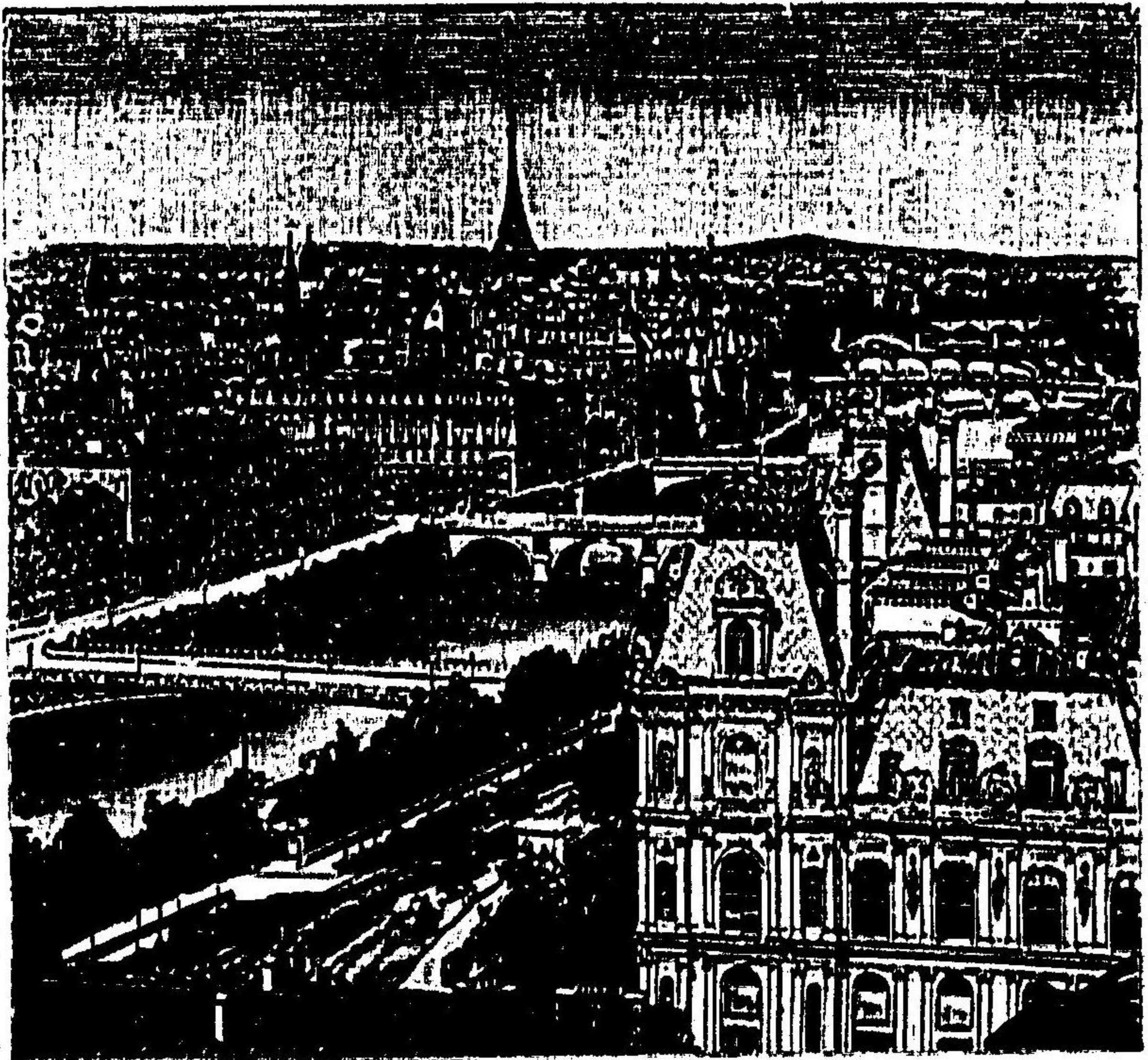
意匠の巧妙にして、華奢の美術品を製するに至りては、遙かにその右に出て、殊に絹布の紡織は、國人獨得の長技にかかり、よく世界の流行を左右し、絹紗、レース織陶器、時計等の製

近時盛大に趣き、石炭鐵の如きは、年々採掘を増せども、産業の盛んなるが爲め、猶輸入を仰ぐもの少なからず、工業は、實にこの國富源の大本にして、製造高よりすれば、イギリスに敵せざれども、

造亦他國の背後に落ちず、我が國との取引は、絹布、綿布、葡萄酒等を輸出し、生絲、羽二重、米、樟腦、魚油等を輸入す。住民は、大部ラタン民族に屬し、皆愛國心に富み、名譽のためには、敢てその身を顧みざれども、一般に忍耐の氣象に乏し。宗教は、基督教の舊派最もよく行はれ、一部の民僅にその新派を信ず。

政體は、普佛戰爭以來、共和政治となり、大統領を民選し、代議元老の兩院を以て立法議會を組織す。軍備は、陸軍の常備兵六十萬を有し、海軍は、戰艦二十八隻と、他の艦艇とを合せ、て三百五十隻を有し、優勢世界第二に位す。安政年間、我が國と通商條約を結べり。

パリは國の首府にして、人口二百五十萬、セーレン河に跨り、市



パリの市街

四二

區は、ロンドンの三分の一にも及ばざれども、市街の清潔、家屋の端麗なるは、いふまでもなく、ノートルダムNOTRE-DAMEの寺院、博物館、圖書館、繪畫樓、凱旋門、國立劇場等の宏大なる建物

人口約五十萬

人口約四十五萬

多く、又士民は、一般に美を競ひ、華を逐ひ、服裝風俗の流行に於ては、常に他國に先鞭をつけ、世人の稱して「衣食住の世界の都」といへるもの、實に過言にあらず、この地に我が國の公使館あり、府の近傍のヴェルセール(VERSAILLES)には、ルイ十四世の宮殿あり、パリよりセーヌ河を下れば、ルーエン(ROUEN)及びハーヴル(HAVRE)あり、前者は綿布の紡織盛んなるにより、フランスのマンチヌ(MANTON)といはれ、後者はイギリス、北米合衆國との間に綿布の輸出入あるにより、「フランスのリッツ、ブルポール」と稱せらる。リオン(LYONS)は、ローン・ソーン(SAONE)の合流點に位し、絹織物本場の地にして、各國の生絲は、一時ここに集り、更に他國に輸出せらる。我が國はここに領事館を置けり。リオンよりローン河を下れば、左方の海岸にマルセール(MARSEILLE)あり、リオン灣に臨み、埠

人口約三十萬

頭は人工になれるを以て、敢て良港といふべきにはあらずれども、スーエズ運河の開けし以來、東洋諸國に通ずる地中海屈指の要港となれり。我が日本郵船會社のヨーロッパ線汽船ここに寄港す。本港の東なるツローンは、名高き軍港にして、巨大なる造船所あり。ここより遙か南東の**コルシカ島**は、フランスに屬し、ナポレオン第一世の生れし處なり。**ボルド**はガロン河口、いはゆる**ジロンド河**灣の西岸に位し、葡萄酒の輸出を主とせる大西洋の一大貿易港なり。フランスの東南隅に位して、地中海に瀕せる**モナコ**侯國は、面積一方里餘、人口一萬三千餘あり、フランスの保護を受け、國法はフランスの法律を用ひ、軍隊は、五人の將校と七十人の兵卒とよりなる。

和蘭

(低地の國)

(八)オランダ

オランダは、又**ネザランド**とも稱す。ドイツの西に位し、大部は、**ライン河**の三角洲よりなり、面積二千平方里、人口五百餘萬あり。

地勢は、一般に低平にして、ヨーロッパ大平原の一部をなし、沿海の地は、海面よりも低き處あるにより、堤防を築き、海水の侵入を禦げり、されど、猶時々氾濫して、非常の水害を蒙る處とあるを以て、城内到る處、溝渠を縱横に疏し、風車或は唧筒を用ひて、始終海水と戦ひ、現時、北部に彎入せる**ザイデル海**の如きも、海水の侵入によりて變ぜしものにして、上帝は海



風車

を作り、オランダ人は岸を作れりと
の古跡は、敢て誣言にあらず。
氣候は、大抵温暖なれども、土質の沼澤性なると、

海氣に曝さるるとにより、濕潤にして變化し易く、降雨亦甚だ多く、快晴の日は、年内至て少なし。産業は農事の行はれざ

るにはあらざれども、牧養最も盛大にして、牛酪、乾酪、及び肉類の輸出を以てヨーロッパに知らる。
住民は、大部チャートン民族に屬し、宗教は、基督教の新派最もよく行はる。政體は立憲君主政治にして、兩院制の立法議會あり。安政年間、我が國と通商條約を結べり、されど、我が國とは、文祿の頃より交通し、慶長年間には、九州に來りて交易せしことありて、當時我が國人の、いはゆる紅毛人とは、即ちこの國人のことにして、西洋の文物が我が國に入りしは、この國との通商によるもの多し。

ヘーグ (CHAGRE) は王國の首府にして、人口二十餘萬國の西部に位し、王宮、議院の建築壯大なり、この地は、西曆千八百九十九年、萬國平和會議を開きし地にして、我が國の公使ここに

人口三十
餘萬
人口五十
萬

駐在す。ロ^二タルダムは、ヘーグの東南に位する海港にして、ラ
イン河によりて、ドイツとの貿易盛んなり。ア^三ムスターダム
(AMSTERDAM) は国内第一の都會にして、ザイデル海に臨み、運河によりて、
通ぜる九十の小島に跨り、三百の橋梁を以て市街を列ね、民
家は、沼澤に杭を建て、その上に築き、王宮の如きも、亦許多の
材木を以て殿樓を支ふ。この地に、有名なる金剛石工場あり、
世襲の君主は、即位の大禮をここに行ふを例とす。

自注

(九)ベルギー附ルクセンブルグ大公國

ベルギーは、ドイツ・フランス・オランダの三國に夾まる。面積
(BELGIUM) は、オランダより小なれども、人口は六百七十萬以上を有し、

面積に比して、人口の稠密なること世界第一たり。

地勢は、東南部に山岳稍起伏すれども、北部西部は、オランダ
と共にヨーロッパ大平原の一部をなす。氣候は、オランダと同
じく、大抵溫暖にして、西部は濕潤なり。この國は、産業發達の
要素たる鐵石炭の給供潤澤なるにより、鐵器硝子はもとよ
り、製造工作頗る盛んに、又四隣に購買力の強き大國を控ふ
るを以て、外國貿易甚だ盛大なり。我が國との取引は、鐵硝子
類を輸出し、米、熟銅、絹布等を輸入す。

住民は、フロン民族を主とし、又フロン・ラテンの混合種
族あり。宗教は、大抵基督教の舊派を奉ず。政體は立憲君主政
治にして、兩院制の立法議會あり。慶應年間、我が國と通商條
約を結べり。

三人口約六
十萬

ブリッセルズ (BRUSSELS) は王國の首府にして、國の中央に
 位し、鐵道運河の中心に當りて、商工業盛んに行はれ、市街ま
 た美麗にして、蓄養軒を並べ、博物館には、繪畫、彫刻、寶石等珍
 奇の物品を列ね、世人稱して「小パリ」といふ。我が國は、ここに
 公使館を置く。府の南のウォーターロー (WATERLOO) は、ナポレオンの戰史
 に名高し。アントワープ (ANTWERP) は、スケルト河口に位
 し、綿布の製織を以て著はれ、港内水深く、大船の出入自在な
 り、我が日本郵船會社の汽船も、ここに定航し、領事館の設け
 あり。ゲント (GENT) は、スケルト河の航行極限に立ち、工業盛んにし
 て、綿布の製造はマンチヌスタルと競争す。
 ベルギーの東南隅なるルクセンブルク大公國は、面積約百七
 十方里、人口凡そ二十二萬を有す。この國はもと、ドイツ同盟

三人口約三
十萬

中の一なりしが、西曆千八百六十七年以來獨立し、大公爵の
 君主國を治む。

(十) イギリス

英吉利

イギリスとは、イギリス海峡を距てて、フランスと相對する
 ブリチシ群島を稱し、大ブリタイン、アイルランドの二大島
 を主とし、大ブリタイン島は、更にイングランド、ウェールズ、
 ユートランドに分れ、政治上アイルランドを合せて、大ブリタ
 ーン、及びアイルランドの合衆王國と稱し、海外の領地、殖民
 地を合せて、ブリチシ帝國と稱す。面積は我が國のより北海
 道、臺灣を除きたるものに等しく、人口四千萬あり。

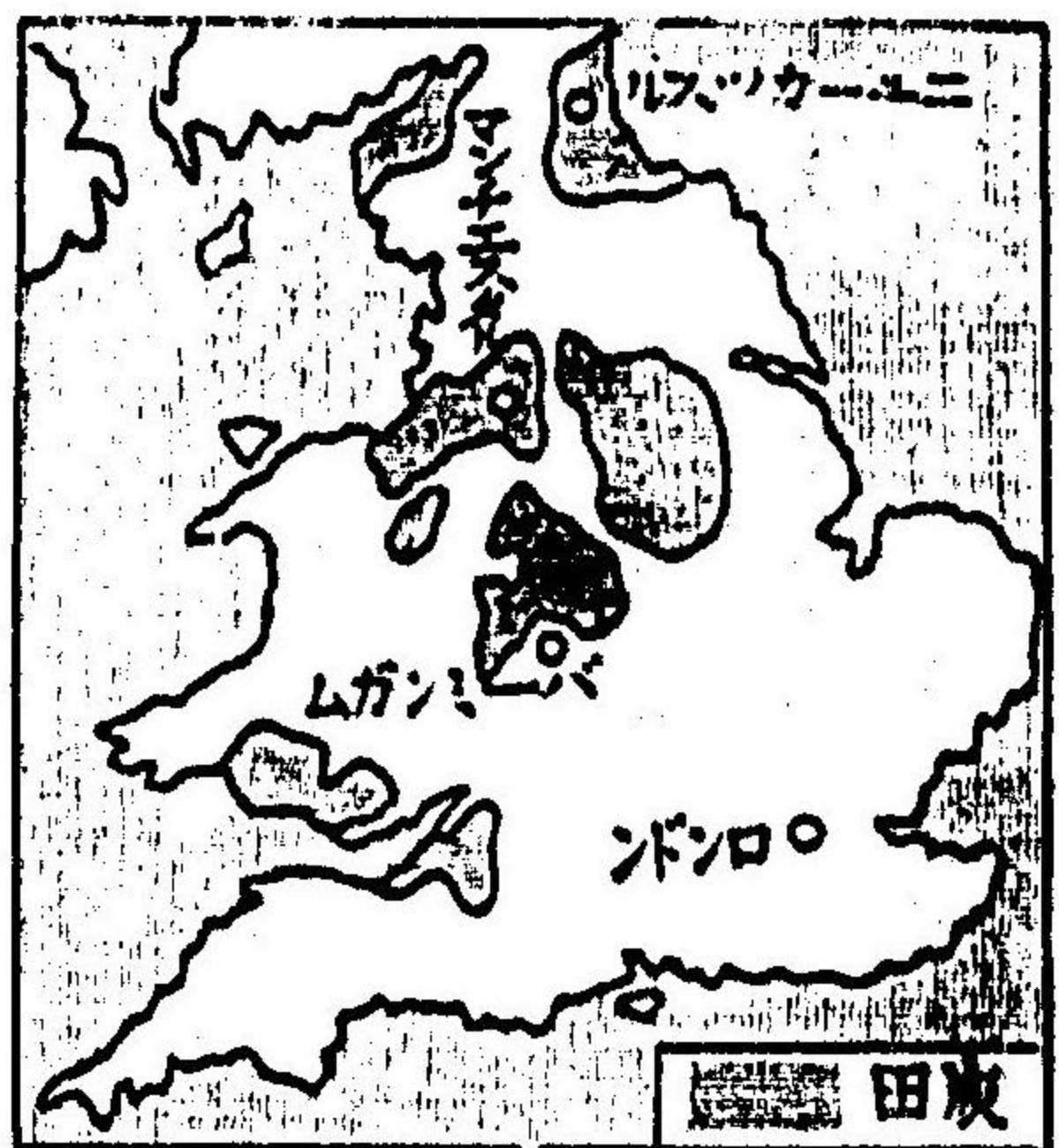
愛爾蘭
 英吉利
 威爾斯
 大ブリタ
 ーン

沿海は、東部は低平なる砂岸、西部は險阻なる峭岸よりなり、海岸頗る屈曲に富み、廣大なる入江は處々に開けて、内地何れよりも、二十餘里を出てずして海に達す。地勢は、大ブリタイン島の北部に、三條の山脈東北より西南に走り、ペンナイン山脈その南部を南北に貫き、更に西南に蟠結して、山嶺四方に亂出せるを以て、スコットランド・ウールスは、大抵高原なれども、イングランドは概ね低平なり。アイルランドは、海岸殆ど四周に山嶺を繞らし、中央は、平原全土の四分の一を占め、沼澤の地多し。

國の南端は、我が國の極北部と緯度を同じうせるが故に、氣候は、一般に寒冷なるはづなれども、灣流の調和を受くるにより、各部大抵溫暖にして、西部は東部よりも温度殊に高く、

従ひて、全島非常に濕氣多くして、周歲雲霧深く、アイルランドの如きは、雨量の多きことヨーロッパ第一に位し、夏冬となく新緑繁茂し、碧玉島Emerald Isleの名あり。

農産物は、大ブリタイン島よりは麥類、アイルランドよりは馬鈴薯の産出あれども、耕作地域の狭小なるにより、食用品は主要の輸入品に屬す。牧畜は、全土の大部に行はれ、良質の



田炭のドンラゲンイ

羊毛を出だせども、毛織物業の盛大なるが爲め、濠洲産の輸入を仰ぐ者夥し。鑛産は、最も鐵石炭に富み、殊に石炭は、一箇年の採掘高二億噸以上に達し、鐵亦千五百萬噸ありて、イギリスが

世界第一の工業國商業國なりとて、皆世人の許せる所以のもの、實にこの二大産あるが爲めのみ。

工業は製鐵業造船業を始め、綿絲紡績及び金巾毛布羅紗リ
ンネル絹布麻布の製織より、百般の製造皆よく發達してあ
れども、紡織造船の事業殊に盛大にして、紡績の如きは工場
の大なるもの三千に達し、男女職工のこれによりて生計を
立つるもの、合衆王國總人口の約八分の一を占む。造船亦殊
に國人の長技にして、世界の各國が年々製造する軍艦汽船
帆船につき、その隻數の半ば以上は、實にこの國の製造にか
かり、クлайド・タイン地方の造船所は、規模頗る宏大にして、
GLYDE CLYDE TAIN
タインに於けるアームストロング會社の如きは、到る處に
ARRESTONG
その名を博す。輸出は鐵石炭綿製品毛製品諸機械鐵道用具

等を主とし、輸入は綿穀類羊毛肉類等最も多く、輸出入の總
價格八十七億圓に達す。我が國との取引は綿織絲生金巾更
紗汽船鐵道用具紡績機鐵板等を輸出し、米羽二重絹手巾麥
稗眞田熟銅等を輸入す。

住民は大抵チートン民族なれども、スコットランドの北部ウ
ールズ・アイルランドにはチートン・ラタンの兩民族を交ふ、
性一般に著實にして、信約を重んじ、勇敢にして、忍耐の氣象
に富む。生業は農業を主とし、牧業漁業商工業に従事するも
のこれにつき、又海運事業の盛大なることは世界第一にし
て、商船の數一萬五千に達し、海員の數二十五萬人に及べり。
宗教は大抵基督教の新派を奉じ、アイルランドにはその舊
派盛んなり。

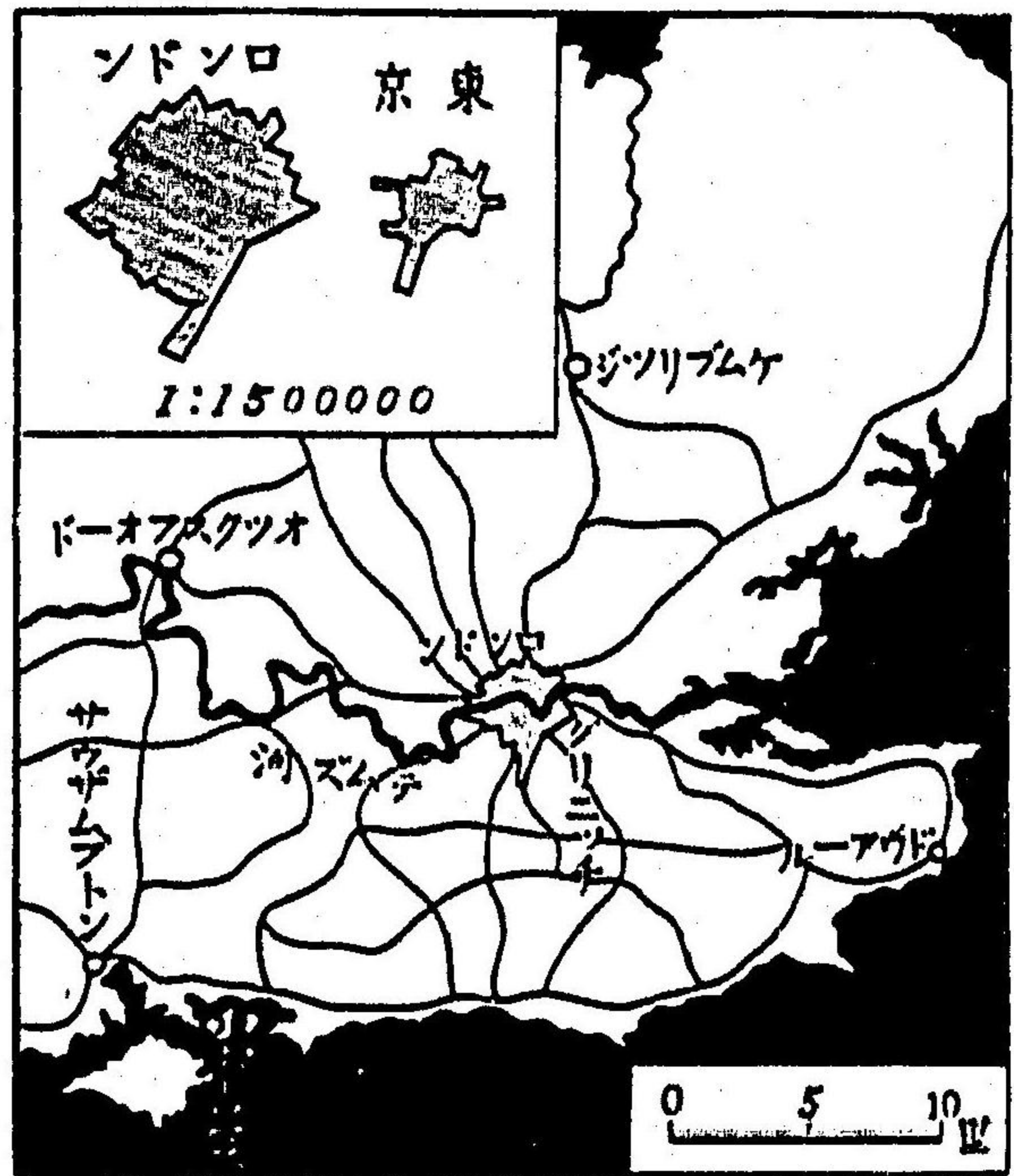
二億九千九百萬の如き
は三萬九千九百萬の如き
は三萬九千九百萬の如き
は三萬九千九百萬の如き

政體は立憲王政にして、兩院制の立法議會あり、軍備は海軍を主とし、艦艇殆ど五百隻、乗組の兵員凡そ十萬に達し、本國を守るものの外、艦隊を分ちて、地中海及び紅海艦隊、海峽艦隊、北アメリカ及び西インド艦隊、東インド艦隊、支那艦隊、喜望峯及びアフリカ西岸艦隊、太平洋艦隊、濠洲艦隊、アメリカ南東艦隊の九艦隊とし、百七十餘隻の船艦は常に海外に派遣し、艦隊の精銳と軍人の熟練とを以て、武威夙に四海に輝き、世界の海王の名實に空しからず、されど、陸軍は、常備兵の本國にあるもの二十餘萬、エジプト、インド及び他の殖民地に分遣せるもの十餘萬に過ぎず、安政年間、我が國と通商條約を結べり。

ロンドン (LONDON) は國の首府にして、人口凡そ四百三十萬、テムズ河 (THAMES)

倫敦

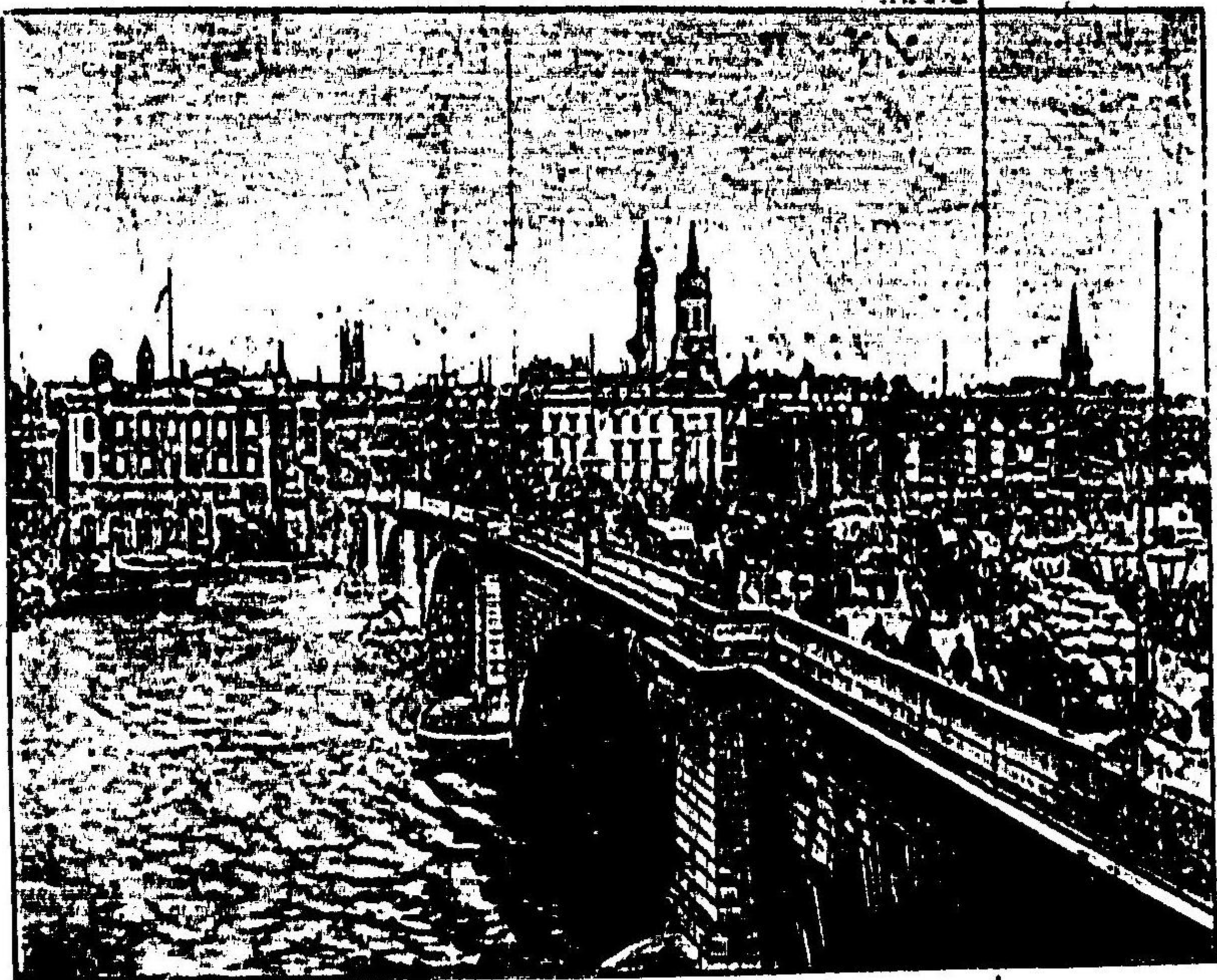
の下流に跨り、市街の宏壯なると、工業の盛大なるとはいふまでもなく、大洋



近附のそび及ンドンロ

通ひの船舶は、直ちにここに來るを以て、商業頗る繁昌を極め、その一舉一動は、世界の商況に影響し、實に宇内第一の大都たり、府内に

は王宮、國會議事堂などを始め、ウエストミンスター寺、セント・ポール寺、博物館等、美麗なる建物多く、公園には、ハイド、パド



橋ンロンドン

ク、橋にはロンドン
(LONDON BRIDGE)
 橋最も有名なり。殊
 にウストミンスタ
 ル寺は、ハロールド
 王以降歴代の國王
 が即位式を執行す
 る寺院にして、又王
 侯もしくは偉人碩
 學の死後ここに葬
 られ、紀念碑により
 て、その名譽を不朽
 に傳へらるるを常

二〇人口六十
餘萬

三〇人口五十
餘萬

五〇人口五十
餘萬

とす。我が國は、ここに公使館總領事館を置き、日本郵船會社
 の船舶またここに寄港す。府の東南グリニチ(GREENWICH)の天文臺は、本
 初子午線の起る處なり。ロンドンの西北なるオックスフォード
 及び東南なるケムブリヂ(CAMBRIDGE)は、ともに名高き大學のある處とす。
 リヴァプール(LIVERPOOL)は、イングランドの西北海岸に臨み、北米合衆
 國との取引盛んにして、綿絲綿の輸出入は世界第一に位す。
 マンチェスター(MANCHESTER)、リーズ(LEEDS)は、共にリヴァプールの東に位し、皆製
 織業盛んにして、一は綿布、他は毛布製造の中心に當れり。マ
 ンチェスターの東南なるシェフィールド(SHEFFIELD)は、古來双物の製造を以
 て知らる。バーミンガム(BIRMINGHAM)は、オックスフォードの西北に位し、針、ペ
 ンより銃器、機關軍艦川の錨等、鐵器の製造殊に名高く、全市
 常に鐵砧の音を以て反響す。ニューカッスル(NEW CASTLE)は、タイン河に跨り、

三人口三十
萬

三人口十
五萬

六人口約四
十萬

附近の地大に鐵石炭に富めるにより、石炭輸出の本場として知られ、河畔には造船所並び立ち、鐵工業甚だ盛んなり。エ
 デンバラはスコットランドの首府にして、フリス湾の南岸に
 位し、山水の景に富み、有名なる大學あり。グラスゴーは、クラ
 イド湾のクライド河口に位し、附近の地亦石炭鐵に富める
 が故に、綿布を始め、各種の工業盛んに、殊に造船業はイギリ
 ス第一と稱せらる。ダンリンはアイルランド第一の都會に
 して、島の東岸に位す。その他、アイルランドのベルフ、スト・イ
 ングランドのハル、プリマス、サウザ、ブト、プリストール、ボー
 ツマス等、皆繁華なる都會にして、プリマス、ボーツマスは名
 高き軍港なり。

四人口
十萬

(十一) スペイン 附 アンドーラ 共和国

スペインは、アイベリア半島の大部を占め、面積凡そ三萬
 三千方里、人口千八百萬あり。
 地勢は、フランスの境にピリニース山脈を横たへ、餘脈西に、
 カンタブリアン山脈を起して、フニスタル岬につき、中央部
 は、一帯のアイベリア陸地にして、數條の低山脈は、エロー
 ロ、ゾエーロ、ターガス、デアーナ、グアダルク、ウル等、諸河の分
 水脊をなせるを以て、大部は高原よりなり、沿岸及び河流の
 域稍低平なり。

氣候は、アフリカより來る熱風を受けて、南部は暑さ強く、中
 央の陸地は全く大陸性に屬す。生産物は、農産を主とし、高地

を除けば、地味肥沃にして、麥類、玉蜀黍、葡萄、橄欖等を山だし、牧養亦盛んに行はれ、綿羊、山羊は良質の譽あり、鑛物は水銀、銅に富み、その産額、前者は世界の第一位、後者は北米合衆國、チリにつぎて第二位を占む。

住民はチートン、ラテンの混合族を主とし、外に、アラビヤ族、アフリカ人の血統を交ふ、多くは農を事とすれども、一般に耕作を怠り、良田空しく雜草の生ふるに任せたる處、少なからず、宗教は、基督教の舊派最もよく行はる、教育は甚だ不振にして、初等教育の制度は強制的なるにも拘はらず、國民の大半は無學なり。

政體は立憲王政にして、兩院制の立法議會あり、明治元年、我が國と通商條約を結べり、この國は、嘗て海外に數多の領地

を有せしことありしが、今は國勢いたく衰へ、軍備は陸軍の常備兵僅に十萬に充たず、海軍亦、米西戦争の結果、艦艇の大部を亡失せり。

マドリド(MADRID)は國の首府にして、人口五十餘萬、アイベリリア(IBERIA)地の中央に位し、全府方形にして、周圍に城壁を繞らし、王宮、美術館、武庫、圖書館、闘牛場等ことに壯麗なり、この地に、我が國の公使館あり、この南なるコルドツ(CORDOVA)、グラナダ(GRANADA)は、昔往時回教法王の都せし處なり、東海岸のバルセロナ(BARCELONA)、ツレンシア(TULENSIA)は、共に海港にして、前者は貿易殊に盛んに行はれ、絹布、綿布の製造あり、カデズ(CADIZ)は國の西南海岸に臨める海港にして、その西北のサロス(SAROS)は、コロムブスがアメリカ發見の時、解纜せし處なり、カデズより東南のトラフルガル岬(TRAFALGAR)は、ネルソン

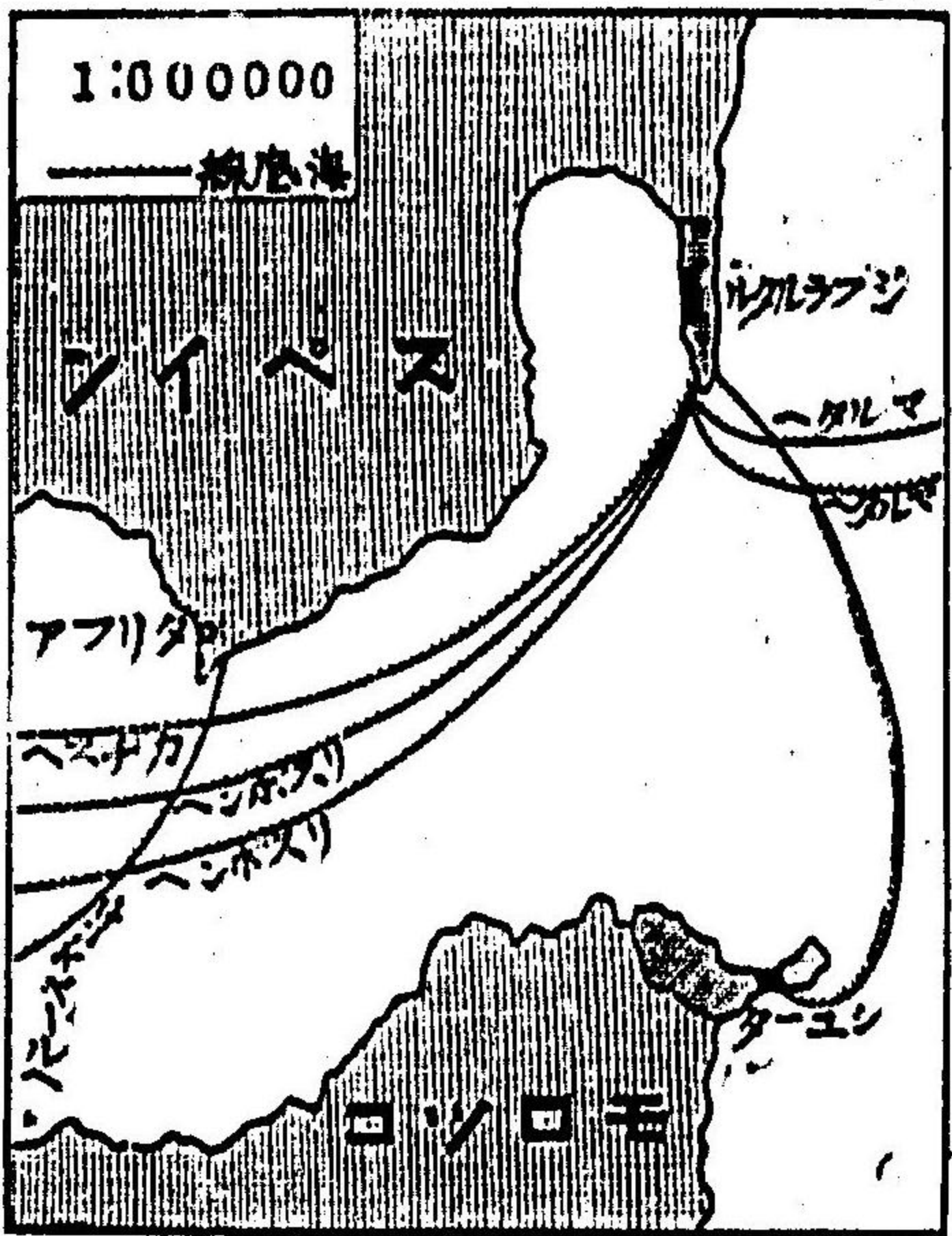
が大に武威を輝かせし處、その東北のジブラルタルは、地中海の咽喉



巖窟のルタルラブリ

に當り、要害の地に於て、西暦千七百四十年以來イギリスに屬し、砲臺を築き、守

備兵を置けり。この地の對岸なるシニタは、セロ、コロ、ニコに屬すれども、スペインの占領地にして、また砲臺の設けあり。



ターレ及びルタルラブリ

アンドーラ共和国は、スペインの東北、ピリニーズ山脈の南麓に位し、面積二十五方里、人口一萬に充たざる小國にして、フランスとスペインのウルゲ

ル教正との共同主權の下にあり。

(十一)ポルトガル

ポルトガルは、スペインの西部に附着せる小國にして、面積

我が北海道に等しく、人口凡そ五百萬に近し。
 地勢は、スペインより分岐せる低山脈域内に起伏し、漸次西
 南に傾斜して、沿海の地低平なり。氣候は、東部は稍大陸性な
 れども、西部は灣流の作用を受け、一般に温く、降雨多し。物産
 は、葡萄酒、コルクの産世に名高く、又銅鉛等の礦物に富み、沿岸
 は漁網豊かなり。住民、宗教はスペインと粗相同じ。この國も
 亦教育は不振にして、讀み書きを能くせざるもの、全人口の
 約八割を占む。
 政體は、立憲王政にして、兩院制の立法議會あり。我が國とは、
 足利氏の末世より交通し、基督教の舊派、いはゆる天主教、及
 び鐵砲を我れに傳へしは、實にこの國民より始まる。萬延元
 年、我が國と通商條約を結び、スペインに駐紮せる我が公使

コルク

その事務を兼ね、この國も亦、往時國勢の盛んなりし時は、ス
 ペインと海上の覇權を争ひしことありしが、今は、領土の大
 部を失ひ、軍備は、陸軍の常備兵約四萬、海軍の如きは、戰艦は
 甲鐵艦一隻に過ぎず。

リスボン(LISBON)は國の首府にして、人口三十萬、ターガス河口に位
 し、葡萄酒の輸出盛んなり。オポールト(OPORTO)は、又ポールトといひ、
 ポールト(PORTO WINE)ワインと稱する葡萄酒輸出の本場にして、一年の
 輸出高四千萬ガルロンに及ぶ。

(十三) イタリア附サンマリノ共和國

イタリアは、南部ヨーロッパの中央より、地中海に突出せる半

島にして、シシリ・サルデーニャ・エルバ等の諸島を合せ、面積一
萬八千餘方里、人口三千二百餘萬あり。

地勢は、アルプス山脈陸境の天壁をなし、アペニン山脈は

半島の分水脊をなせるが故に、全部殆ど低地少なく、獨り

一河領のロムバルド平原のみ、沃野開けて、ヨーロッパ第一の

穀産地をなせり、國中處々に活火山ありて、ネーブルス灣に

臨めるヴェスヴィウス火山の如きは、古來烈しき噴煙をなし、熔

岩を流し、土灰を降らし、その破裂の爲めには、ネーブルス府

の近傍にありしハルキレーニウム・ポペイイの二府を地中

に埋没せしことありしが、今は、ポペイイのみ發掘せられて、

考古學者の參考に資せらる、又シシリ島のエトナ山は、古來

地中海の燈臺といはれ、リパリ諸島のストロムボリ島亦全

部火山よりなりて常に噴
煙せり。

氣候は、北部にアルプスの

山風強く、

南部は、夏

期熱風ア

フリカよ

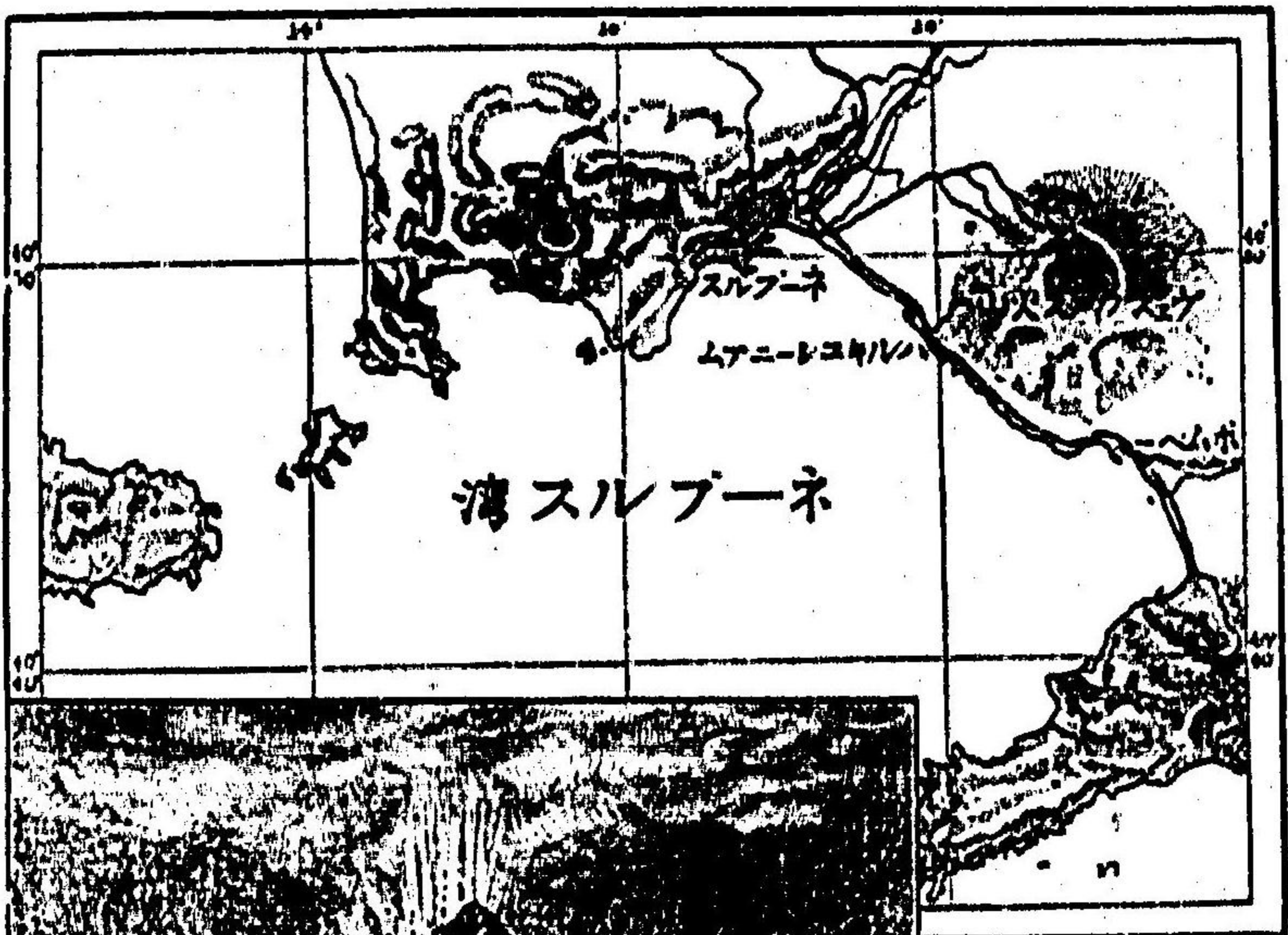
り吹き來

りて、人身

の健康を

害し、殊に

マラリア



山火スアイヅスエヅ

熱の流行甚だしけれども、中部は溫和にして、天空清明、山水明媚、四時春の如く、世界の樂園と稱せらる。農産は、富源の要部にして、小麦、玉蜀黍の産夥しく、殊にロムバルド平原は、一望際なき大米田にして、品質の佳なると、産額の多きとは、ヨーロッパにその比を見ず、又葡萄、桑樹の栽培皆よく、風土に適するを以て、養蠶業、醸造業盛んに行はれ、葡萄酒は醸造高六億ガロンに及び、蠶絲は良質の譽ありて、常に我が國のとヨーロッパの市場に競争す。鑛産は、硫黄、鐵、大理石最も多し、製造工作は、石炭の産に乏しきを以て、器械的大工業は行はれざれども、絹布、毛織物、麥稈細工、及び各種の美術品、皆よく精巧を極む。

住民は、大抵ラタン民族を主とし、一般に美術思想に富み、音

樂彫刻、繪畫、建築等の技藝に堪能なり、信教は自由なれども、ローマ法王の住める處として、國民多くは基督教の舊派を奉ぜり、政體は立憲王政にして、兩院制の立法議會あり、軍備は、二十七萬の陸軍常備兵と、二百五十餘隻の艦艇とを有し、その精銳なること、ヨーロッパ中第五位を占め、國運の進歩甚だ著しけれども、兵備膨大の爲め、國債漸次増加し、財政常に困難なり、慶應二年、我が國と通商條約を結べり。

ローマは國の首府にして、人口五十餘萬、タイバル河に跨り、嘗ては政治上、宗教界の中心たりし處として、世界に類なき繪畫彫刻、或は各時代の遺物等を集めたる博物館より、法王の住めるヴァチカン宮殿、セント・ペートル寺等は、實に天下の大觀なり、この地に我が國の公使館あり、ネーブルスは、國內第

一の都會にして、人口約五十四萬、ネーブルス灣畔に位し、ヴ
スウ、アス火山その東方に峙たち、風景絶佳にして、ナポリ (NAPOLI)
ナブルス (NAPLES) を見て、而して後に死せとの俚諺あり、ネーブルス
の東南なる ブリンデシ (BRINDISI) は、アジア、濠洲大陸に航する汽船發
着點に當れり、フロレンス (FLORENCE) は アルノ (ARNO) 河畔に位し、麥稈眞田
絹布の製造を以て著はる、ミラン (MILAN) は ポ (PO) 河に臨み、イタリ
鐵道の中心に當り、スイス (SWITZERLAND) へも サン (SAN)、ゴタル (GOTTHARD)
鐵道の中心に當り、セント (ST. AMBROGIO)、アムプロ (AMPLO)、ローズ (ROSE) 寺は、
況盛んに、絹布の取引夥し、府内の セント (ST. AMBROGIO)、アムプロ (AMPLO)、ローズ (ROSE) 寺は、
もと、ローマ帝國の諸帝が鐵冠を受けし處たり、ミラン (MILAN) の西
南なる チーリン (TUMI) は、モン (MONT)、セニ (SENI) 隧道によりて、フランスとの
間に鐵道を通ず、ゼノ (GENOVA) は、この國第一の貿易港にして、又ネ
ーブルスと共に、重要な軍港たり、エ (EGYPT)、ロム (ROMA)、プ (PU) はここに生れ

人口二十
二萬

人口五十
萬

人口二十
五萬

き、ヴ (VENICE)、ニス (NIS) は、ヴ (VENICE)、ニス (NIS) 灣頭許多の小島に跨れる海中の市街に
して、往來は皆小船による、シ (SICILY)、リ (LIPARI) 島の南なる マ (MALTA)、ル (LUCA)、タ (TARANTO) 島は
イギリスに屬し、そが地中海艦隊の根據地たり、
サン (SAN MARINO)、マリ (MARINO) ノ共和國は、フロ (FLORENCE)、レン (REN)、ス (S) の東海岸に近き内地に位
し、面積約四方里、人口一萬に近し、

(十四) バルカン半島諸國

地中海に突出せる、南部ヨーロッパ最東の地を バルカン半島 (BALKAN PENINSULA)
と稱し、全部 ル (RUMANIA)、マ (MONTENEGRO)、ニ (NIS)、ア (ALBANIA)、ブル (BULGARIA)、ガ (GREECE)、リ (LIPARI)、ア (ARMENIA)、セル (SERBIA)、ヴ (VALACHIA)、ア (ALBANIA)、セ (SERBIA)、ン (MONTENEGRO)、タ (TARANTO)、ネ (NAPLES)、
グ (GREECE)、ロ (ROMANIA)、トル (TURKEY)、コ (CROATIA)、キ (KOSOVO)、リ (LIPARI)、シ (SICILY) の六國に分れ、面積三萬四千方里、人口約
二千二百萬あり、

沿海は海岸殊に屈曲し、ギリシヤの如きは、エージナ海、(EGNAI) コリンス灣深く内地に鬱入し、その水は、コリンス地峽の運河によりて、東西に連接せり。内地は、アルプス山脈より分れたるゲナリク、(GENALIC) アルプス山脈、半島の西部を走り、更にピンダス山脈(PINDEUS) につづきて、ギリシヤの南端に延び亘り、バルカン山脈また半島の中央を横断せるを以て、大部は山地よりなり、ルーマニア、ブルガリアは、ダニューブ河の流域に屬し、一般に低平なり。

半島の中央は、我が北海道の南部と緯度を同じうすれども、氣候は寒暑共に強し、されど、バルカン山南は温暖にして、ギリシヤの如きは、海風を受くること多く、ヨーロッパ最暖部に一位す。住民は、スラヴ民族殆ど過半を占め、外に、トルコ族、ギリシヤ族、アルメニア族、ユダヤ族等あり。宗教は、スラヴ族、ギリシヤ族は主にギリシヤ教、トルコ族、アルメニア族は回教を信ずるもの多し。

ルーマニア、ブルガリア、セルヴ、アモンテネーグロは、もと、トルコの屬地なりしが、西暦千八百七十六年の露土戦争以來、ルーマニア、セルヴ、アモンテネーグロは、獨立して各立憲王政となり、ブルガリアは公爵の君主を戴き、トルコの統治の下に、自由政權を有する附庸國となりしものとす。トルコは、古へより君主獨裁にして、立法、行政の大權は、皇帝即ちサルタンの命を受けて、政務總長、宗教總長の二高官これを執行し、又大法官、神學者、法官、大學者によりて、組織せられたる議會ありて、宗教總長これを總裁す。國事は、専らコーラン(KORAN)

の教理及び(STATUTES)ムールツカと稱する法律によりてこれを料理し、嘗て立憲代議制を宣言せしが、因習の久しき、今にこれを實行するに至らず、又ロシアと戦争の結果、國勢いたく疲弊し、歳入は常に歳出を償ふに足らず、ギリシヤはもとトルコの領土なりしが、イギリス・フランス・ロシアの聲援を藉りて立憲王政となり、一院制の立法議會あり、この國は、近時、我が國と通商條約を結べり。

ルーマニアはダニール河以北の地を占め、面積凡そ八千五百方里、人口五百九十餘萬あり、産物は穀類を主とし、又材木、牛、馬、羊等を出だす、首府をブカレスト(BUHAREST)といふ。
ブルガリアはダニール河以南の地を占め、面積六千四百方里、人口四百三十餘萬あり、産物は穀類を主とす、ソフィア(SOPHIA)は

國の首府なり。

セルツァはブルガリアの西に位し、面積三千餘方里、人口二百三十餘萬あり、物産は農産を主とし、牧養また甚だ盛んに、豕、羊、牛、毛皮は輸出の要部を占む、首府をベルグレイト(BELGRADE)といふ。

モンテネーグロはバルチック海の海岸、オーストリア・トルコの間、に挟まり、面積六千方里、人口二十三萬あり、物産は農産、家畜を主とす、首府をチチンニ(TITINNI)といふ。

トルコは、又オスマン帝國と稱す、バルカン半島南半の大部を占め、面積一萬一千方里、人口六百萬餘あり、住民は農耕、牧畜を主とし、殊に山羊の飼養最も盛んなり、産物は、煙草、阿片、穀類、綿、葡萄等の産に富み、鑛産また鐵、石炭、銅、鉛、大理石等夥

しく、殊に煙草は、品質の佳良なること、マニラ・ハツナにつき、世界第三に位す。工藝品は、葡萄酒、薔薇油の製造、綿布、毛布の諸織物あれども、徴税の苛酷なると、運輸の不便なることにより、殖産興業今に發達せず。

コンスタンチノープル(CONSTANTINOPLE)は國の首府にして、人口百十餘萬、マ

ールセラ海に枕み、地中海より黒海に通ずる咽喉を扼し、船

舶港内に四集し、商業甚だ盛んに、王宮、回教の堂塔・セント・ソ

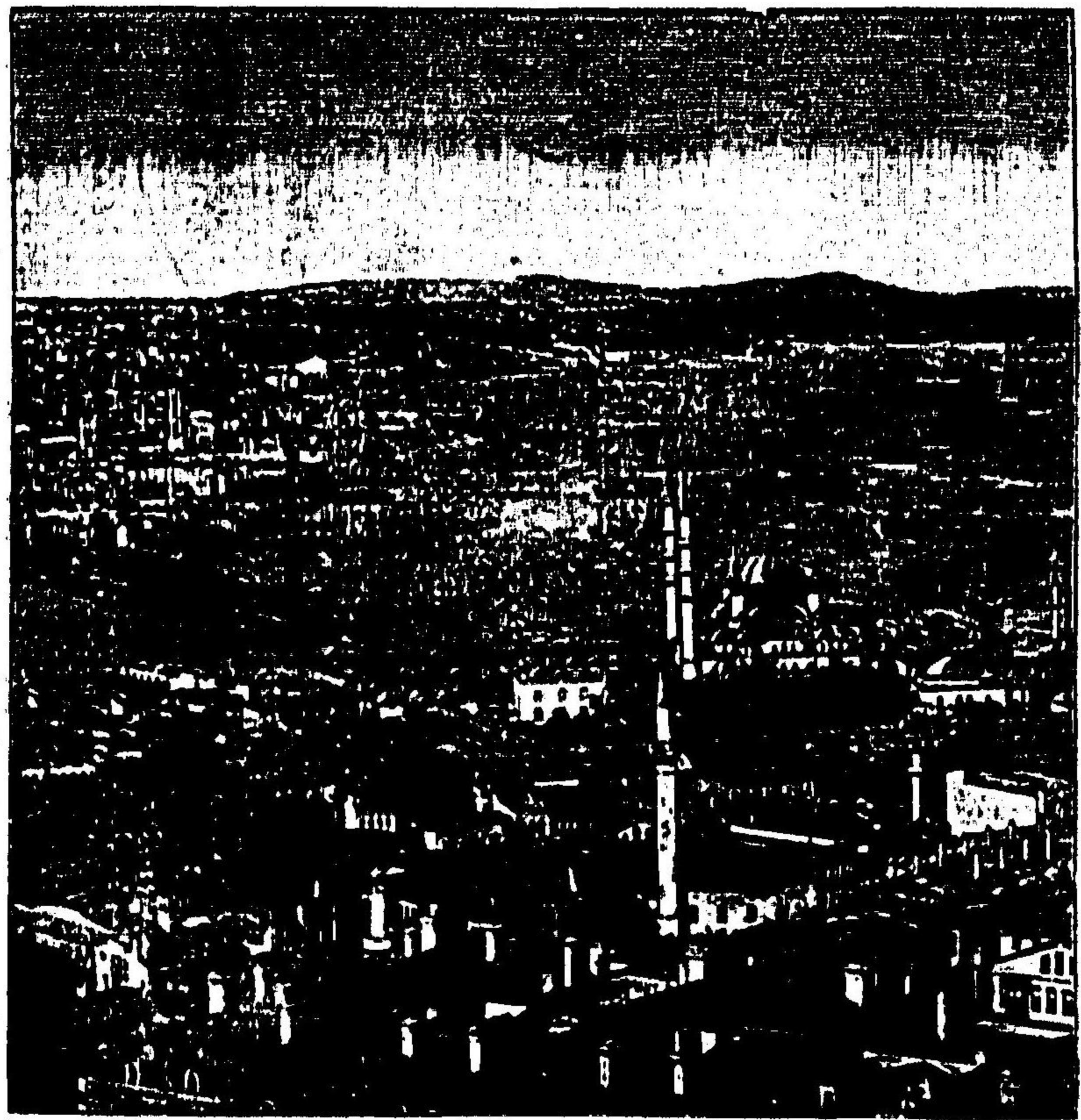
フ、ア寺等皆壯麗なり、外に、アドリアノープル・サロニカ等の

都會あり。

ギリシヤの東南なるクレイト島(CRETE)は、名義上この國に屬すれど

も、イギリス・ロシア・フランス・イタリアの四國、及びサルタン

の協議により、この國主權の下に自治政府を設け、ギリシヤの



コンスタンチノープル

王子を總督として、これを治む。

ギリシヤはト

ルコの南に

位す。この國

は、いはゆる

西洋の先進

國として、三

千餘年前に

於ては、文學

技藝既に發

達して、ヨーロッパの蠻野を照ししことありしが、今は面積四千二百方里、人口僅に二百四十餘萬に過ぎず、物産は綿、煙草、橄欖等を主とし、乾葡萄の産殊に著はる、アビシニヤ (ABISSINIA) は國の首府にして、上古の史上に名高き處とす。

アフリカ

アフリカ (AFRICA)

總論

位置 アフリカは東半球の西南部に位す。北は地中海に臨み、東は紅海、印度洋に瀕し、又スーエズ地頸によりてアジアに連なり、南は南氷洋 (ANTARCTIC OCEAN) に延び、西は大西洋に面す。本土の面積は殆どヨーロッパの三倍に當れり。

區劃 本大陸は地理上分ちて、ナイル地方、バールバリ地方、東部アフリカ地方、西部アフリカ地方、中部アフリカ地方及び南部アフリカ地方の六部とす。されど、政治上の區劃につきては、從來「暗黒の大陸」と呼ばれし處とて、邦制の如何は、久

しく世人に公認せられざりしが、リヴンストン・スタニリー等が、人跡の到らざる地方を探險せしより、イギリス・フランス・ドイツ・ホルトガル・イタリヤ・スペイン等は、競うてその領土を擴張せしを以て、今は、大抵その分野の區域を明らかにし、僅にコンゴ獨立國・アビシニア・モロッコ・ライベリア等の獨立せる外は、蕃族の部落にして、全土の約十分の九は、悉くヨーロッパ諸國の勢力下にあり。

地勢 海岸は屈曲極めて少なく、半島・海灣には僅に北部のシドラ・カベスの二小灣、及び西部のギニー灣と、北部のカーニス半島及び東部のソマリ半島との外は、著しき出入なく、屬島また、印度洋中にあるマダガスカル島の外は、大西洋中のアゾール諸島・マデラ諸島・カナリ諸島及びセント・ヘレ

ナ島等の諸島に過ぎざるを以て、海岸線の延長は六千七百里に充たず、カーニス半島のブランコ岬は、アゲルヤス岬と共に本土の南北兩端にして、ソマリ半島のガルダフ岬は、ゾード岬と共に本土の東西兩端たり。

全土殆ど四周の縁邊に山岳を繞らし、その外廓は、海岸に傾斜して稍低地をなせども、内地は一般に高原よりなり、紅海よりギニー灣の方へ一線を劃せば、高原また、南北その高低を異にし、北アフリカは、海岸に蜿蜒せるアトラス山脈を除けば、地高二千尺以下の高原にして、サハラの大砂漠その大部を領し、ナイル・ナイジールの二大河その東部・西部の排水を司どる。南アフリカは、コンゴ・ザンベジ・オレンジ等の諸流域内を灌溉し、カラハリ砂漠その流域に横たはりて、海拔皆

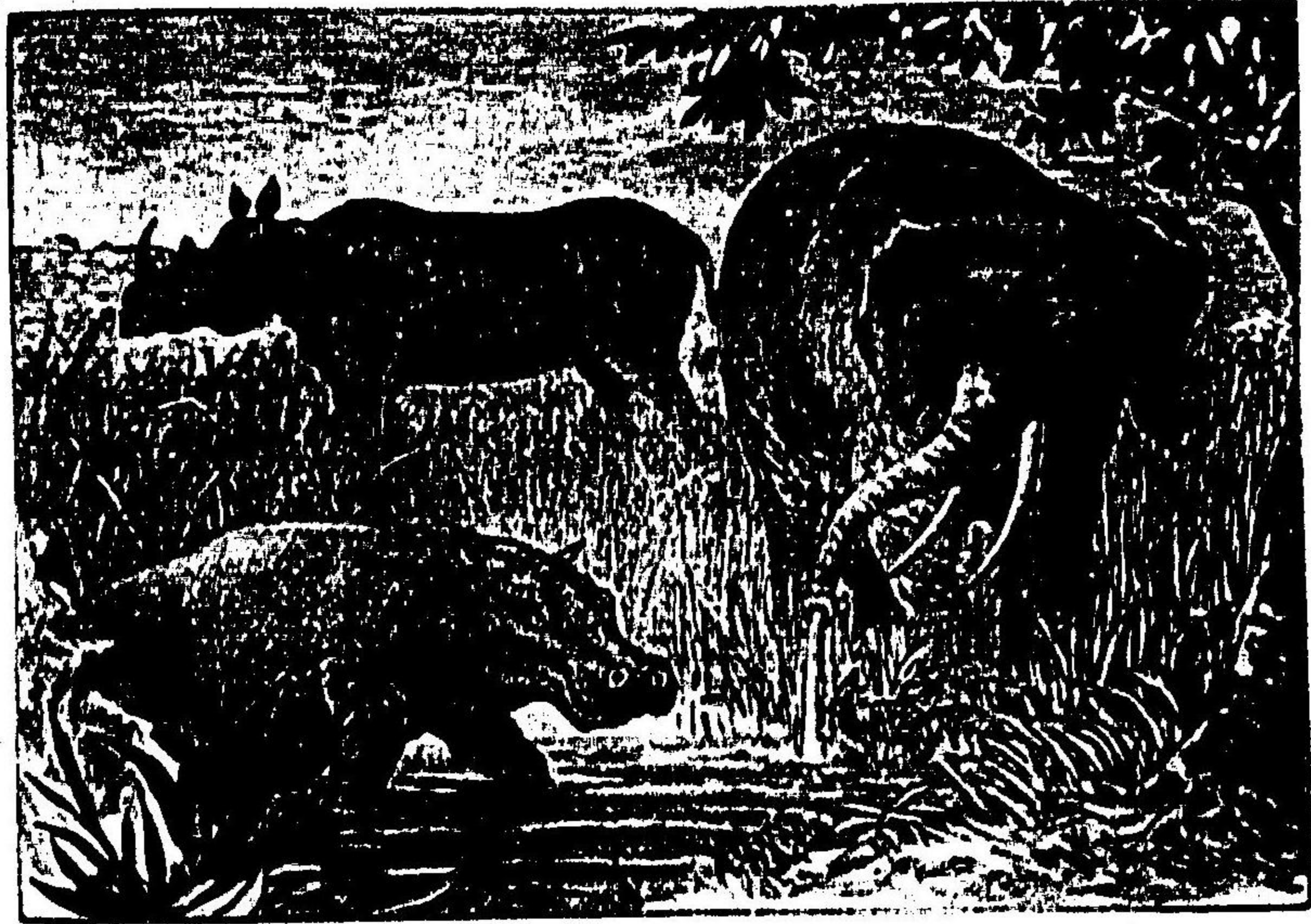
二千尺以上の高原よりなり、東部一帯は、本土の南端まで延び亘りて、山岳殊に隆起し、その中に、キリマンジローケニアの如き、共に二萬尺に近き高峰を起し、(KILIMANJARO) ヴクトリア湖(VICTORIA)、アルバート・タンガニカ湖(TANGANYIKA)、ニアッサ湖(NIASSA)等の湖水その西斜面に排列せり。本土の河流は、内地に大分水脈なきを以て、ナイル、コンゴ、ナイル、ザンベジ、オレンジ等の諸流は、流程長く、流域廣く、水源地もまた、内地の湖水と相應じて、殆ど大陸の中央を彌縫せるにより、交通上、至大の便益を與ふべきが如くなれども、大抵は、下流にて急湍瀑布をなせると、河口に沙洲の堆積せると、比較的水量の少なきとにより、船舶の航行を容れず、殊にナイル河の如きは、(WHITE NILE) ヴクトリア湖より發し、アルバート湖の北端に注ぎ、出でて白ナイル河となり、許多の支流を合

せて北流し、アピシニアより來る碧ナイル河と落合ひ、河口は二派に分れ、一大三角洲を抱きて地中海に朝し、流程殆ど千五百里、その流域は十六萬方里に亘りて、管に世界有数の長流たるのみならず、河流の沿岸は、水源地方、半年風の結果により、年々新土を供給し、古來エジプトの農産豊富なるは、實にこの河の賜なれども、平時は水量少なく、且つ中流以上に瀑流あるにより、上流地方との交通を杜絶するは、またこの河流の一大缺點なりとす。湖水の多きことも亦、北アメリカを除けば、本土を以て第一とし、(RANGWICKO) ヴクトリア湖を始め、(TCHAD) ガニーカニア、(RANGWICKO) ツァンガウ、(RANGWICKO) オーロール、(RANGWICKO) ルフ等の諸湖これにつぐ、殊に(RANGWICKO) ヴクトリア湖の如きは、世界第二の淡水湖にして、その面積は、我が北海道本地に等し。

氣候 氣候は、森林深き處は稍酷熱を殺ぎ、南部の高原また、海洋の調和を受けて稍温暖なれども、(一)土地十分の七は熱帯に位せると、(二)東北貿易風を受くること能はざると、(三)海より吹き來る濕風は、縁邊の山脈に衝突して、内地に降雨の乏しきとにより、大抵炎熱乾燥にして、砂漠地は晝間の熱氣を和ぐる水濕なきが爲め、夜間は冷氣殊に強く、サハラ砂漠の如きは晝の溫度は、華氏の寒暖計二百度に昇ることあるに反し、夜は往々氷點下四度に降り、一夜の雨は、三年の牧草を生ぜしむるに足るとは、土人の歎聲なり。

天産物 植物は、南部・北部の海岸地方より穀類・葡萄・甘蔗・甘薯等を産すれども、砂漠地方は、僅にその膏地に橄欖・棗・椰子・腰膜樹等あるに過ぎず、動物は、象・犀・獅子・河馬・ゴリラ・マ・ナ・パン

(GORILLA) (CHIMPAN)



象 原 河 馬

チ、駝鳥・鱈魚等多く、獨峰駝は北部地方、羚羊は南部に飼養せらる。礦物は、その種類甚だ少なけれども、金・金剛石等は、多量に南部地方に産す。

住民 アフリカの人口は、凡そ二億ありて、大抵黑人種・舊移住民・新移住民の三種族に分る。黑人種は本土固有の土人にして、その數、總人口の五

分の四を占め、更にホツント族(HOTENTOTS)、ブッシュマン族(BUSHMEN)、バンツ族(BANTU)及び純粹の黒人族等の別あり。舊移民は、エジプト族(EGYPTIANS)、バーバル族(BARBARS)、ムール族(MOORS)、アラビア族(ARABS)、アビシニア族(ABISSINIANS)、ユダヤ族等にして、大



黒人種の分布

抵北部地方に住す。新移民は、オランダ人、イギリス人、フランス人等とし、マダガスカル島には、別にマライ人種あり。宗教は人種によりて異なり、黒人種は、日月星辰、石禽獸の類を神として崇拜し、舊移民は大抵回教を奉じ、新移民は皆基督教を信ず。言語は、回教々徒にはアラビア語用ひられ、黒人種はバーバル語、バンツ語、ホツント語等用ひらる。

地方誌

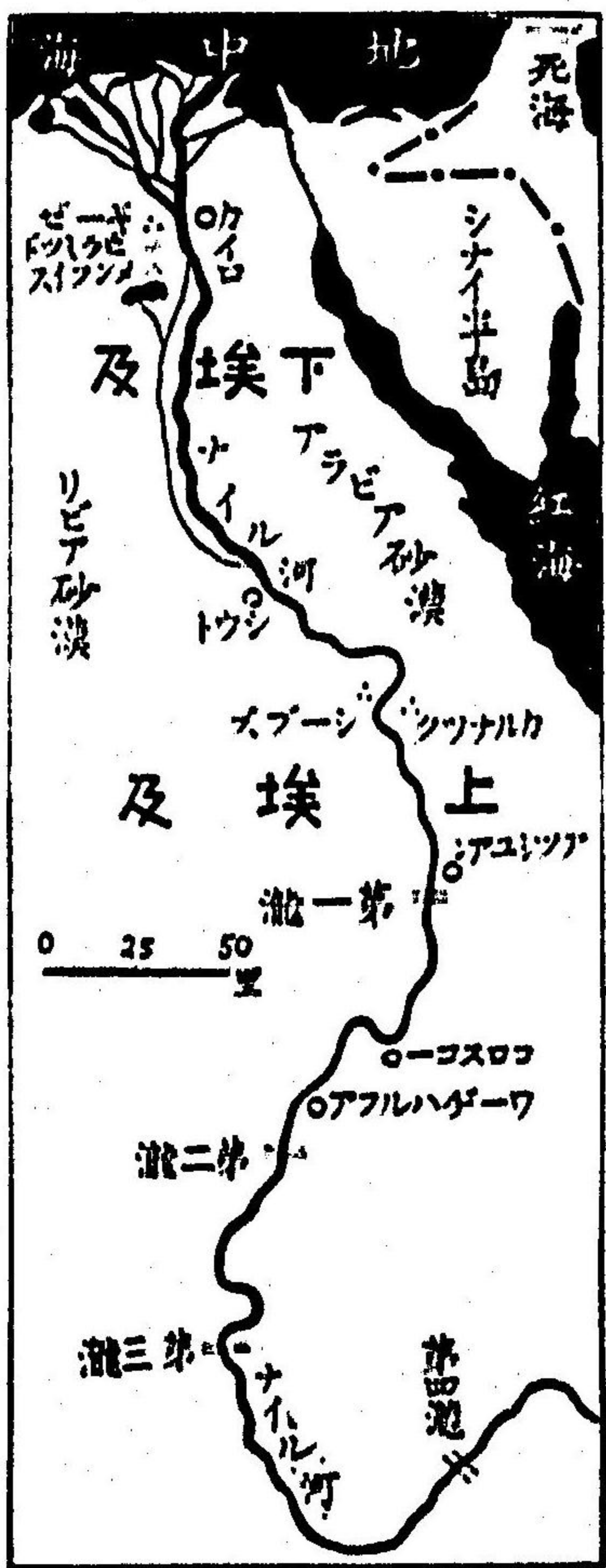
ナイル地方

ナイル地方は、ナイル河流域一帯の地方を稱し、うちにエジプト(EGYPT)、スーダン、及びアビシニアの地域あり。

(一) エジプト

エジプトは、アフリカの東北隅に位し、西は東經二十五度の西邊に延び、南はエジプト、スーダンに接し、面積六萬七千方里、人口約九百七十萬あり。地勢は、紅海沿岸の山地を除けば、大抵砂漠なれども、ナイル河の流域は、天與の沃土にして、農産物よく豊熟す。

氣候は降雨少なく、且つツハラ地方より熱風吹き來るにより、暑さ強く、空氣乾燥し、上エジプトの如きは、生卵を沙中に埋むれば自然に熟すといふ。物産は綿穀類、甘蔗等を主とし、



又牛馬羊驢等の産あり、殊に綿は世界三大綿産國の一にして、その産額四億對^{ポンド}に達す。我が國との取引は綿を輸出し、生絲羽二重絹手巾漆器陶磁器等を輸入す。住民は大抵古エ

ジプト族・アラビア族・トルコ族等の子孫よりなり、多くはナイル河の流域に住み、農業を事とし、アラビア語を用ふ。宗教は回教を奉ずるもの全人口の九割餘を占め、ユダヤ教また多數の信徒を有す。

カイロは國の首府にして、人口約六十萬、ナイルの三角洲に立ち、ヨーロッパ・アジアの物産を取引する中心點に當れり。この地の附近には、ピラミッド、メンフィス、スフィンクス、回教の禮拜堂等を始め、遙か南には、往時のシーアブ・カルナク等の舊蹟廢城甚だ多し。ナイル三角洲の北西端にあるアレキサンドリアは重要な海港にして貿易盛んに行はる。スーエズ運河の關門を扼するポート・サイド・スーエズは共に繁華にして、前者は我が日本郵船會社汽船の寄港所たり、スーエズ運河

人口三十餘萬

は、フジ
 ンス人
 レセツプ
 氏の設
 計にか
 かり、西暦千八百
 六十九年に竣工
 せしものにして、
 その幅三十間よ
 り廣き所六十間
 に亘り、全長約四
 十里に達し、船舶



氏ツセレと河運スエーヌ

のここを通過するもの、毎年三千七百隻に及び、その通過料
 四千萬圓に近し。

この國は、名義上トルコに屬すれども、その實は、獨立の王國
 にして、憲法を設け、代議制を組織せり、されど、財政及び軍務
 に關する一切は、イギリスの干渉を受け、同國よりの推薦に
 かかる財政顧問官は、參政の權を有し、本國より派遣せる軍
 務官はこの國の軍隊を統督し、又本國より約五千の隊兵を
 ここに駐屯せしむ。

(二) エジプト、スーダン

埃及蘇丹

エジプト、スーダンは、即ち東方スーダンにして、エジプトの
 (EGYPTIAN SUWAN) (EASTERN SUWAN)
 南、ナイル河上流の地を占め、カルツーム、ドンゴラ、ゴードラ、コルド
 (KHARTOUM) (DONGOLA) (KORDOFAN)
 フ、ン・センナール、スーマキン、ファシム、ダ等の諸州に分る、全部
 (SENNAR) (SUAKIN) (FASHIMA)

エジプトに屬すれども、西曆千八百八十二年、マードの反亂を起しし時、イギリスは遠征軍を起して、これを鎮定せし以來、エジプトは統御の實權を失ひ、現時、イギリスの同意を得て、エジプト王の任命せる總督これを治む。

カルツームは地方第一の都會にして、碧ナイル河と白ナイル河との會流點に位し、鐵道はカイロに通じ、隊商の集點に當り、象牙、烏木、駝鳥の羽毛、護膜、革皮等の取引あり。この地は、イギリスの勇將、ゴルドンの戦死せし處なり。

(三) アビシニア

アビシニアは古へのいはゆるエシオピアにして、エジプト、スーダンの東方に位し、アビシニア山脈域内に蟠結して、大部は地高八千尺に達し、俗に「アフリカのスイス」と稱せら

二、面積三萬五千平方里、人口三百五十萬

バールバリ地方

る政體は君主專制の獨立王國にして、南部に於けるシーア、中央部に於けるアマハラ、北部に於けるチグレ等の諸州、及び許多の蕃族に分る。ゴンダールは國內第一の都會なり。

二、面積三萬七千方里、人口五百萬人

バールバリ地方は地中海に瀕せる本土の北部を稱し、中にモロコシ、アルジェリア、チュニス、トリポリの地域あり。地勢は、アトラス山脈よりチュニスへかけて中央部を亘り、山南はサハラ砂漠に連なり、不毛の地なれども、山北はタルと稱し、地低く、土肥え、トリポリの南部またフザンの濱地をなせり。氣候は沿海の低地は温暖なれども、南部は寒

器の差甚だ劇し、物産は製紙の原料たるアルフ草、アルジュリ
 ア・チーニスによく繁茂し、山羊の皮より製せるセロ、コ草、及
 び駝鳥の羽毛等と共に、地方主要の輸出品たり。
 住民は、バール族最も多く、ムール族、アラビア族これにつ
 ぎ、大抵農業、牧畜に従事し、又略駝を率ゐて漠地に渡り、ヨー
 ロッパの製品を以て、黒人の象牙、駝鳥の羽毛、砂金等と交換す
 る者あり、宗教は概ね回教を奉ず、政體はセロ、コのみ獨り君
 主專制の獨立帝國にして、アルジュリアはフランス、トリポリ
 はトルコに屬し、チーニスは獨立の王國なれども、フランス
 の保護を受く。

人口約十
 五萬

フジズはセロ、コの首府にして、また回教々徒の靈地なり、タ
 ンヂールは地中海に臨める海港にして、外國との貿易盛ん
 (TANGER)

なり、アルジュリスはアルジュリアの都會にして、フランスよ
 り派遣の總督ここに駐在す、チーニスはチーニスの首府に
 して、絹布、毛織物を産す、この近傍に古ヘローマと抗せし
 カルセージの城址あり、カイルワンはチーニスの南に位し、
 (CARTHAGE) (CAIRWAN)
 回教々徒の靈地にして、ここに七日滯留すれば、その功德、マ
 カに一日留まるに異ならずとは、今も猶教徒の口にする所
 なり、トリポリはトリポリの都會にして、隊商の漠地に入る
 出發點に當れり。

東部アフリカ地方

東部アフリカ地方は、紅海の沿岸より、南は南緯二十七度に
 (EAST AFRICA)

遶する印度洋の斜面區域を稱し、中に、エリトリア・ソマリラ
ンド・イギリス領東アフリカ・ドイツ領東アフリカ・ホルトガ
ル領東アフリカ・マダガスカル島の地域あり。

この地方は、縁邊の山脈南北に亘りて、土地一般に高く、氣候
は赤道線中央に横たはれるを以て、大部は炎熱なれども、沿
海の低地は、寒暑の差少なく、雨量また豊かなり、住民多くは
舊移住民と黒人との雜種よりなり、遊牧を事とす。

(一)エリトリアは紅海の沿岸を占め、全部イタリアの保護に
屬す。

マッサワは、地方重要の海港にして、海岸の小島に立ち、棧橋に
よりて大陸と往來を通ぜり、エリトリアの東南、バブ、エル、イ
ンデフ海峡に臨めるオボクは、フランスの殖民地に屬す。

(二)ソマリランドは、アデン灣より、南の方ジバハ河に至る間
を占め、アデン灣に瀕せる部はイギリス、印度洋に面せる部
はイタリアの保護を受け、ガルダフ岬より、東方海中のソコ
トラ島はイギリスの屬島とす。

(三)イギリス領東アフリカは、ジバ河よりウバ河に至る海岸
を限り、内地は、ナイル河の上流に遶す。モバサは政廳所在の
地にして、海岸の小島に立ち、鐵道は、ここより内地に通じ、地
方第一の海港たり。ツットリア湖の西北一帯は、ウガンダと
稱し、イギリスの保護領に屬す。

(四)ドイツ領東アフリカは、イギリス領東アフリカよりロツ
マ河に至る地域を占め、西はタンガニカ湖を限る、獨逸派
遣の總督ダル、キス、サラムにありて、全地を治む。



島ルバダマ

この地の東北海岸に横たはれるザン
ザン (ZANZIBAR) 島は、獨立の王國なれども、イギ
リスの保護を受く。ザンザン島の北
なるペムバ島 (PEMBAS) またイギリスの保護領に
屬す。

(五)ホルトガル領東アフリカは、ロヅマ河以南の地を占め、ザ
ページ河その中央を貫流す。デラゴア湾 (DELAGOA BAY) に臨めるローレン
ゾ、マリーケス (MARQUEZ) は、地方主要の海港にして、鐵道はトランス、ツ、
ルに通ぜり。モザビーク (MOZAMBIQUE) は北部の都會にして、總督ここに駐
在す。

(六)マダガスカル島は、モザビーク海峡を距ててホルトガル
領東アフリカと對し、面積三萬八千方里、人口二百二十餘萬

あり、内地は高原なれども、海岸は地低く、土肥え、東岸は、貿易
風を受けて、降雨多し、住民は、マライ種族のホーツ族多數を
占め、基督教を信じ、大抵農業、牧畜を主とす。物産は、珈琲、砂糖
護膜等あり、首府をアンタナナリツ (ANTANANARIVO) といふ。全島フランス
に屬す。

マダガスカル島の東に位せるモーリス、ス島 (MAURITIUS) は、その東北の
セイシール島 (SEICHELLES) と共にイギリスに屬し、レユニオン島 (REUNION) は、フラン
スに屬す。

西部アフリカ地方

西部アフリカ地方は、セロコ (WEST AFRICA) の南より、南緯十八度に位せる

クネーネ河に至る本土の西部を稱す。住民は、純粹の黑人(CUNENE)。バ
ンツ族・ホツントト族等を主とし、物産は、椰子・護膜珈琲・カケ
ーオ・象牙金等を出だし、椰子油また主要の輸出品たり。

この地方には、スペイン領サハラ・フランス領スーダン・セネ

ガル・ガambia・ホルトガル領ギニー・フランス領ギニー・シラレ

オーネ・ライベリア・象牙海岸・金海岸・トゴランド・ダホミー

ラゴス・ナイジール海岸保護領・北ナイゼーリア・カメルーン

フランス領コンゴ・アンゴラ等の地域概ね順を逐ひて排

列す。その中、ライベリアを除くの外は、皆ヨーロッパ諸國の
領土・殖民地若しくは保護領にして、

フランスは、フランス領スーダン・セネガル・フランス領ギニ

ー象牙海岸・ダホミー・フランス領コンゴ、

イギリスは、ガambia・シラレ・オーネ・金海岸・ラゴス・ナイジール
海岸保護領・北ナイゼーリア、

ドイツは、トゴランド・カメルーン、

ホルトガルは、ホルトガル領ギニー・アンゴラ、

スペインは、スペイン領サハラ、及びフランス領コンゴの海

岸なる、コリスコ湾(CORISCO BAY)の一部等を、各その勢力範圍の下に置

けり、

スペイン領サハラは、セロコノの南より、ブランコ岬(C. BLANCO)に至る海

岸地方にして、内地はその境界未だ明らかならず。この地の

西北洋上に散點せるカナリ諸島は、スペインに屬し、諸島の

北なるマデラ諸島・アゾール諸島、及び南なるヴェード岬諸

島は、共にホルトガルに隸す。セネガルよりシラレ・レオーネま

二面積約六
千方里人口
二百萬

ての海岸地方をセネガピア(SENEGAMBIA)といふ。シラレオーネは、氣候熱く、瘴癘人を害するにより、「白人の墳墓」と稱せらる。これより東の海岸は、胡椒の一種を出だすを以て、グレイン海岸(GRAIN COAST)といひ、その一部のライベリアは、北米合衆國より解放せられし奴隸が創立したる共和國にして、百般の制度は同國に倣ひ、大統領を選び、議會の設けあり、首府をモンローヴィア(MONROVIA)といふ。金海岸の東の沿岸は、往時奴隸輸出の要港たりしにより、又奴隸海岸(SLAVE COAST)と稱す。ラゴスは、ナイジール河下流の西部、ベニン灣に臨める海岸地方にして、その東のナイジール河口の三角洲は、ナイジール海岸保護領とす。この地は、北の北ナイゼーリアに對して、また南ナイゼーリア(SOUTHERN NIGERIA)と稱す。北ナイゼーリアは、チャド湖より、西の方ダホミーに至る間を占め、南は

殆ど北緯七度に達し、ソコト(SOKOTO)、即ちフリーラ帝國、ボルヌー王國等の回教國その大部にあり。カメルーン一帯の海をピアフラ灣とし、シラレオーネよりここまでの海岸地方を、地理上、上ギニー地方と稱し、ここよりアンゴラへかけての海岸一帯を下ギニー地方と稱す。ピアフラ灣内のフルナンド(FERNAND PO)、ガール島は、その西南のアンボン島と共にスペインに屬し、セントトーマス島はホルトガルに隸す。アンゴラの西、大西洋中に横たはれるセントヘレナ島(ST. HELENA)、アセンション島(ASCENSION)は、共にイギリスに屬し、前者は、ナポレオン第一世の流されし處なるを以て知られ、後者はイギリスのアフリカ西岸艦隊の貯炭所たり。

中部アフリカ地方

中部アフリカ地方は、バールバリ地方の南より、南緯十度以南に至る間を稱し、うちにサハラ砂漠・スーダン・エング独立國の地域あり、この地方の住民は、黒人族最も多數を占め、北部にバール族・アラビア族等を混ぶ。

(一) サハラ砂漠は、バールバリ地方の南より、北緯十五度に至り、東西千二百里、南北四百里に餘る世界第一の砂漠にして、漠内は、地高千三百尺より千六百尺に達せる、不毛の砂丘よりなれども、處々に^{COASTS}濱地ありて、泉水ここに湧出し、植物ここに生育して遊牧の野民皆その畔りに稠居し、^{DATE PALMS}棗及び鹽は、砂金、駝鳥の羽毛と共に、地方主要の物産とす。

サハラ



サハラの内情

砂漠の北部、東部は、バールバリ地方、エジプトの地域に入り、西北海岸はスペインに屬し、南部はイギリスの勢力下にあれども、大部はフランスに隸す。

(二) スーダン^(SUDDAN)は、サハラ砂漠の南を占め、東はナイル河の上流より、西はセネガ

ビアに至る。チブクツは地方第一の都會にして、ムール族は地中海の沿岸地方より、漠地を渡りてここに來集し、隊商貿易盛んに行はる。

域内は、東・西・中の三部に分れ、東方スーダンは、即ち、エジプト、

スーダンにして、前に述べたるが如く、殆どイギリスの勢力

下にあり、西方スーダンは、ナイジール河、中流以西の全部に

して、フランスに屬す、中央スーダンは、東西兩スーダンの間

に位する地域にして、チャド湖をその中心とし、一部は北ナ

イゼーリアにして、これまた、前に述べたるが如く、イギリス

の勢力範圍に屬すれども、大部はフランスの掌中に落ち、チャ

ド湖東のワダイ王國、またその統轄する所たり、總じてヌー

ダンは、サハラの地の荒蕪なるに反し、土地概ね肥沃にして、

CONGO

灌溉の利亦よろしきを以て、數多の天産物を出だし、また砂金、象牙、駝鳥の羽毛等に富めるにより、フランスは、極力この地方の拓殖を經營し、現時、鐵道は、一は、セネガル河とナイジール河との上流を連絡し、他はセネガル河口より、ゾー岬に通じ、またアルジェリアよりは、後サハラ鐵道、フランス領ギニアの海岸よりは、後ナイゼーリア鐵道を敷設せんとするの計畫をなせり。

(三) コンゴ獨立國は、コンゴ河の流域全部を占め、西部はアンゴラの地に割りこみ、コンゴ河に沿ひて海に達す、面積十五萬方里、人口三千萬あり。

内地は一般に高くして、氣候炎熱なれども、降雨豊かに、土地肥え、植物よく繁茂す、コンゴ河は、河口より四十餘里の間は、

舟楫の便あれども、それよりスタンリー池に至る八十餘里は、瀑流ありて航行を容れず、されど、スタンリー池よりスタ

(STANLEY POOL)

ンリー瀑布に至る上流四百里の間

(STANLEY FALLS)

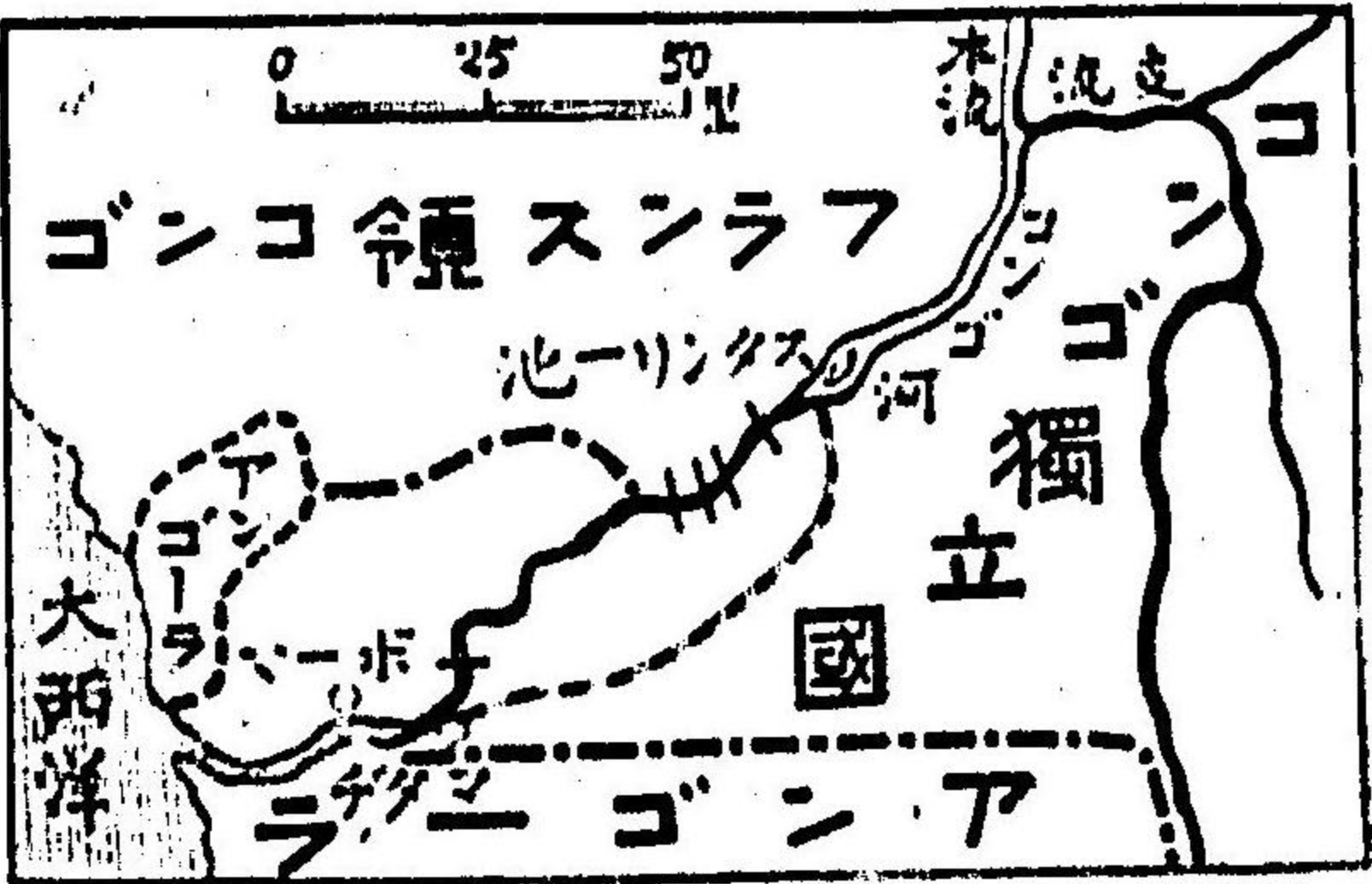
は、河幅廣く、水量多くして、汽船の往來自在なるを以て、河畔の地、人煙よく稠密せり。現時スタンリー池より

河口のマタデ(MATADI)に通ずる鐵道あり。

住民は、バンツ族殆ど全部を占め、外國人の移住せる者は、ベルギイ人最も多し。ボーマ(BOAMA)は國の首府にして、コ

ンゴ河口に臨み、椰子油、象牙、護膜、椰子等の輸出夥し。

この國は、西曆千八百八十五年、ベルリン會議の結果により



コゴ川の河口

て、列國より獨立を承認せられ、その後、ベルギイとの會議により、千八百九十年より十箇年の間、ベルギイ王は、この國の統治權を有し、その期限の満了後は、獨立の實を擧ぐるか、或はベルギイに合同するかを決すべきは、つなりしが、今にその實行の運びを見ず、現時この國の中央政府はブラセルズにあり、總督はボーマに駐在し、ベルギイ國王の命を承けて全國を治む。近時、我が國と通商條約を結べり。

南部アフリカ地方

南部アフリカ地方は、コンゴ獨立國の南より、本土の南端に至る地方を稱し、うちに、ドイツ領西南アフリカ、ケープコロ

(SOUTH AFRICA)

ニ・ナタール・バーストランド・オレンジ河殖民地・トランスウ
ール殖民地・ベチアナランド保護領南ローデシア・イギリス
領中央アフリカの地域あり。

この地方の土人には、西北部にホツントト族、東北部にバン
ツ族、オレンジ河の流域にブシマン族等あり、また南部地方
は、アフリカ中殖民事業の最もよく發達せる處なるを以て、
イギリス・フランス等よりの移住民甚だ多く、トランスウ、
ル殖民地・オレンジ河殖民地の如きは、全くオランダ殖民者
の子孫なる農夫の建設にかかれり。

二面積五萬
四千方里
人口二十萬

(一)ドイツ領西南アフリカは、ホツントト族の住めるにより、
またホツントトとも稱す。本土の西南、クォーネ河よりオレ
ンジ河に至る間を占め、海岸の地、北をダーララント、南をナ
ムクランドと

(NAMALAND)

ミクランドと

(NAMALAND)

ひ、中央のウアルツ

(WALTS)

シ海はイギリス

に屬す。

(二)ケープコロニ

(CAPE COLONY)

は、オレンジ河以

南の大部と、以北

のベチアナラン

(BECHANALAND)

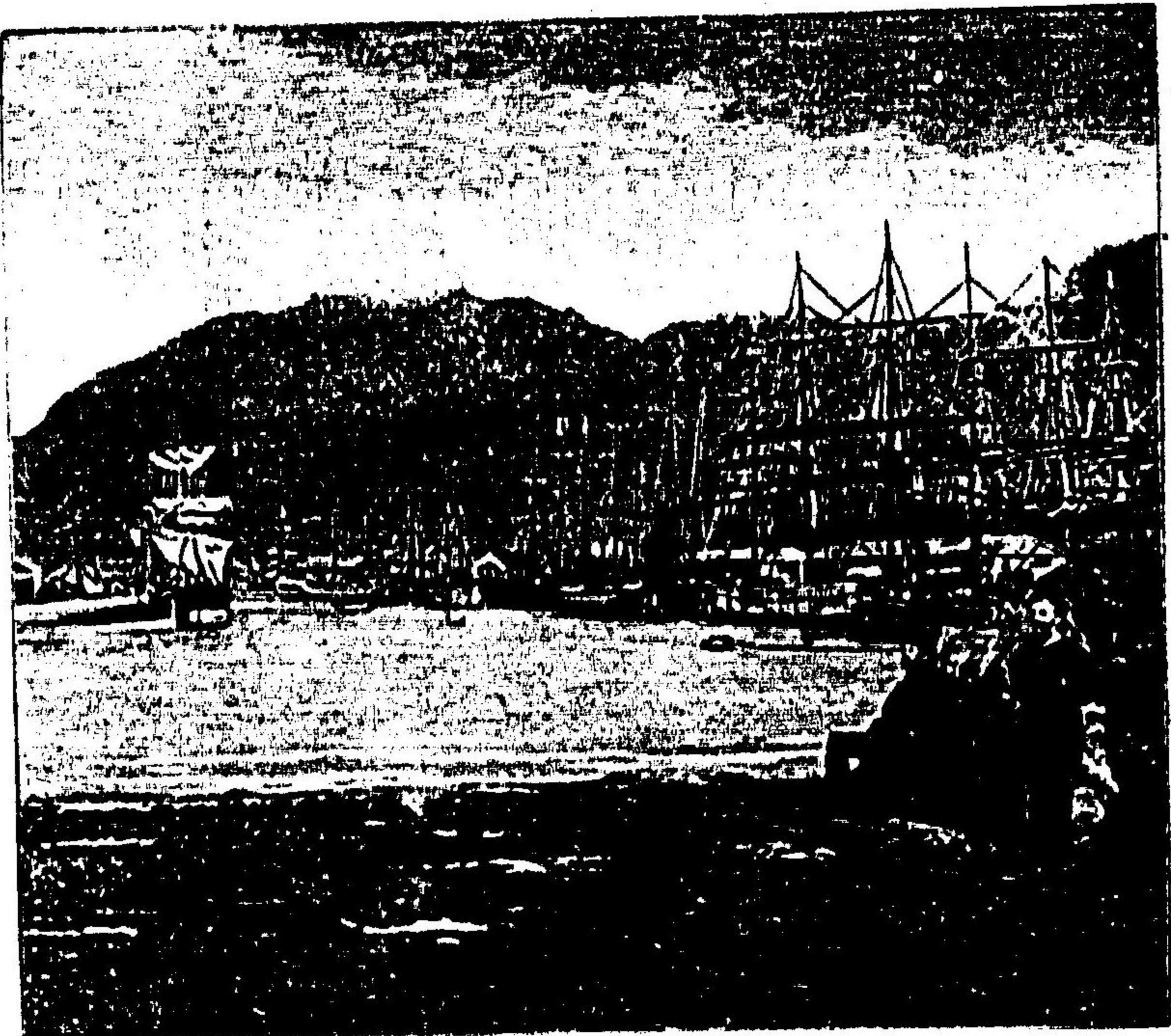
ド本部とを含む

(RODER)

内地は、山脈海岸

に並行して一帯

の高地をなし、氣



ケープコロニアの埠頭

二面積五萬
七千方里
人口百五十萬

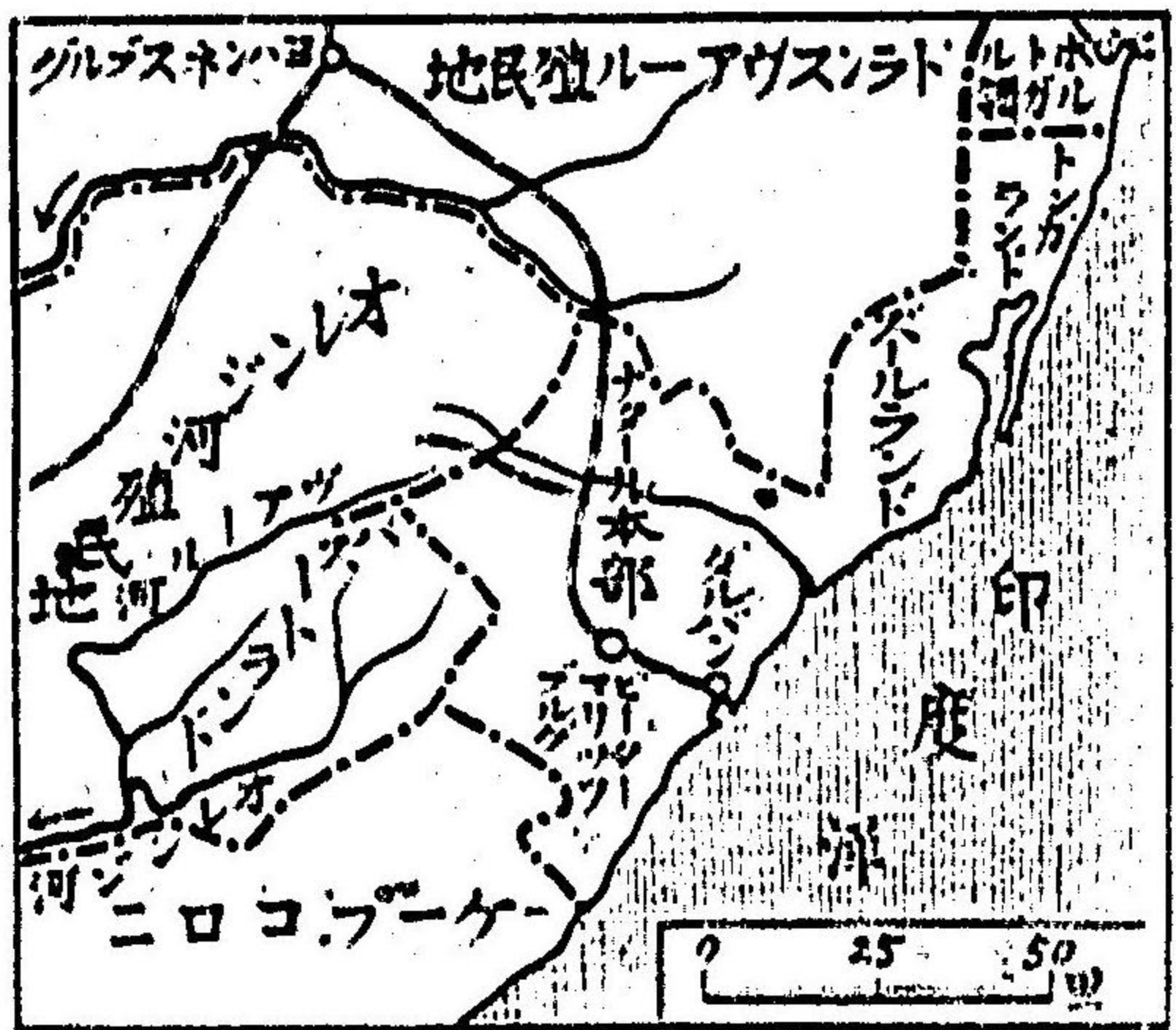
候温暖空氣乾燥なれども、雨期は良好の牧場に適し、牧羊甚だ盛んにして、駝鳥の飼養また行はれ、北部のキバリーヨリは許多の金剛石を産す。輸出は、金剛石、羊毛を主とす。この地は、もと、オランダ農夫の創立せし殖民地なりしが、イギリスこれを占領し、本國派遣の太守全土を治む。ケープタウンは、西南海岸に臨める地方第一の都會にして、鐵道は、北方の内地に通ぜり、エリザベス港及び東ロンドン港また主要の海港なり。

(三) ナタールはケープ、コロニの東北に位して、ナタール本部
(NATAL PROVINCE)
ズールランド・トングランドの三部に分かる。もと、ケープコロニの管轄なりしが、今は、獨立の殖民地となれり。産物は、羊毛、砂糖を主とす。首府をピーターマリッツブルグといふ。ダル
(PETERMARIITZBURG)

(二) 面積約六
千方里、人口
九十萬

(二) 面積約二
千方里、人口
二十五萬

(三) 面積八千
餘方里、人口
二十萬



パン港は、濠洲大陸より海底電線のかかれる處なり。

(四) バーストランドは、ナタールの西、オレンジ河の水源地に位す。全部もと、ケープ、コロニに屬せしが、今は、獨立の殖民地となり、イギリスより派遣の代理官政治を行ふ。

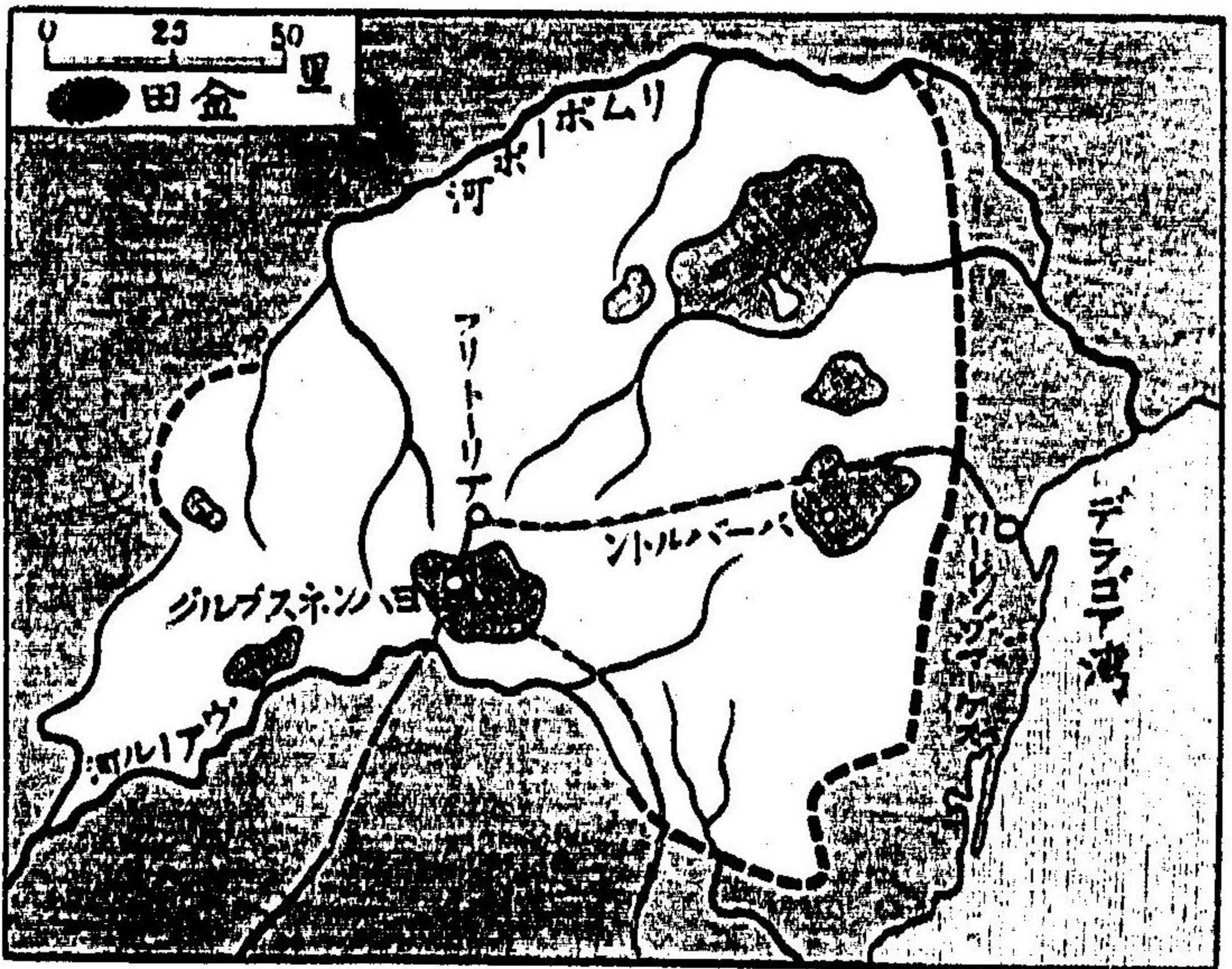
(五) オレンジ河殖民地はオレンジ河とその支流のツール河との間に夾まり、全部高原よりなり、河流縦横に通じ、よく穀産、牧養に適す。物産は羊毛を主とし、金剛石これにつき、駝鳥の飼養亦盛んなり。この國は、もと、オランダ農夫の創立にか

かる共和国にして、オレンジ自由山國と稱せしが、イギリスと戦争の結果、西暦千九百年、その殖民地となれり。ブレイムフンタインは地方の要都なり。

面積二萬
六千八百
九百

(六) トランスヴァール殖民地は、オレンジ河殖民地の東北、リムポポ河とツール河との間に位す。地勢は、東部にドラークセン山脈を繞らし、土地概ね高燥、氣候また溫暖にして、農耕、牧養に適し、羊毛の輸出殊に著しく、駝鳥の飼養亦行はれ、鐵産は金、石炭、鐵等の探掘夥しく、殊に金の産額は世界に名高し。この地もまた、オランダ農夫の創立にかかる獨立共和国にして、南アフリカ共和国、又はトランスヴァールと稱せしが、外交のことより、屢イギリスと干戈を交へ、終に大に敗れて、オレンジ河殖民地とともに、西暦千九百年、その殖民地となれり。

面積三萬
五千九百
口二十萬



田 金

プリトリアは國內第一の都會にして、南部の山中にあり。この南のヨハネスブルグ及び東のバーバルトンは、附近に金鑛あるを以て著はる。

(七) ベチアナランド保護領は、ケープ、ヨロニの一部なる、ベチアナランド本部の北に位して、カラ

ハリ砂漠の大部を占め、水灌に乏しけれども、牧養と玉蜀黍

の栽培とに適す。全部イギリスの保護を受く。

(八)南ローデシアは、トランススヴァール殖民地の北、ザンベジ河

(SOUTHERN RHODESIA)

までの間を稱し、北は、イギリス領中央アフリカの一部なる

北ローデシアと界す。全土、マタベレランド、マシナランドの

(MATABELAND)

(MASHONALAND)

地區に分れ、前者は金産に富み、後者は農耕に適す。全部、北ロ

ーデシアと共に、イギリス領南アフリカ会社の所管に屬す。

(BRITISH SOUTH AFRICA COMPANY)

(九)イギリス領中央アフリカは、ザンベジ河以北の一帶、北は

(BRITISH CENTRAL AFRICA)

タンガニカ湖より、東はニアッサ湖に至る間を占め、南部は、

ローデシアの一部にして、南ローデシアに對し、又北ローデ

(SOUTHERN RHODESIA)

(NORTHERN

シアと稱す。物産は、珈琲、酸漿、象牙を主とす。

(RHODESIA)

アメリカ (AMERICA)

アメリカは西半球の大陸にして、コロンブスが發見せし處に

(COLUMBUS)

かかり、東半球の舊世界に對して、また新世界と稱し、地形上

(NEW WORLD)

分ちて、北及び南アメリカの二大陸とし、パナマの地頸を以

(PANAMA)

てその間を聯結す。漢字に亞米利加と譯して、我が國人の南

米、北米と略稱するもの即ちこれなり。

北アメリカ (NORTH AMERICA)

總論

位置 北アメリカは西半球の東部を稱す。北は北氷洋に面

し、東は大西洋に臨み、南はバハマ地頸によりて南アメリカに連なり、西は太平洋に面す。全土の面積はヨーロッパの二倍以上に當れり。

區劃 本大陸は分ちて、イギリス領アメリカ北米合衆國・メキシコ・中央アメリカ諸國、西インド諸島、グリーンランドの六部とす。

地勢 本土の地形は、大體北に廣がり南に狭まりて、殆ど三角形をなし、沿岸は比較的屈曲少なく、北部に、ハドソン灣深く内地に彎入し、その東のラブラドル半島は、南のノッスコーシア半島とともに、ニューファンドランド島を挟みて、うちセント・ローレンス灣を抱ける外、フロリダ半島に至るまでの東部は、北の半部に、メーン灣・デラウェア灣・チャッピーク灣

等の小屈曲をなせるに過ぎず、南部もまた、フロリダ・ユカタンの二半島相扼して、メキシコ灣を擁し、西インド諸島は南アメリカと共に、カリビアン海を抱けども、その海岸は出入に乏し、西部は、沿岸一層單直にして、下カリフォルニア半島によりてなれるカリフォルニア灣、及びテワンテペク灣・サンフランシスコ灣等の外、カナダの海岸には、許多の島嶼互に相錯雜し、アラスカの西南より、アリューシアン群島は、カチャカ半島に連なり、うちに、ベーリング海を擁せるに過ぎず、從ひて、本土の海岸線は、その延長一萬里に充たず、アラスカの西北隅に斗出せるプリンセス・オブ・ウールス岬は、ベーリング海峽を距てて、シベリアの東岬と相對し、ラブラドル半島のチャールズ岬と共に、本大陸の東西兩端たり、本大陸の北端は、

グリーンランドのマーチソン岬にして、その北には北氷群島
(SCOTIA) (AURITSON) (ARCTIC ARCHIPELAGO)
羅列してグリーンランドに連なれり。

地勢は、西部にロッキー山脈、北氷洋の沿岸より起り、北米合衆

國に亘りて許多の並行短脈に分れ、メキシコより中央アメ

リカを経て南米の山脈につづき、その西部には、更にカスケ

ード・シラ、チツダの二連脈ありて、ロッキー山脈との間に、一大

盆地を包み、東部にアパラチアン山脈、セント、ローレンス灣

の灣頭より起り、斜めに西南に蜿蜒して、ミシシッピ河口に達

し、また東北部に、ランラドール丘陵ありて、セント、ローレン

ス灣とハドソン灣とを分ち、中央部は、北は北氷洋より、南は

メキシコ灣へかけ、世界稀有の大平原をなし、平原また、北緯

四十九度の邊に綿亘せる小高地によりて南北に分れ、北部

グリーンランドは
スペインの山脈に
續いて

グリーンランドは
スペインの山脈に
續いて

はハドソン灣、北氷洋に低下し、南部はメキシコ灣に傾斜せ
り。又本土には、一帯の火山脈ありて、ロッキー山脈を貫通し、ア
リゾニアン群島より、カチャカ半島及び我が國を経て、マラ
イ群島に連なれり。

本大陸は、面積の廣大なると、中央に平原を形成せるとによ

り、河流の長大なるもの多く、ミシシッピ河・マッケンジー河・サス

カチワン河は、中央平原の小高地を分水嶺として、南北兩平

原の灌溉を司どり、東北部に於けるセント、ローレンス河、ア

ラスカに於けるユーコン河、ロッキー山脈に於けるリオ、クラ

ンデ、コロラド河・コラピア河等、また各その方面の排水を司

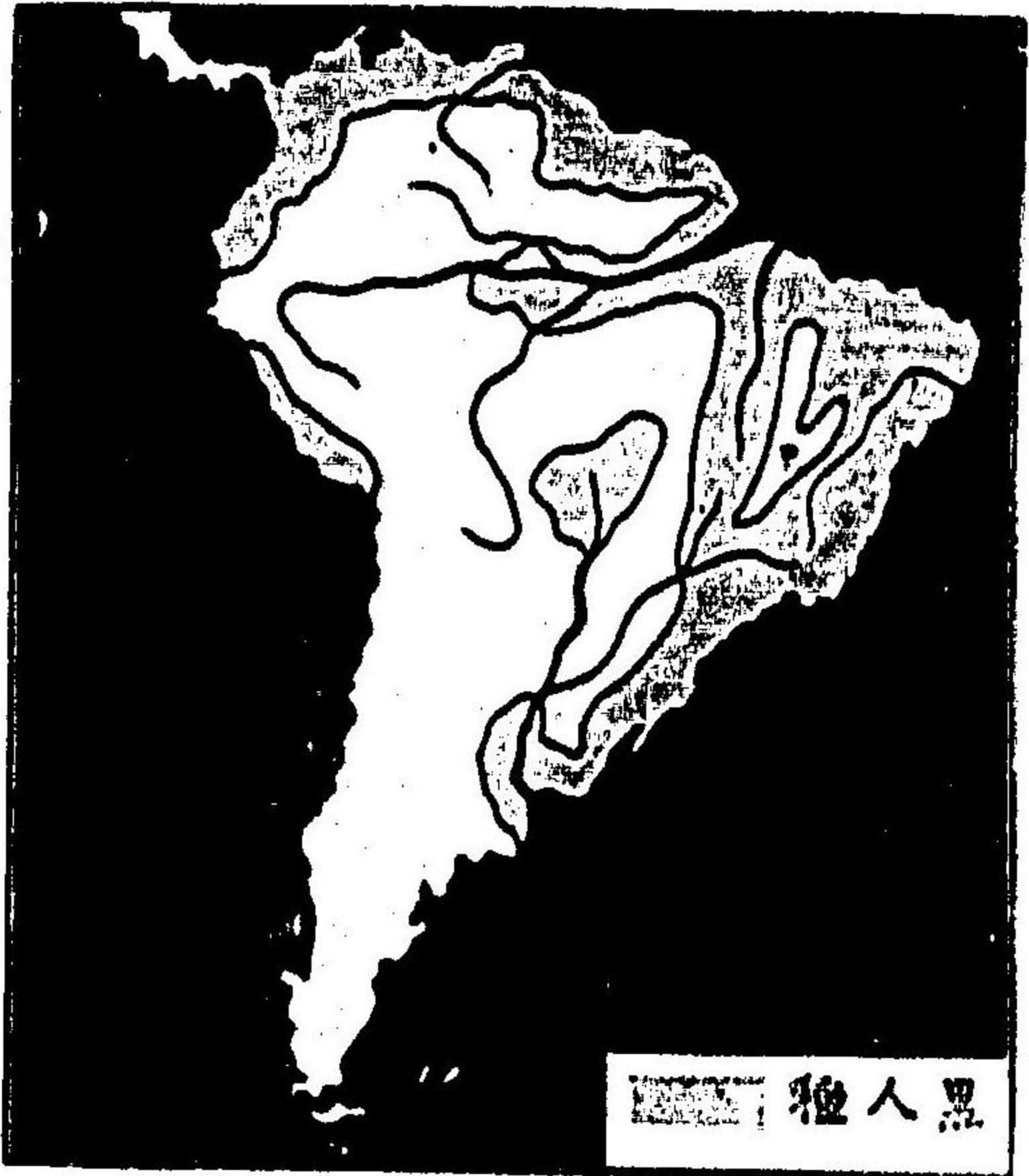
どれり、殊にミシシッピ河・セント、ローレンス河・マッケンジー河

ユーコン河は、北アメリカの四大河と稱せられ、ミシシッピ河

の如きは、その流程實に世界第一にして、小高地のイタスカ
 湖に發し(MISSOURI)、ミズーリ、カンサス、オハイオ等の支流と共に、
 南部平原の全域を灌溉し、河口よりミズーリ河の水源地ま
 て千七百五十里、支流を合せて舟航八千里に達す、本土は又
 「湖沼の大陸」といはれ、湖水の多きこと世界第一にして、東北
 部のスーペリオル・ミシガン・ヒューロン・イーリ・オンタリオの
(SUPERIOR) (MICHIGAN) (HURON) (ERIE) (ONTARIO)
 五大湖を始め、ツィンネベグ湖・アサバスカ湖・大奴隸湖・大熊湖等
(WINNIPEG) (ATHABASCA) (GREAT SLAVE) (GREAT BEAR)
 の諸湖北部平原に排列し、西部の盆地には大鹹湖あり、殊に
 スーペリオル湖は「世界淡水湖の王」と稱せられ、その面積は
 我が北海道本地よりも遙かに大なり。
 氣候 全部概ね七十度の緯度間に横たはりて、北部南部は
 寒熱二帯に亘れるを以て、各地の氣候に差違あるはいふま

でもなきことなれども、中央大平原の如きは、南北に開ける
 と、ロッキーン・パラチアンの兩脈、海洋の調和を妨ぐるとによ
 り、同緯度に位せるヨーロッパの諸國に較ぶれば、寒暑共に強
 く、純然たる大陸性氣候を有す、されど、山脈以外の海岸地方
 は、暖流の影響を受くるにより、緯度の高き割合には氣候溫
 和なり、降雨は、南部西部に多く、漸次東部北部に少なし。
 天産物 本土の植物は、その種類甚だ多く、寒帯の地は、僅に
 藜苔を以て蔽へるに過ぎざれども、溫熱二帯の地には、松、柏
 類の森林に富む、農産は、麥類、玉蜀黍、甘蔗、綿、煙草等最もよく
 その生育に適し、南方地方は多く米穀を出だす、動物は、海豹
 白熊、熊、海狸、野牛の類、北部地方の特産として著はれ、羊、山羊、
 及び狐、貂等の毛皮獸、また各地に産す、礦物は、その種類の多

きと産出の夥しきを以て著はれ、殊に石炭、石油は北米合衆國に多く、金、銀は北米合衆國、メキシコ、カナダより出づるもの、品質の良好なるを以て聞え、銅、鐵、水銀は北米合衆國、メキシコ、カナダより採掘せらる。



黒人の分布

住民 住民は九千八百万ありて、その三分の二は、ヨーロッパより移り來りしイギリス人、ドイツ人、フランス人、スペイン人などの子孫よりなり、その餘は、奴隸としてアフリカより輸入したる

黒人の子孫、本土固有のインディアン族、又スペイン人とインディアン族との雜種民族、即ちメスタゾ族等にして、極北部、及びグリーンランドには、エスキモー族あり、言語は主にイギリス語を用ひ、又ドイツ語、フランス語を使用するものあり、メスタゾ族は一般にスペイン語を用ふ、宗教は大抵基督教にして、その新派最もよく行はれ、舊派はフランス人の子孫、及びメスタゾ族に勢力あり。

地方誌

(一)イギリス領アメリカ

本土の北部、凡そ北緯四十九度以北のカナダ、及びニュー・ファン

イヤリス領アメリカ

ドシンド島(BERING ISLANDS)、パーミーダ諸島を合せてイギリス領アメリカと稱し、面積六十萬餘方里、人口五百餘萬あり。

地勢は、ロッキー山脈はカスケード山脈と相並びて西部の高原をなし、東部には、緩斜なるシラード丘陵ありて、共に深き森林をなしてはあれども、中央部は、北米合衆國より北氷洋の海岸にかけて、廣き大平原をなし、平原の北部は、蘆荈を以て蔽はれて、殆ど無人の境をなし、漸次南に森林となり、サスカチワン河の流域は、プレーリー(PRAIRIE)即ち一面無樹の平原にして、よく麥類の耕作に適す。

氣候は、五大湖の附近、及び太平洋の沿岸地方は、稍溫和なれども、その他は皆寒暑共に強くして、夏は華氏の寒暖計百二度に上り、冬は同じく氷點下三四十度に下り、北西領はもと

(NORTH WEST TERRITORY)

より、イギリス領コラビア及びハドソン灣地方より、ラブラドル丘陵へかけての一帶は、山河到る處氷結し、陶磁器の如きは、溫室に置かざれば、自ら破碎す。物産は、林産、農産を主とし、又水産物に富み、カナダは、漁人の樂土と稱せられ、殊にニューファンドランド島の近海は、世界三大漁場の一にして、鰵、虎海豹より、鱈、鮭、鱒等の産殊に夥し。鑛産は、イギリス領コラビアの金、ノッスコーシア、ニューブランズウィックの石炭、鐵等最も豊富なり。輸出は、材木、小麥、肝油、魚類、毛皮等を主とす。我が國との取引は、麥粉、材木、蠟、詰類を輸出し、米、陶器、密柑、醬油、絹布、茶等を輸入す。

域内鐵道の延長せるもの、現時、殆ど一萬九千哩に達す。就中、

カナダ太平洋鐵道は、その本線は、クベックよりバンクーバー

CANADIAN PACIFIC RAILROAD

(QUEBEC)

(VANCOUVER)

に亘りて、太平大西の兩洋を連結し、またグランド、トランク
 鐵道・インタル、コロニアル鐵道等は、各カナダの東南地方を
(INTERCOLONIAL RAILROAD)
 網羅し、北米合衆國との間に往來繁劇を極む。

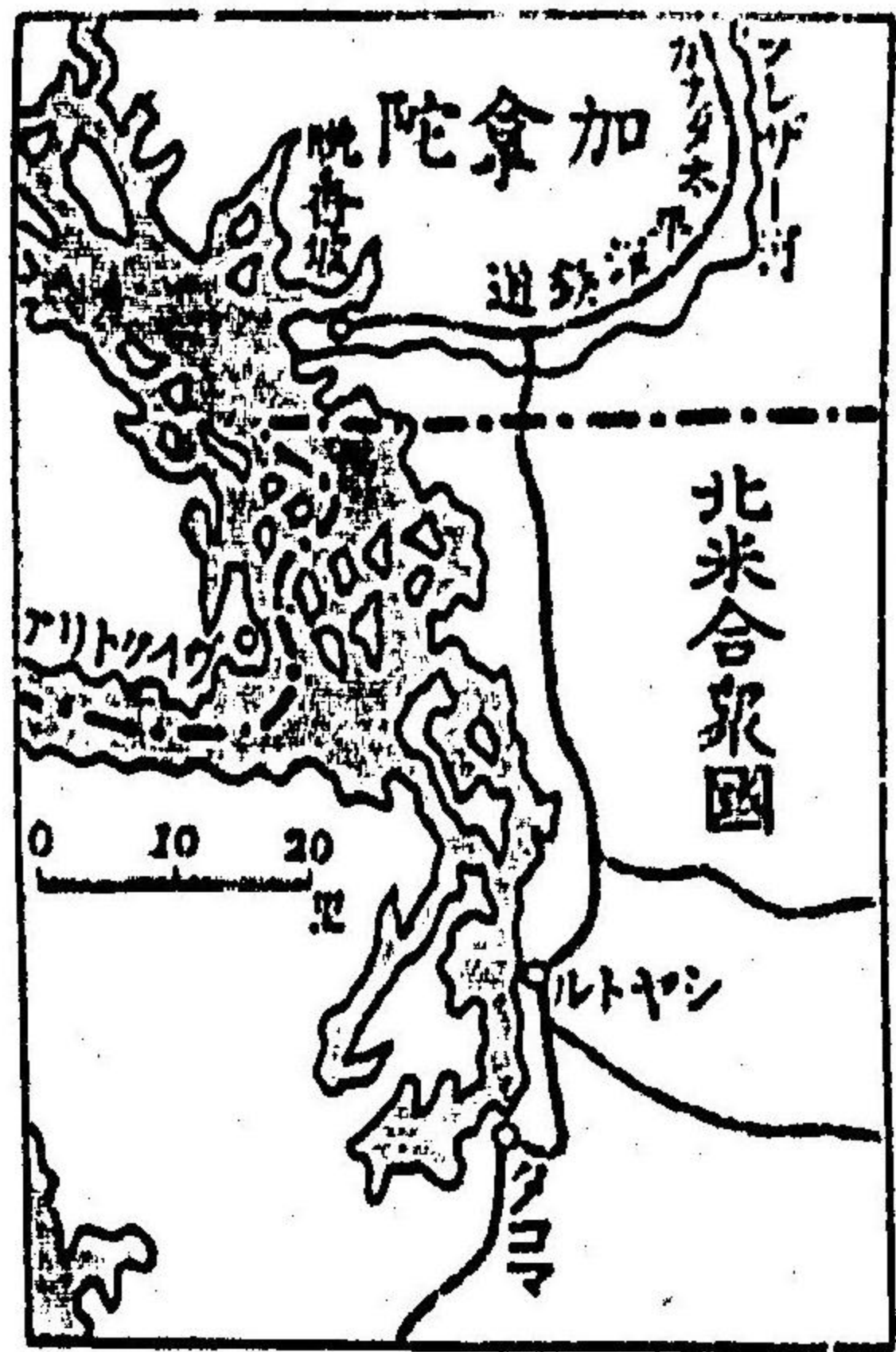
住民はイギリス人の子孫最も多く、大抵農業林業を主とし、
 西北地方には、インデアン族、エスキモー族の狩獵を事とせ
 るものあり、宗教は基督教の新派最も盛んに行はる。カナダ
 は、もとフランスの領地なりしが、西曆千七百六十三年以來
 イギリスに屬し、(OTTAWA) オタワにカナダ政廳を置き、總督ここに駐
 在して、百般の行政事務を行ひ、立法權は兩院制の議會に屬
 す。地方は、(NOVA SCOTIA) ノヴァスコシア、(NEW BRUNSWICK) ニューブランswick、(PRINCE EDWARD) プリンセス、エ
 ドワード島、(QUEBEC) シュベック、(ONTARIO) オンタリオ、(MANITOBA) マニトバ、(BRITISH COLUMBIA) バイギリス領コラ
 ビアの七州及び北西領に分ち、州には、皆獨立の政治を行は
(NORTHWEST TERRITORY)

しめ、北西領は、更に、(ASSINIBOIA) アシニボーイア、(SASKATCHEWAN) サスカチワン、(ALBERTA) アルバータ、
(ATHABASCA) アサバスカ、(YUCON) ユコン、(MACKENZIE) マッケンジー、(NEWATIN) キーワチン、(YUKON) ユンガヴァ、(FRANKLIN) フランクリン
 の九地方に分ち、ア、シニボーイア、サスカチワン、アル
 バータ、アサバスカの四地方は、共に聯合して一の自治制を
 設け、キーワチンはマニトバ州に屬し、その他は、カナダ政廳
 の直轄に隸す。ニール、フンドランド島は、對岸のラブラドル
 と共に、イギリス政府直轄の殖民地に屬し、知事ありて、政務
 を執る。ニール、フンドランド島の南にあるセント、ピエール島
(ST. PIERRE)
 ミクロン島はフランスに屬す。
(MQUELON)
 オタワは中央政府所在の地にして、人口約五萬、オタワ河畔
(OTTAWA)
 に位し、材木商業の中心に當れり。モントリアルは、オタワ河
(MONTREAL)
 のセント、ローレンス河に會合する處に位し、人口二十二萬

水路直ちに大西洋と航行の便あるを以て、貿易繁盛を極め、人口凡そ二十萬ありて、市況の股賑なることカナダ第一たり。この地に我が國の總領事館あり、**トロント**は、人口十八萬、オタワの西南に位し、北米合衆國との取引盛んなり。クベックは、セント、ローレンス河の河口に臨み、カナダ太平洋鐵道の起點に當り、材木を輸出すること夥し。**ハリファクス**は、ノヴ、スコシアの海岸に臨めるカナダ地方唯一の不凍港にして、石炭、魚類、肝油の輸出を以て著はれ、又セント、ローレンス河の結氷と同時に、イギリスとの定期郵船は往來頻繁を極む。ツ、ンク、ウーは、イギリス領コラ、ピアの西南部、太平洋に枕める海港にして、カナダ太平洋鐵道の西端に當り、東洋諸國とイギリス、アメリカとの間に於ける貨物の繼立場

(北米鐵道の根據地)

晩年



クワンゾー及びその近附

として、ただ車船相移るに過ぎざれども、市況繁昌にして、貿易盛んに行はれ、我が國より茶、生絲、陶器、米等の輸入あり、我が國人多く在留し、領事

館あり。ク**ロンダイク**は、近時、砂金の産を以て世に知られし

(KRONDIK)

より、俄に移民を招致し、**ユーコン河**の上流、**ドーソン市**はその

(DAWSON CITY)

集中點に當り、人口約二萬ありて、我が國人の山稼せるもの、また二十人許あり。

ノヴ、スコシアの南、凡そ七百海里の洋中に散在せる**ムーダ群島**は、三百餘の小島よりなり、面積は、我が小笠原群

島と同大にして、人口一萬六千餘あり、この地は、氣候溫暖、風光また佳なるを以て、冬期アメリカ人の賞遊するもの多し、全島イギリス直轄の殖民地に屬す。

(二)北米合衆國

北アメリカ中央の大部を北米合衆國と稱し、面積は我が國に二十二倍し、人口七千六百萬あり、我が國人のいはゆる米國これなり。

地勢は、東部にアパラチアン山脈は並行脈に分れて、東北よりミシシッピ河口へかけ、一帯の高原をなし、西部は、コールドレタ高原、この國全幅の西半部を領し、ロッキー山脈その東を

ニダラニア
レガニー山
脈あり

(APPALACHIAN)

(ROCKY)

(COLDLETTAN)

(PLATEAU)

(MOCKEY)

限り、カスケード山脈、シラネツダの二連脈その西を限りて、

(CASCAD)

(SERRA NEVADA)

うちに、その幅百里乃至三百里に亘れる大盆地を抱き、盆地

はまた、ウーサチ山脈によりて、グレート、ベイスン、コロラト

(WASATCH)

(GREAT BASIN)

(COLORADO)

高原の二域に分れ、殊に西部のグレート、ベースンの如きは、

(PLATEAU)

鹹湖及び砂漠の域をなす。されど、中央部は、カナダのプレー

(PRAIRIE)

リーよりつづきて、漸次南に、メキシコ灣に傾斜せる一大平

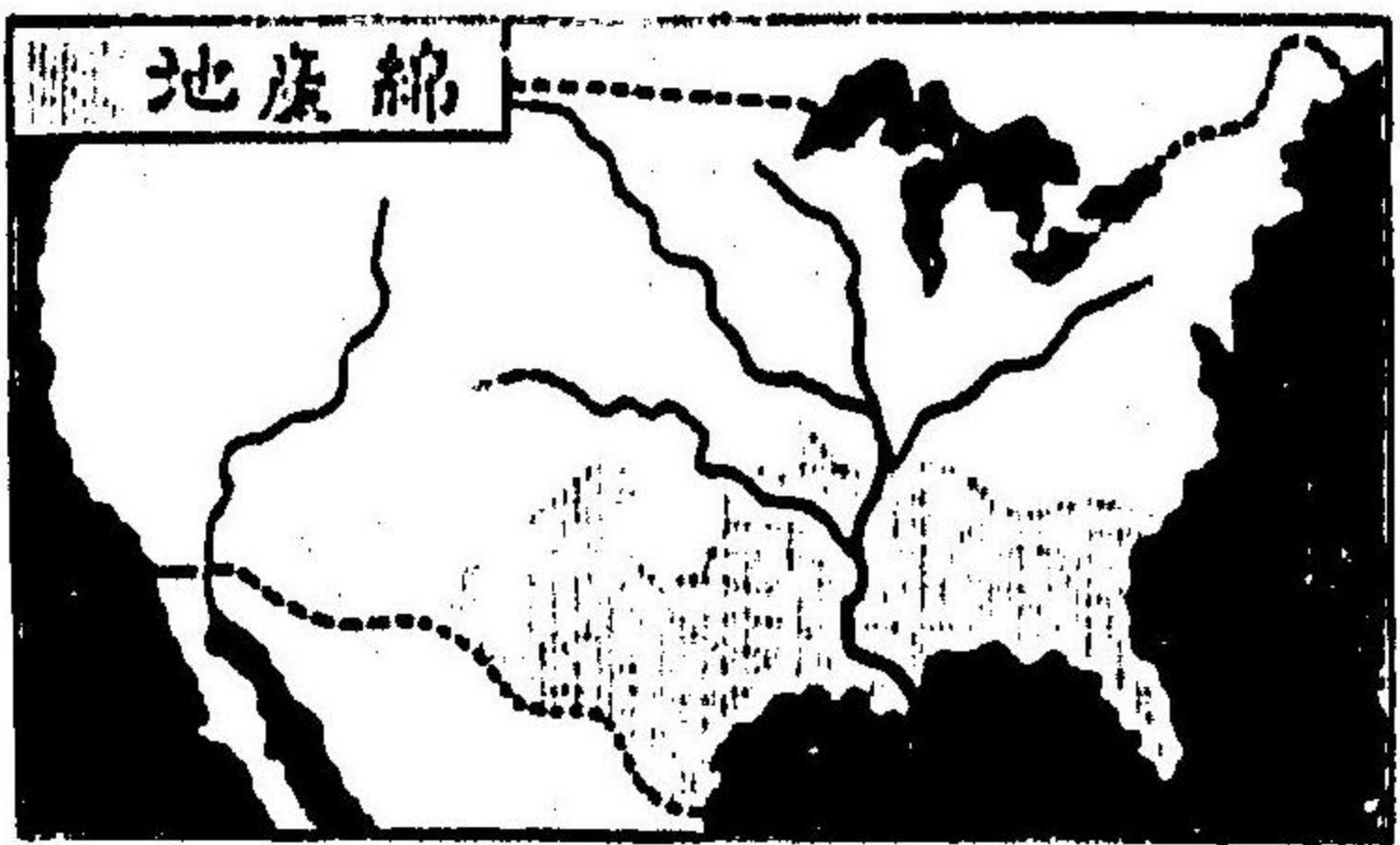
原にして、ミシシッピ河その全部を灌溉す。

大部は大陸性の氣候にして、西部盆地の中には、氣候暑く、降雨稀れにして、年内雨霽の水量僅に二百五十耗に過ぎざる乾燥の土地あり。東北部また氣候甚だ悪しく、肺病にかかるもの多し、されど、太平洋沿岸地方は、西南の暖風を受けて、氣候概ね溫暖、殊にカリフォルニア州の如きは、この國の花果園

(CALIFORNIA)

と稱せらるる樂土なり。

産業は農業最もよく行はれ、國民三分の二はその業に従事し、人口約十分の一は皆地主にして、規模の廣大にして、盛んに機械を使用せるさまは、到底他國の企て及ぶ所にあらず、



綿産地

農産中にて、玉蜀黍、燕麥、小麥、大麥、綿、煙草、砂糖、米等は、皆産額夥しく、殊に、綿はその産額世界第一にして、一年の産出五十億封度以上に達し、テキサス、ルイジアナ、アラカンサス、ミシシッピ、ペンシルバニア、アラバマ、ジョージア、フロリダ、南カロライナ、北カロライナの十州は、その栽培の中心に當り、煙草は、ケンタッキー、

北カロライナ、ヴァージニアの諸州に産するもの殊に著名なり。林産、牧業もまた、この國富源の要部を占め、カリフォルニア州、メイン州は、殊に有川の材木を出だし、ロッキーマウンテンの平野は、畜産の夥しきを以て知らる。鑛物は、石炭、鐵、金、銀、水銀、石油の産甚だ夥しく、石炭の如きは炭田の面積四萬二千方里を有す。石油は一箇年に二十四億ガロンを出だし、ペンシルバニア州の如きは、實に一大油槽の上に浮べるの觀ありて、その産出、世界第二に位し、スタンダード會社の手を経て、我が國へ輸出するもの五千萬ガロン以上に達す。金の産出は、トランスヴァールにつき、銀、銅、鐵また世界に名高く、殊にカリフォルニア州の金、ネバダ州の銀、北部中央諸州の銅、鐵は品質の佳なるを以て稱せられ、北米合衆國が世界屈指の工業

國商業國たる所以のものは、實に産業の發達に必要なる、これ等諸原料の供給潤澤なるによる。

工業は近時世界無比の盛況を呈し、綿布、毛布、鐵器、麪粉、煙草、熟皮、造船等を始め、百般の製造業皆よく巧妙を極め、殊に綿業の如きは、その紡織の大工場二千六百を有し、各種の工業に従事せる職工の總數五百萬人に達す。商業また著しく進捗し、皆資本の豊富なると商賈の誠實なるとにより、その取引は、宇内の各方面を網羅し、將にイギリス、ドイツを壓倒せむとするの勢ありて、國人のいはゆる「世界の到る處に需川の起ることあれば、これを供給するは米國人の仕事なり」との抱負實に諷言にあらず。主要の輸出は、綿、麪粉、小麦、石油、食川肉、煙草等にして、輸入は、砂糖、珈琲、毛皮等を主とし、輸出入

の總價格五十億圓に近し、我が國との取引は、麪粉、石油、綿、煙草、時計類を輸出し、生絲、茶、陶器、地氈、麥、稗、眞田、橡、腦、米等を輸入す。

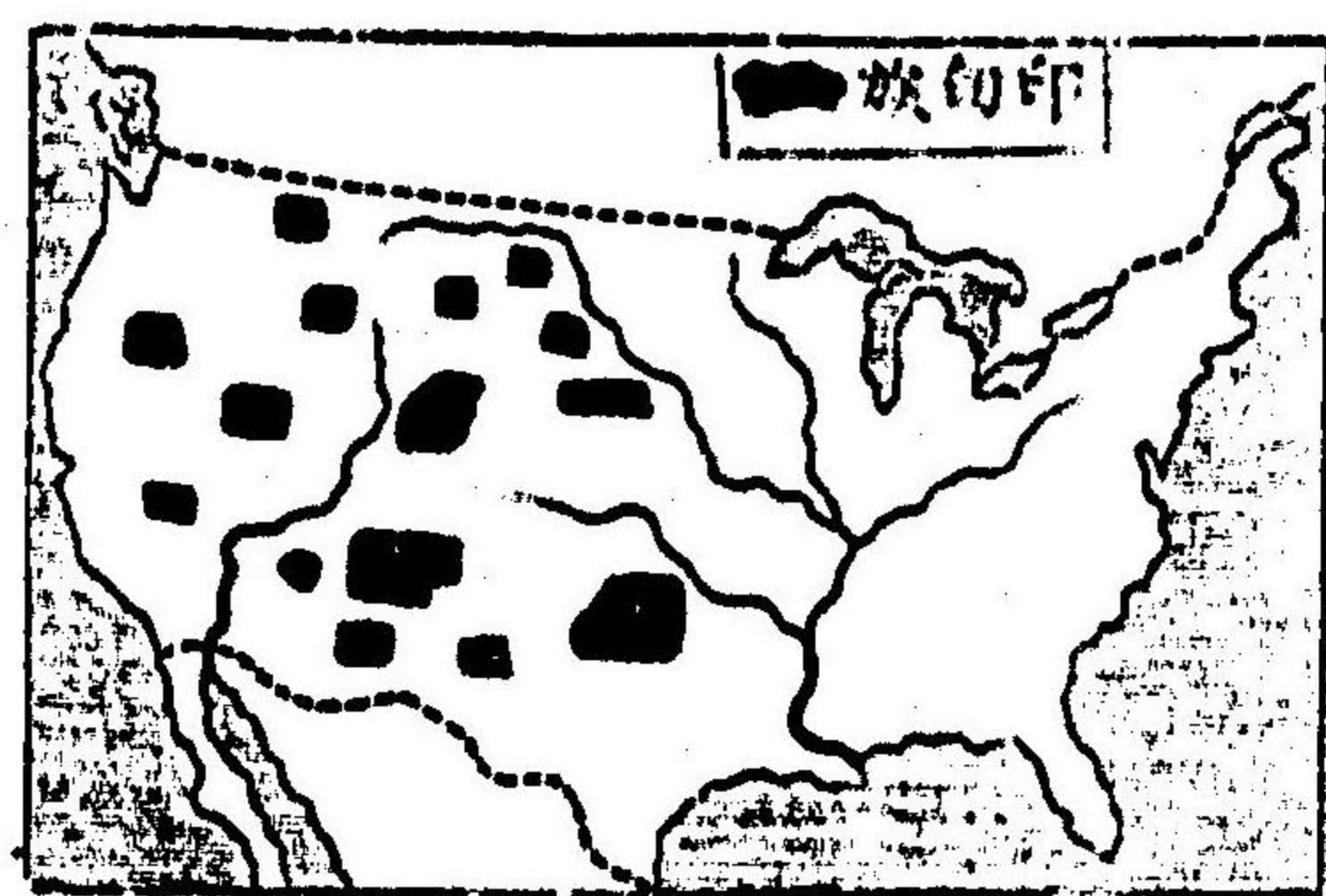
域内鐵道の延長せるもの、現時二十一萬哩に達し、その大鐵道には、北太平洋鐵道は、殆どカナダ太平洋鐵道と並行して

敷設せられ、その南には、(NORTHERN PACIFIC RAILWAY) ユニオン太平洋鐵道(UNION PACIFIC RAILWAY)、中央太平洋鐵道(CENTRAL PACIFIC RAILWAY)

道等ありて、皆五大湖地方、大西洋面の地方と、太平洋面の地方とを連結し、南太平洋鐵道は、メキシコ灣と太平洋との連絡を通ぜり。

住民の大部は、ヨーロッパ人種にして、イギリス人の子孫最も多く、性温厚にして、進取の氣象に富み、自由平等の主義を尊び、貴族の設け、勳爵の定めなし、位階はただ金貨の印象の

みとは、國人の常に誇稱する所なり。白人種につげるを黒人とし、その數、人口の十分の一を占め、インディアン族の如きは、



印人の分布

政府の保護あるに係はらず、漸次減少して、僅に二十五萬に過ぎず、支那人の移住せるもの亦十萬以上に達す。宗教は大抵基督教を奉じ、その新教徒最も多く、舊教徒これにつき、又モルモン教徒は、ユタ州をその根據地とし、信徒の數、約二十萬を有す。教育はよく國內に普及してあれども、嘗て奴隸の存せしと、移住し來るもの多くが無學なることにより、讀み書きを能くせざるもの少なからず。

全土もと、イギリスの領地なりしが、西曆千七百七十六年、十三州同盟して反旗を擧げ、交戦七年にして獨立し、爾來立憲共和政體を組織し、四年の任期を以て大統領、副大統領を民選し、行政の大權は、これを大統領に委任し、各州の代表者よりなれる元老院、人民の代表者よりなれる代議院ありて立法權を握る。地方は四十五州、一區、六地方に分ち、地方の中には、アラスカ及びハワイを含めり、その名稱左の如し。

北大西洋區 九州

- メイン州 (MAINE)
- マサチューセッツ州 (MASSACHUSETTS)
- ニューヨーク州 (NEW YORK)
- ペンシルバニア州 (PENNSYLVANIA)
- デラウェア州 (DELAWARE)
- ニュージャージー州 (NEW JERSEY)
- メリーランド州 (MARYLAND)
- コロンビア區 (COLUMBIA)
- バーモント州 (VERMONT)
- ロードアイランド州 (RHODE ISLAND)
- ニューハンプシャー州 (NEW HAMPSHIRE)
- コネチカット州 (CONNECTICUT)
- メリーランド州 (MARYLAND)
- ペンシルバニア州 (PENNSYLVANIA)

南大西洋區 八州一區

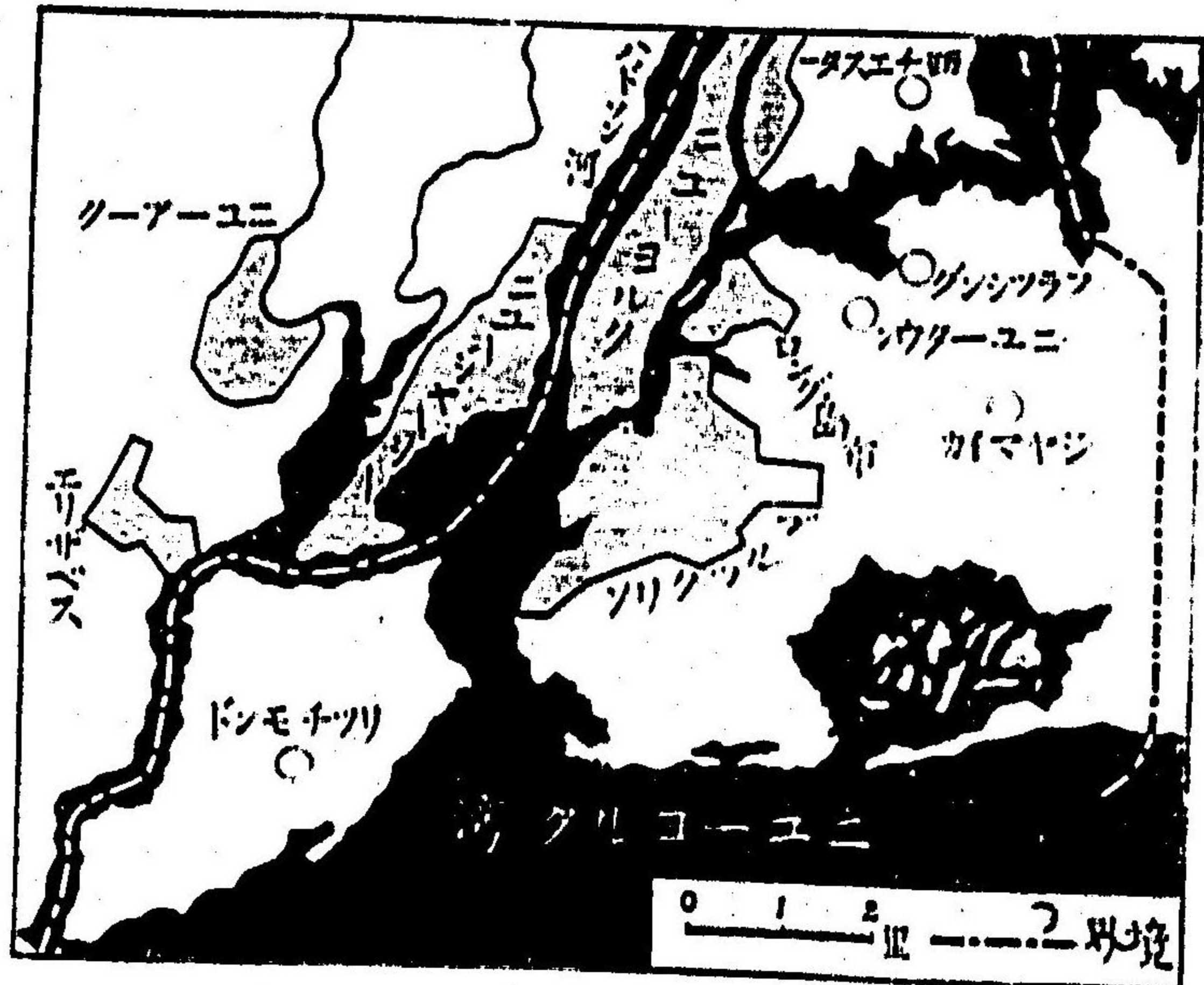
ヴァージニア州 (VERGINIA)	西ヴァージニア州 (WEST VERGINIA)	北カロライナ州 (NORTH CAROLINA)
南カロライナ州 (SOUTH CAROLINA)	ジョージア州 (GEORGIA)	フロリダ州 (FLORIDA)
北部中央區 十二州		
オハイオ州 (OHIO)	インディアナ州 (INDIANA)	イリノイ州 (ILLINOIS)
ミシガン州 (MICHIGAN)	ウィスコンシン州 (WISCONSIN)	ミネソタ州 (MINNESOTA)
アイオワ州 (IOWA)	ミズーリ州 (MISSOURI)	北ダコタ州 (NORTH DAKOTA)
南ダコタ州 (SOUTH DAKOTA)	ネブラスカ州 (NEBRASKA)	カンザス州 (KANSAS)
南部中央區 七州二地方		
ケンタッキー州 (KENTUCKY)	テネシー州 (TENNESSEE)	アラバマ州 (ALABAMA)
ミシシッピ州 (MISSISSIPPI)	ルイジアナ州 (LOUISIANA)	テキサス州 (TEXAS)
オクラホマ地方 (OKLAHOMA)	アルカンサス州 (ARKANSAS)	インディアン領土 (INDIAN TERRITORY)
西部區 九州四地方		
モンタナ州 (MONTANA)	ワイオミング州 (WYOMING)	コロラド州 (COLORADO)
ニューメキシコ地方 (NEW MEXICO)	アリゾナ地方 (ARIZONA)	ユタ州 (UTAH)
ネバダ州 (NEVADA)	アイダホ州 (IDAHO)	ワシントン州 (WASHINGTON)

ワシントン

ニューヨーク

軍備は、平時陸軍の常備兵僅に六萬五千なれども、各州には義勇兵ありて、その數十萬餘を有し、事あるの日は、民軍の總數一千餘萬を徵集す。海軍は、近時漸く強大となり、艦艇凡て百餘隻あり、我が國との交通は、ベルリが浦賀に來りしに始まり、安政五年に通商條約を結べり。

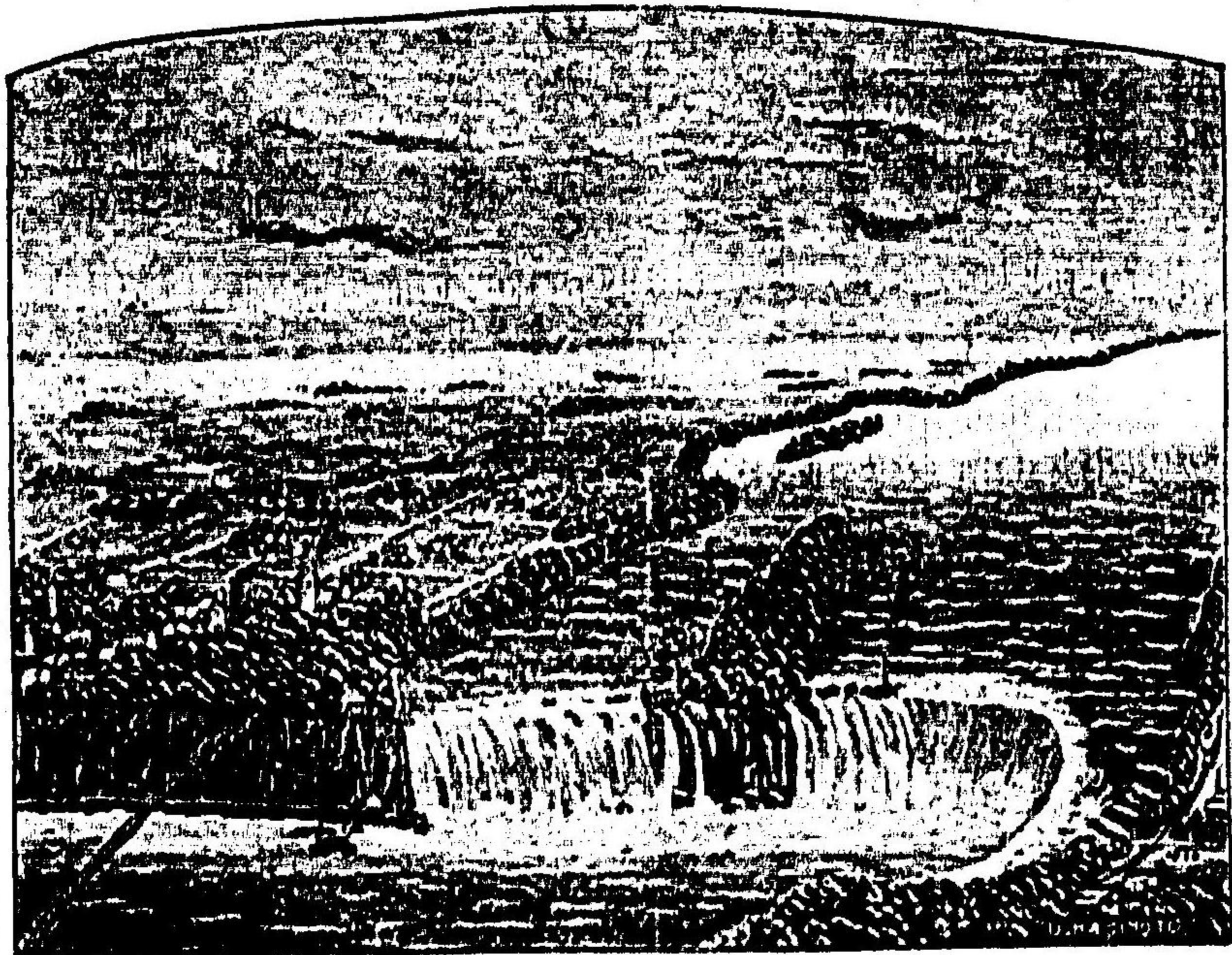
ワシントンは中央政府所在の地にして、人口三十萬、^{ポトマック河}ポトマック河に臨み、市街は端正にして、大統領の邸宅、國會議事堂等の建物皆壯麗を極む。この地に我が國の公使館あり。^{ニューヨーク}ニューヨークは、^{ブルックリン}ブルックリン、^{ロングアイランド}ロングアイランド、^{リッチモンド}リッチモンド等の諸市と共に、^{グレートニューヨーク}グレートニューヨークと稱し、人口三百



ルフィアは、往時、ワシントンが十三州の兵を率ひ、獨立を公布

五十萬あり。市況は、各種の製造業はもとより、とりわけ出版業の中心をなし、又その海港は、世界的交通の要路に當るを以て、外國との貿易盛大を極め、全國輸出入品の過半は本港にて受授せらる。この地及び近傍には、我が國人在留し、總領事館の設けあり、ブラ

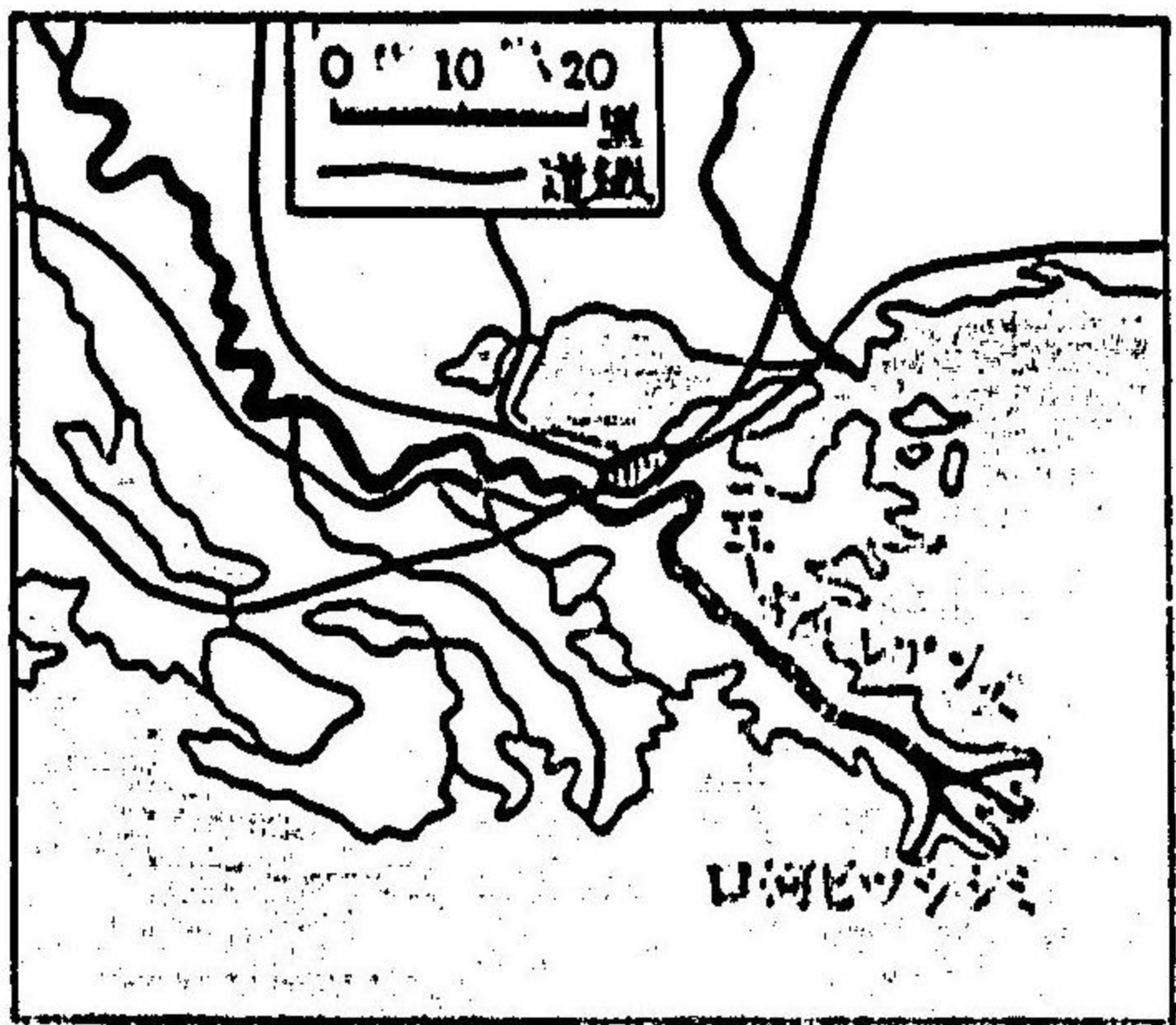
せし處にして、デラウェア河に位し、人口百三十餘萬、附近に、石炭、石油、鐵を産するにより、商工業盛んに行はれ、殊に世界最大の石油市場たり。この地の西南に位するバルチモールは、チサピーク灣に瀕し、人口五十餘萬、盛んに煙草を輸出す。名高きジョンズホプキンス大學はこの地にあり。ニー、ヨルクの北なるボストンは、人口五十六萬、米國學藝の中心點に當り、郊外にハーバード大學あり、また西南のハーバード、ヘヴンにヒール大學ありて、共に名高し。ボストンより西のイリー湖畔にハフローあり、世界に名高きナイアガラ瀑布はその北にありて、イリー湖とオンタリオ湖との間にかかれり。この瀑布は、ゴート島によりて、カナダ側にてホース、シュー瀑布、北米合衆國側にてアメリカ瀑布の二派に分れ、瀑流の飛下するこ



ナ イ ア ガ ラ 瀑 布

と百八十尺、その光景實に壯觀を極む。シカゴは、人口百七十萬、ミシガン湖に臨み、穀物材木に附ては世界の大市場にして、また北部鐵道の集中點に當れり、この地に、我が國人在留し、領事館の設けあり。ワシントンの南に

リッチモンドあり、附近の一帶、煙草の産地なるにより、その取引の市場として知らる。ニューオーレアンズは、ミシシッピ河口



ニ ュー オール レンズ

の左岸に位し、綿の輸出は世界有數にして、人口三十一萬あり。これよりミシシッピ河を上れば、その流域に許多の都會あり、就中セントルイス・シンシナチは、皆人口三十萬以上を有し、殊にセントルイスは、人口五十八萬ありて、中部鐵道の中心點に當れり。ここよりミッス

ソリー河を遡り、その支流のエーロー・ストーン公園あり、頗る風景に富み、又熱湯

YELLOW STONE NATIONAL PARK

YELLOW STONE

を噴出せる間歇泉ありて俗に米國の仙境と稱せられ、コロラド河上流の大峽谷と共に世上に名あり、サンフランシスコは、米國西部の重要な海港にして、人口三十五萬、日本支



コ ス シ ン フ ラ ン ス

那南洋諸島との貿易よく行はれ、我が國人多く在留し、日本郵船會社東洋汽船會社の汽船ここに定航し、領事館の設けあり、サンフランシスコの北なるポートランドには、我が國の領事分館あり、その北のタコマは、開港以來東洋貨物の集散甚だ速く、我が國とは茶の取引あり、シアトルは、タコマの北に位する材木市場にして、日本郵船會社の汽船ここに定航し、領事館の設けあり、總じて、シアトル

タコマ・ポートランドのあたりには、我が國人の在留せるもの、その數一萬を超ゆ。

アラスカは、西曆千八百六十七年、ロシアより買收したる地にして、面積は、我が國の三倍以上を占むれども、人口は僅に四萬四千に過ぎず、住民は、インデアン族、エスキモー族を主とし、大抵漁業に従事す、近海は有名なる海豹の獵場たり。

(三) メキシコ

メキシコは北米合衆國の南に位す、面積は、我が國の約五倍なれども、人口は、僅にその四分の一に過ぎず。

地勢は、ロッキー山脈とシラネツダとの餘脈國の東西兩側を

縦貫せるを以て、海岸より漸次階段的斜面を作り、中央は五千尺以上の高原をなし、沿岸一帯に平地を残せり。國內火山多く、就中、オリッサバ火山は一萬八千尺、ポポカテペトル火山(POPOCATEPETL)は一萬七千尺に達す。氣候は、地勢によりて三様に分れ、沿岸の低地は、暑さ強く、熱病流行し、八千尺以上の地は寒冷なること、殆ど寒帯のそれに同じ、されど、内地の高原は、天氣常に爽快にして、氣候溫暖實に國の樂園と稱せらる。

物産は、鑛物を主とし、金、銀、銅、鐵、水銀、鉛等の各種に富み、殊に金、銀は採掘夥しく、その數量は、實に輸出全額の十分の七を占め、また、許多の造幣局ありて、銀貨を鑄造し、これを支那、インド支那、南洋諸島等へ輸出す。「メキシコ・ドラー」と稱せるもの即ちこれなり。農産は、玉蜀黍、麥類を主とし、玉蜀黍の如きは、年

内三四回の收穫ありて、國人日常主要の食料とす。また、咖啡、砂糖、甘蕉等の産夥しく、コチニール(COCHINEAL CACTUS) 蝨と稱する染料はこの國の特産なり。

住民は、スペイン人の子孫、及びメスチゾ族、人口の六割以上を占め、殘餘の大部はインデアン族なり。多くはスペイン語を用ひ、採鑛、農業、牧畜を主とす。宗教は、基督教の舊派最も盛んなり。この國は、アメリカ發見の以前より、インデアン族ここに住み、アナワック高原の中央に、強大なる帝國を創立してありしが、西暦千五百二十一年、スペインに隸屬し、千八百二十二年に獨立し、その後フランスに歸し、千八百六十七年再び獨立して、現時の立憲共和政體を組織し、大統領を民選して、これに行政の大權を委ね、立法權は、元老代議の兩院これ

を握る。明治二十一年我が國と通商條約を結べり。

メキシコは國の首府にして、人口三十五萬、アナワク高原の

中央、七千三百尺の高地に位し、市街廣く、家屋大きく、また近傍には、處々に湖水を湛へて、山光水色共に麗はし、この地に

我が國の公使館、總領事館あり、この地は、熱帯に位すれども、

溫度は、我が東京と伯仲の間にあり、ヴェラクル、クルーズ、アカプ

ールコは、東西の兩岸に臨める海港にして、貿易盛んに行は

る。テワンテペック灣に臨めるサリナクル、クルーズまた海港にし

て、鐵道は、ここよりメキシコ灣畔のコアサコアルコスに通

ぜり、この鐵道は、太平洋面とメキシコ灣岸とを連絡して、貿

易線の消長を司どる最大原因たる、距離の短少と運賃の低

廉とを備へてあれども、商業上の公道として、今に世人に使

川せられざるは、全く兩港の修築完からざるによる。テワンテペック灣に瀕せるチャパス地方へは、我が國人の移民を企つるものあり。

(四)中央アメリカ諸國

メキシコの南より、南アメリカに渡口をなせる一帯の陸橋

を中央アメリカと稱す。面積は、我が國より大なれども、人口

は三百五十萬に過ぎず。域内、グアテマラ、サルバドル、ホン

ドゥラス、ニカラグ、コスタリカ、及びイギリス領ホン

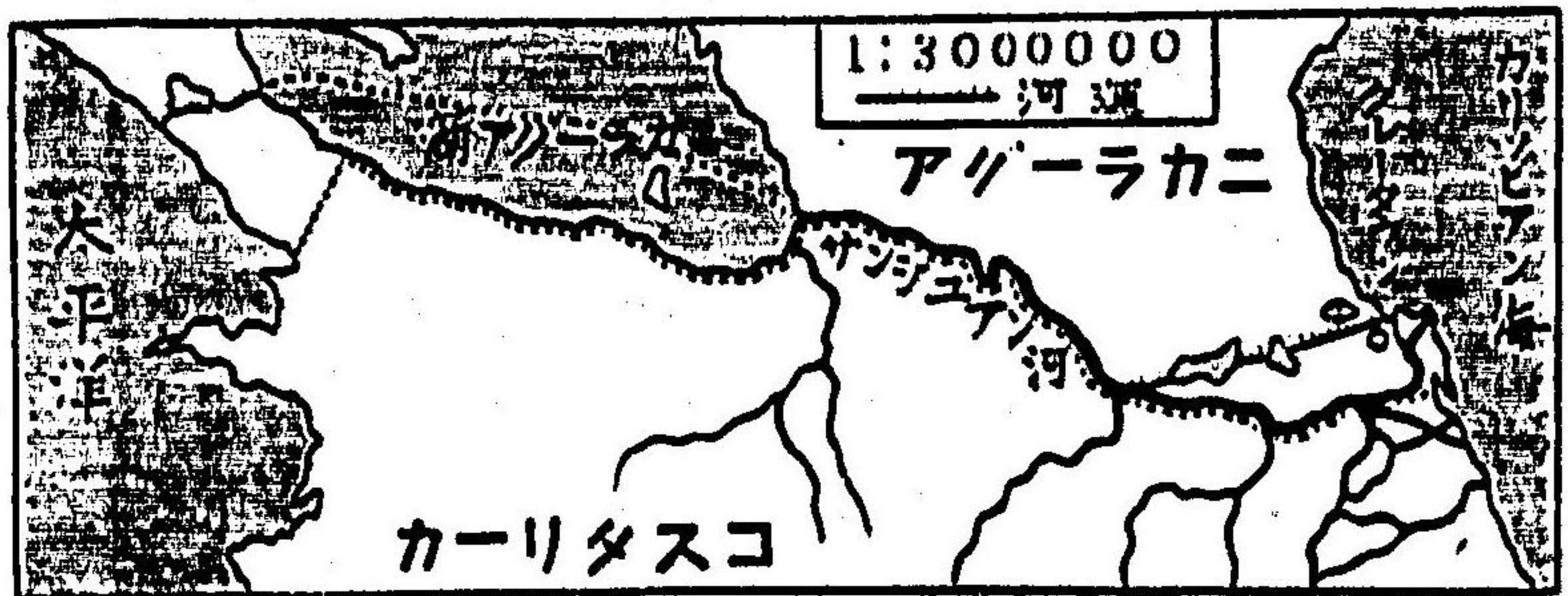
ドゥラスに分つ。

各部の面積、人口を示せば左の如し。

メキシコは
メキシコ
のメキシコ
にして海
岸

	面積	人口
グアテマール	八〇〇〇	一六〇〇、〇〇〇
サルヴァドル	一、二〇〇	八〇〇、〇〇〇
ホンデューラス	七、七〇〇	四〇〇、〇〇〇
ニカラグア	八、二〇〇	四二〇、〇〇〇
コスタリカ	四、〇〇〇	二五〇、〇〇〇
イギリス領ホンデューラス	一、三〇〇	三五〇、〇〇〇

地勢は、メキシコの高原と連続せるを以て、北部より漸次南部に低下し、太平洋の沿岸は活火山多くして、屢劇しき地震の災害を蒙ることあり。氣候は乾濕の二期に分れ、概ね不貞にして、殊にパナマ地頸より、カリビアン海に沿へる平原は、世界中、マラリア熱の最も劇しき地方とす。物産は、玉蜀黍、珈



河運アグーラカニ

琲、甘蔗、護膜等を主とし、鑛物は、金、銀、銅、石炭に富めども、採掘未だ幼稚にして、産額著しからず。

この地の人種、宗教、言語等は、大抵メキシコと同じ、金土もと、スペインの領地なりしが、メキシコと共に獨立して、各立憲共和國となり、大統領ありて行政の大權を握る。イギリス領ホンデューラスはイギリス直轄の殖民地たり。

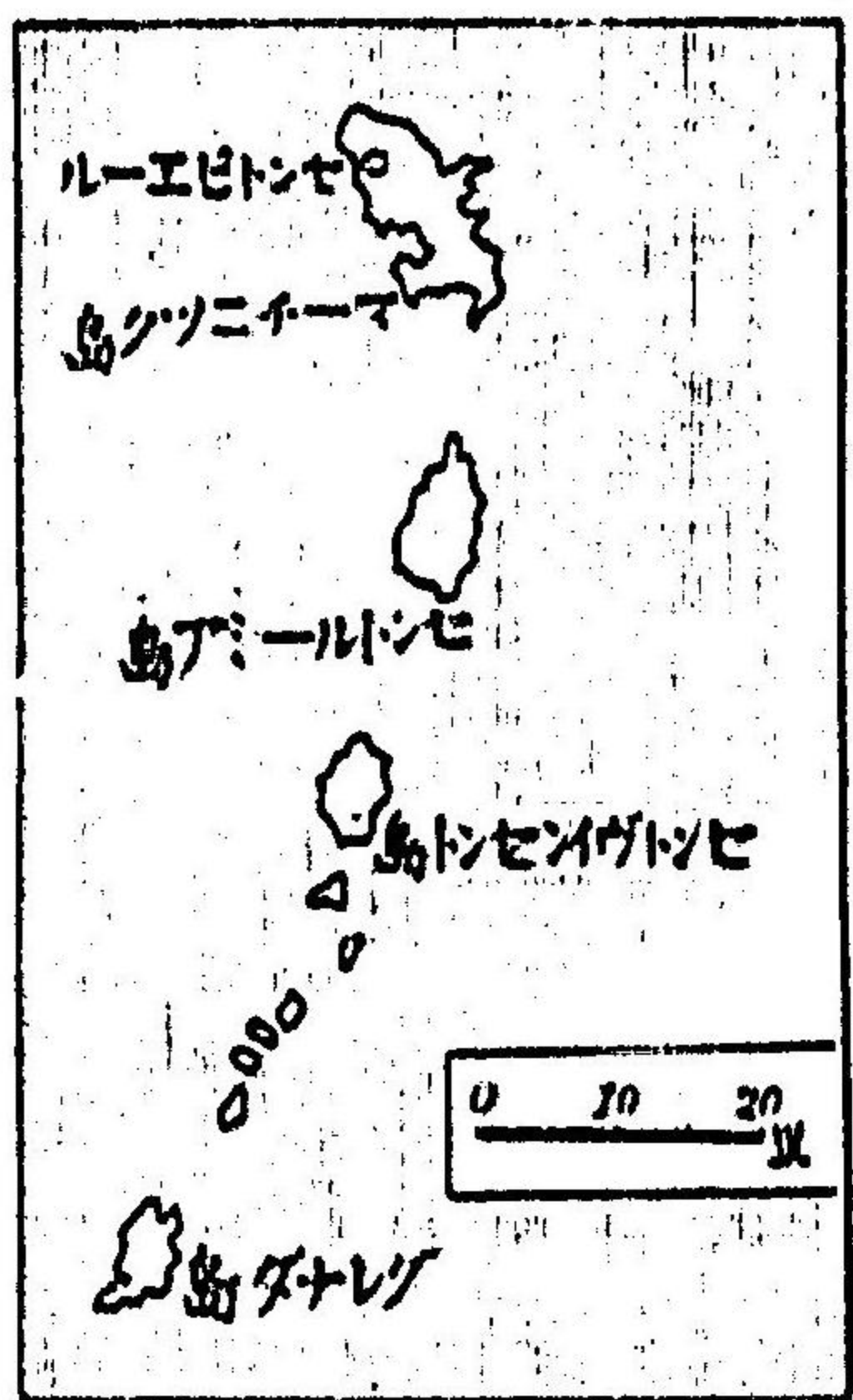
グアテマールのニューグアテマール、サルヴァドルのサンサルヴァドル、ホンデューラスのテグシガルバ、ニカラグアのマ

ナグア、コスタ、リーカのサン、ジューズは昔國の首府なり。いはゆ
(SAN JOSE)
(SAN AGUSTIN)
 ナグア、コスタ、リーカのサン、ジューズは昔國の首府なり。いはゆ
 るニカラガ、グ、運河は、北米合衆國政府の保護を受け、城内の
(NICARAGUA SHIP CANAL)
 サン、ジューズ、マン河より、ニカラガ、湖を経て、太平洋に通せんと
(SAN JUAN)
 する掘り割にして、全長七十里許あり。

(五)西インド諸島

メキシコ灣口の東より、大西洋とカリビアン海とを南北に
 分ち、南アメリカの北端へかけて、大小一千有餘の島嶼ある
 を西インド諸島と稱す。これコロブスが始めてこの地に上
(WEST INDIES)
 陸せしとき、マジアのインドに達したるものと誤信せしよ
 り、それを區別せんがために、後世この諸島に、西インドの名

二五八



島グツニチー

惨狀を呈することあり、
 就中西曆千九百二年に
 於ける、マーチニク島の
(MARTINIQUE)
 ペリー火山大破裂の如
(ST. PIERRE)
 きは、山麓のセント、ピエ
(ST. PIERRE)
 ール市を埋没して、全市

稱を附したるものとす。諸島の面積一萬六千方里、人口凡そ
 四百萬あり、分ちて、大アンチール、小アンチール、バハマの
(GREATER ANTILLES) (LESSER ANTILLES) (BAHAMAS)
 三諸島とす。

諸島の地勢は、バハマ諸島のみ、珊瑚質よりなりて、土地低
 平なれども、その他は、山岳に富み、森林よく繁茂し、殊に小ア
 ンチール諸島は、地體の構造火山質よりなりて、時々破裂の

三萬餘の住民僅に二三十人を剩すに過ぎず、またその熔岩は飛んで海上五哩の處に達し、碇泊せる船舶をも破壊せり。氣候は大部熱帯に位すれども、海軟風よく炎熱を殺ぎ、年内乾濕の二期に分れ、五月より十一月までの間は降雨豊かなり。物産は、甘蔗、煙草、珈琲、カケイオ、椰子、烏木などの植物よく生育し、殊に砂糖、煙草は世界に名高し。

住民は、黒人族全人口の半ば以上を占め、インゲン族、メスチゾ族これにつき、スペイン人、北米合衆國人またこれにつぐ、多くは農を事とし、言語はスペイン語を用ふ。宗教は基督教の舊派盛んに行はれ、土人は種々の蠻教を奉ず。政體は、大アンチール諸島に屬するキューバ、ヘーチナの二國のみ、獨立國なれども、その他は、北米合衆國、イギリス、フランス、オランダ、デ

ンマルクに分屬す。

大アンチール諸島は、キューバ、ヘーチナ、ジャマカ、ポルト、リココ等の諸島を稱す。



甘蔗の採取

キューバ島は、メキシコ灣口を扼す。西インド第一の大島なるにより、又アンチールの女王と稱し、面積七千五百方里、人口約百六十四萬あり。ハヴァナは本

島の首府にして、人口約二十萬、砂糖輸出の市場として世界に名高く、またハバナの巻煙草は、マニラ煙草と共に、名聲世上に噴々たり。本島はもと、スペインの領地なりしが、米西戦争の結果、北米合衆國これを占領し、その軍事的占領は西曆千九百二年を以て終止し、それと同時に、獨立の共和政府を組織せり。

二〇五九二

ヘーチ島は、ウインドワード海峡を距ててキューバの東に位す。
(HAITI WINDWARD PASSAGE)
 全島もと、西部はフランス、東部はスペインの分屬地なりしが、東部はドミニカン共和國、またはサン・ドミンゴ共和國、西部はヘーチ共和國を組織して各獨立し、前者は面積三千餘方里、人口六十一萬、後者は面積千七百方里、人口百二十萬餘あり。

ジャマイカ島はキューバの南に位し、ポルト・リコー島はヘーチ(JAMAICA PORTO RICO)の東に位す。前者はイギリスに屬し、後者はもと、スペインの所領なりしが、米西戦争の結果、今は、北米合衆國に隸す。
 小アンチール諸島は、ポルト・リコーの東より南に彎曲し、南アメリカの北岸に沿ひ、西經六十度より七十度の間に散在し、更に、ポルト・リコー島の東なるヴァージン諸島より、ドミニカ島までをリーワード諸島、マーチニク島よりトリニダード島までをウインドワード諸島、トリニダード島より西經七十度に至る間の諸島をツネツラ諸島といふ。大部はイギリスに屬すれども、ヴァージン諸島中のセント・トーマス島等はデンマルク、グアドループ島、マーチニク島等はフランス、キューラソ島などはオランダに分屬す。
(VIRGIN ISLANDS DOMINICA TRINIDAD ST. THOMAS CURAÇAO)

バハマ諸島は、フロリダ半島の東南に散在し、五百有餘の
(BAHAMA)
 小島よりなり、面積九百方里、人口五萬あり、全島イギリスに
 屬す、諸島中のワトリング島即ちサンサルツドール島は、コ
(WATLING) (SAN SALVADOR)
 ロプスが西暦千四百九十二年、新世界の發見に際し、最初に
 上陸したる地點なり。

(六)グリーンランド

グリーンランド島は、全土デンマルクに屬するを以て、また
(GREENLAND)
 デンマルク、アメリカと稱す。カナダの東北より北極圏内に
(DANISH AMERICA)
 横たはり、バフィン湾、デヴス海峡を距てて北氷群島と相對す。
(BAFFIN BAY) (DAVIS STRAIT) (ARCTIC ARCHIPELAGO)
 内地は一萬尺に達せる氷雪の臺地をなし、海中には、許多の
(TABLE LAND)

氷山浮流す、從ひて、地體の構造未だ不明にして、或は陸塊な
 りといひ、或は氷原雪野の連続よりなれりと稱し、人間の到



氷 山

達せし地點もまた、西暦千八百九十五年に、ノルウイのナンセン博士が、北緯八十六度十四分に至りしを以て極北とし、北方の邊界今

に定かならず、島中樹木なく、南岸僅に夏期に麥類、馬鈴薯等を耕作し得るのみ、土人はエスキモー族を主とし、その數約

一萬あり、その他は、大抵デンマーク人にして、海豹の類を捕獲し、辛うじて生活を營めるに過ぎず。物産は、鯨族、海豹、馴鹿、鯨油を主とす。

南アメリカ(SOUTH AMERICA)

總論

位置 南アメリカは西半球の南部を稱す。北より東へかけてはカリビアン海と大西洋とを控へ、南は南氷洋に延び、西は太平洋に面し、またパナマ地頸(ISTHUS OF PANAMA)によりて北アメリカに連なる。全土の面積百十八萬方里あり。

區劃 本大陸は、分ちて、コロンビア(COLOMBIA)・ヴェネツィラ(VENEZUELA)・ギアナ(GUYANA)・ブラジル(BRAZIL)・エクアドール(ECUADOR)・ペルー(PERU)・ボリヅア(BOLIVIA)・チリ(CHILE)・パラグアイ(PARAGUAY)・ウルグアイ(URUGUAY)・アルゼンチン(ARGENTINE)の十一國とす。

地勢 本土の地形は、南に狭く北に廣がりて、恰もガリナス(GALLINAS)

岬よりホルン岬までの太平洋沿岸を底邊とし、ブランコ岬
(HORNS) を頂點としたる三角形をなし、沿岸は屈曲に乏しくして、海
 岸線の延長六千三百里に過ぎず、從ひて岬角には、北部のガ
 リナス岬、南部のセント、ローク岬、ブランコ岬、南部のホルン
(ST. ROQUE) 岬、西部のバリナ岬の外、河口處々に小海灣をなせるのみに
(PARINA) して、著しき出入なく、屬島は、南端のテラ、デル、フーゴ島、及び
(TIERRA DEL FUEGO) その東のフアイクランド諸島、太平洋上のガラパゴス諸島を
(FALKLAND) その主なるものとす。セント、ローク岬は、バリナ岬と共に本
 大陸の東西兩端にして、ガリナス岬とホルン岬とは、また本
 土の南北端たり。

地勢は、底邊の全部に、アンデスの大山脈によりてなれる、い
 はゆる、ユールデレラ高原蜿蜒せるが故に、土地大體西より
(CORDILLERAN PLATEAU) (ANDES)



原スノヤリ

東に低下してあれども、ブラジ
 ルには、平均二千尺のブラジ
(BRASILIAN) 高原、アマゾン河口より數條に
(HIGHLAND) 分れて、東南の内地に亘り、ギア
(PARIMA) ナには、バリナ山脈を中心とし
(GUAYANA HIGHLAND) て、東西に亘れるギアナ高原あ
(COCORICO) りて、オリノコ河、アマゾン河、タ
(AMAZON) プラータ河源流はその間を灌
(LA PLATA) 漑して三大平原をなす。

(二)アマゾン河の流域は、ブラジ
 ル國その大部を占め、廣大なる
 平谷は、林原、いはゆる、セルウス
(SELVAS)

をなし、深厚の森林幾百里に亘り、蔓草その間を縫ひて、天日
 を蔽ひ、禽鳥の類ここに歌ひ、猿猴の屬ここに戯れ、叢裡には、
 各種の昆蟲棲息して、啾聲遠く數里の外に聞ゆ、(三)オリノコ
 河の流域は、ヴェネツラ國その大半を占め、茫々たる平原は、草
 原、いはゆる、リャノスをなし、雨期には、水に浸されて河海に變
 し、乾期には、一面荒蕪の砂漠となるを常とすれども、雨霽る
 れば、綠草よく繁茂し、千百の牧群到る處に漂泊せり、(三)ラ、プ
ラー々河源流の流域は、アルゼンチン國その大部を占め、坦
 々たる一望際なき平原は、オリノコ河の流域と同じく、草原
 いはゆる、パムパスをなし、氣候溫和、雨量また少なきを以て、牧
 草緑を漲らして、良好の大牧場をなし、無数の牛羊到る處に
 群をなせり。

コールデレタ高原を形成せるアンデス山脈は、全部皆火山
 質よりなり、パナマ地頸よりホルン岬に亘りて、延長殆ど千
 九百里、高さ平均一萬二千尺あり、全脈を南中央北の三部に
 分ち、南アンデスは、ホルン岬より南回歸線に達せる單行山
 脈にして、最高峯をアコンカグと稱し、二萬二千八百尺の
 火山をなせり、中央アンデスは、南回歸線より南緯十度に達
 し、山脈分れて二條の並行脈をなし、うちに、ソラタ・イリマニ
 等二萬一千尺以上の火山あり、北アンデスは、南緯十度以北
 の山脈にして、その脈三派に分れ、コトパキ・チボ・ラソ等
 の火山その中にありて、皆二萬尺以上に及べり。
アマゾン河・ラブラ・タイタ河・オリノコ河は本土の大河にして、
 その水系は、北アメリカのマケンジ・イ河・セント・ローレンス

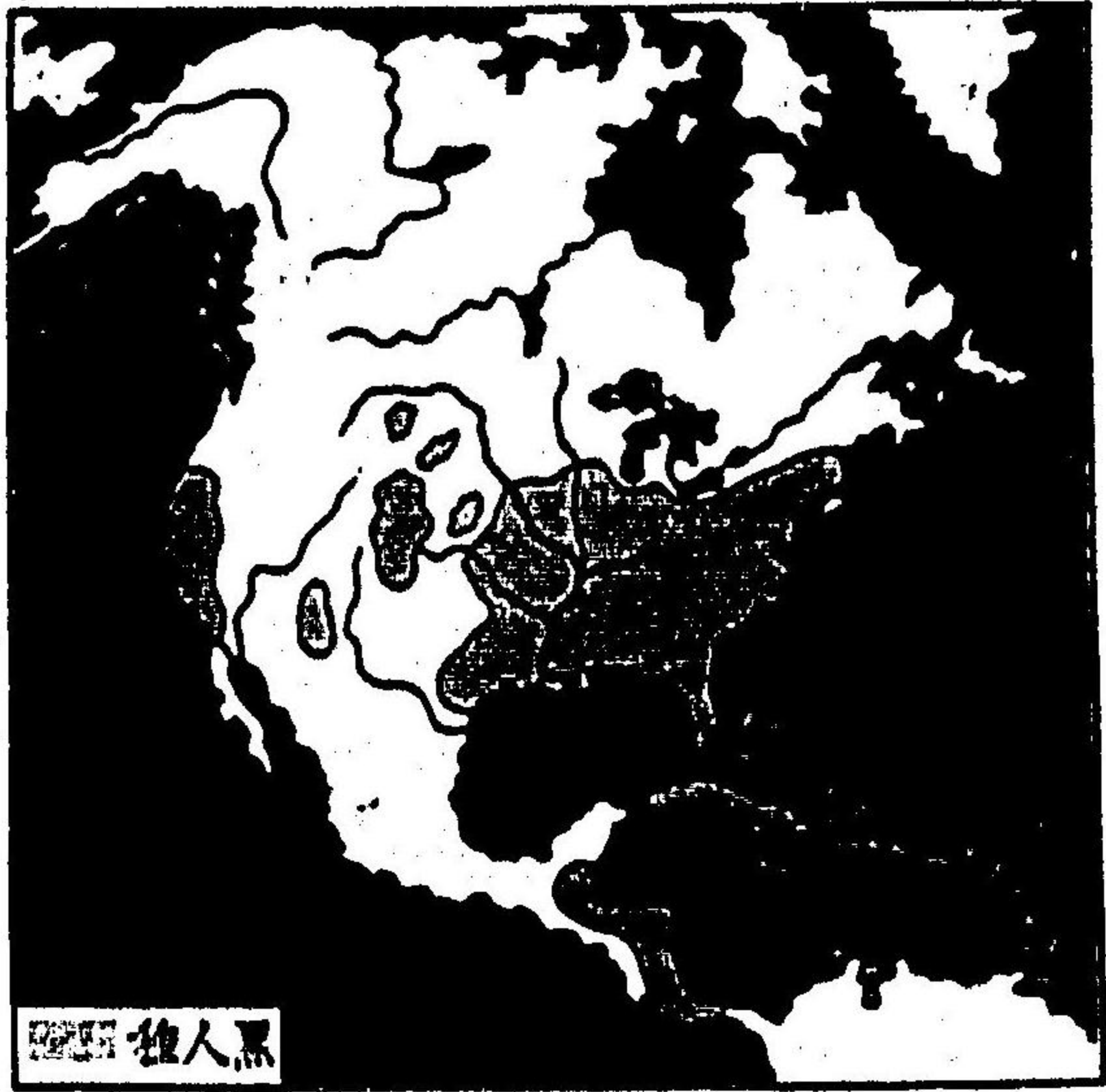


類及び珈琲・甘蔗・玉蜀黍
ルアヤ
マール
馬駱
豹

類及び珈琲・甘蔗・玉蜀黍
甘蔗等到處に産す動
物は、象に似たる狓、獅子
に似たるピューマ、虎に似
たるジャギアル、駱駝に似
たる駱馬、羊駝の奇獸、及
びコンドル等の諸鳥あり。
礦物は、アンデス山系
の一帶には、金、銀、銅、錫の
産夥しく、ペルー・ボリヅ
アの銀、ブラジルの金剛
石、ヴェネツラの金は産出

殊に多量なり。

住民 住民は三千七百餘萬ありて、主にヨーロッパ人、イン
アン族、黑人及びメスティゾ族よりなり、その三分の一はヨー
ロパ人にして、概ねスベ
イン人の子孫なれども、
ブラジルはホルトガル
人の子孫多し、これにつ
げるはインデアン族に
して、その數五百萬あり、
黑人は總人口の七分の
一に過ぎず、言語の廣く
通ずるをスペイン語と



黑人の分布

メスティゾ族よりなり、その三分の一はヨー
ロパ人にして、概ねスベ
イン人の子孫なれども、
ブラジルはホルトガル
人の子孫多し、これにつ
げるはインデアン族に
して、その數五百萬あり、
黑人は總人口の七分の
一に過ぎず、言語の廣く
通ずるをスペイン語と

シ、ブラジル人はホルトガル語を用ひ、土人は各固有の言語を使用す。宗教は大抵基督教にして、その舊派最も勢力あり。

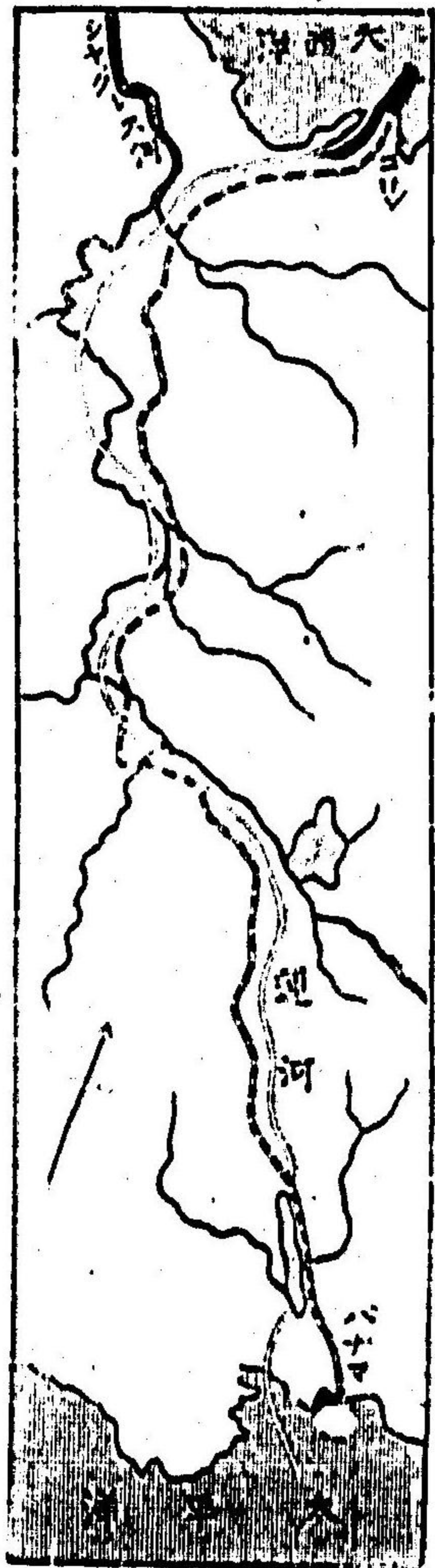
地方誌

(一)コロムビア

コロムビアは本土の西北隅に位し、パナマ地頸を以て中央アメリカに連なる。面積八萬五千方里、人口三百三十萬あり。地勢は、アンデス山脈東中央西の三派に分れて、城内を南北に貫けるを以て、土地一般に高峻なれども、コウカ河(COUCA)・トグダレナ河の流域は、豊沃なる谷地をなし、また、東部のオリノコアマゾンの支流に屬する地は、低平にして肥沃なり。氣候は

大抵暑さ強く、玉蜀黍の如きは、年内四回の收穫あれども、高地は暖かく、高峯の頂上に至りては、寒きこと極地方の如し。輸出は、銀、珈琲、カケイオ、幾那皮等を主とす。住民はスペイン人の子孫、及びメスタツ族最も多く、宗教は基督教の舊派を以て國教と定む。

ボゴタ(BOGOTA)は國の首府にして、人口十二萬、東アンデス山脈中、九千尺以上の處に位し、マグダレナ河の航行極限地に立てる。ホンダ港と鐵道を通じ、氣候暖かく、四時春の如し。パナマ(PANAMA)及びコロロン(COLON)即ちアスピナル(ASPINALL)は、パナマ地頸の南北に臨める海港にして、鐵道によりて連結せられ、その延長約四十五哩あり、いはゆる、パナマ運河(PANAMA SHIP CANAL)はこの鐵道に沿ひ、兩港間を開鑿せんとしたるものにして、スーエズ運河と共に名高き、レ



河運マナバ

ヒンプ氏が監督の下に運河開鑿會社を組織し、西曆千八百八十一年より工事に着手せしかども、河流の妨害、氣候の不良等により、會社は千八百八十九年終に倒産せり。されど、その後、運河問題再び起り、その開鑿の特許を得たる新會社の設計によれば、千九百年より十年の後に竣工すべき豫定となれり。

全土もと、スペインの領地なりしが、西曆千八百十九年獨立

して、ニールグラナダと稱し、その後、千八百八十六年、コロムビア (NEW GRANADA) 共和國を立て、行政權は、これを大統領に委し、立法權は、兩院制の議會に屬す。

(二) ヴェネヅラ

ヴェネヅラはコロムビアの東に位し、面積約十萬方里、人口二百五十萬あり。

地勢は、南部・北部に山岳蟠結すれども、オリノコ河の流域は、廣き草原よりなる。沿海は海岸稍出入し、殊にマラカイボ湖 (MARACAIBO) 深く西部に彎入し、人民水中に柱を立てて、その上に家屋を築けるさまは、ヴェニス (VENICE) の住民と相似たるより、スペイン人の

始めて来りしもの、小ツ、ニス、(LITTLE VENICE)即ちツ、ネヅラと呼びしが、國名とはなりたるなり。氣候は、山地は稍溫和なれども、海岸は熱さ強く、オリノコ三角洲には悪疫流行す。産物は、珈琲・カケイ・オ・砂糖を主とし、草原には牧養行はる。住民はメスチッ族を主とし、スペイン人・インデアアン人これにつぐ。宗教は基督教の舊派を以て國教となせども、普ねく信教の自由を許せり、全部スペインの領土なりしが、西暦千八百三十年、獨立して共和政府を立て、大統領を民選してこれに行政權を委ね、兩院制の議會ありて立法權を握る。カラカス(CARACAS)は國の首府にして、人口約八萬、北部の海岸、三千尺の處に位す。ツ、レンシア(VALENCIA)は、人口四萬、珈琲産田の中心たり。

(三)ギアナ

ギアナ(GUAYANA)はツ、ネヅラの東に位し、面積三萬五千方里、人口約四十萬あり。地勢は海岸の低地を除けば、土地一般に山岳多く、ブラジルの境界には一萬尺に達する高山連亘す。氣候は大抵熱さ強く、濕氣深けれども、海岸は稍溫和なり。物産は森林地方より材木を産し、また、ビー・マ・ジャギアル(BEECHER)鰻魚等の類あり。輸出は、砂糖・珈琲・カケイ・胡椒等を主とす。全部イギリス・フランス・オランダの三國に分屬す。

(四)ブラジル

ブラジルは、^(BRAZIL) ヴェネツィラ・ギアナの南に位する大國にして、面積はヨーロッパの七分の六に等しく、人口約千五百萬あり。

地勢は、東南部にブラジル高原^(BRAZILIAN PLATEAU) 延び亘れども、北部より西部へかけては、土地低平にして、青草綠樹深く密生し、林原地方の如きは、千歳日光を仰ぐこと能はざる處あり。域内河^(RIVERS) 流多く、アマゾン河はもとより、サンフランシスコ・トカンチン・ジ^(SAN FRANCISCO)、^(TOCANTINS)、^(XINGU)、^(TAPAJOS)、^(MADERA)、^(PARANA)、^(PARAGUAY)、^(CARRUAPE RIVER) 等の諸流は、國の中央部を灌溉し、パラナ河・パラグアイ河等は、ラプラータ河の源流をなし、北部には、リオ・ネグロありて、その支流のカシクアレンと稱する天然の運河によりて、オリノコ河と連続せり。

(二) 面積は平均五十六萬

氣候は、熱さ烈しく且つ降雨多量なるを以て、土地肥沃にして、各種の農産に富み、殊に珈琲は世界産額の殆ど半ばを出



珈 琲 園

だし、彈力
 護膜と共
 に、この國
 主要の輸
 出品に屬
 し、また砂
 糖綿を始
 め、玉蜀黍
 米、煙草等

を數ふれば、その種類は、常に二千種に下らざるのみならず、

鑛物の如きもまた、金剛石・金・銀・銅・鐵・水銀・岩鹽等の産出甚だ
 饒多なれども、交通の不便・資本の不足・住民の稀少等は、未だ
 産業の發達を促さず、されば、政府は銳意移民の招致を奨励
 せし結果、現時、イタリヤ・フランス・ドイツ・ホルトガル等より年々移
 住するもの十萬人に達し、また内地は、鐵道の延長八千餘哩
 あるが上に、日下測量または工事中に屬するもの、一萬八千
 哩許あるを以て、この趨勢によりて、今後を推測せば、拓殖の
 歩武を進むると共に、外國貿易もまた、漸次盛大に赴くべし。
 我が國も、嘗て移民契約を結び、サン・パウロ州を以て、勞働者
 の移住地と定められたれども、その後、革命起り、國內紛擾せしが
 故に、未だ實行の運びに至らず、

リオ・デ・ジ・ネイロは、又單にリオとも稱す、國の首府にして、人

(RIO DE JANEIRO)

(RIO)

口五十二萬、同名の灣に臨み、珈琲・金剛石の取引盛んなり、こ
 の地に、我が國の公使館・總領事館あり、バイーア・ペルナンブー
 コ・サン・パウロ等は、共に人口十萬以上を有し、綿・珈琲・砂糖等
 の輸出を以て著はる、

(BAIA)

(PERNAMBUCO)

住民は、ホルトガル人の子孫、全人口の約二分の一を占め、黒
 人これにつき、北部には、インデアン族あり、宗教は基督教の
 舊派を以て國教とす、教育は甚だ不振にして、讀み書きを能
 くせざるもの、全人口の八割四分を占む、

全土始めホルトガルの領地なりしが、西曆千八百十五年、ホ
 ルトガルの皇族を薨きて、獨立の王國となり、その後、ホルト
 ガルの王子を迎へて、帝國を組織せしが、千八百八十九年、革
 命起りて、皇帝を放逐し、ここにブラジル合衆國の名を以て、

(UNITED STATES OF BRAZIL)

現時の共和政府を立て、大統領を民選して、これに行政権を委任し、立法権は兩院制の議會に屬し、地方は皆自治制の政治を行ふ。軍備は陸軍の常備兵一萬六千を有し、海軍は甲鐵艦二隻の外、艦艇四十隻許あり。この國は、我が通商條約國の一なり。

(五)エクアドール

エクアドールはコロンビアの南に位し、面積二萬方里、人口約百三十萬あり。

地勢は、アンデス山脈、二條に分れて西部を縦貫せるを以て、土地一般に高峻なれども、漸次東に降下し、東部はアマゾン

河上流の流域に屬す。全部赤道直下に横たはれるにより、氣候は熱さ強けれども、山地は快和にして四時春の如し。物産は、カケイオ、幾那皮、彈力、護膜等を出だし、また植物象牙として、椰子殼にて鈕釦を刻し、盛んに外國に輸出す。

住民はインデアン族多數を占む。宗教は基督教の舊派を國教とす。政體は、西曆千八百三十年、コロンビアより分立せし共和政治なり。

キート(QUITO)は國の首府にして、人口八萬、アンデス山中、九千五百尺の高地に位し、氣候溫暖、空氣清楚にして、附近には白雪を戴ける高山を繞らし、風景殊に絶佳なり。グアイヤキール(GUAYAQUIL)は太平洋岸唯一の海港なり。

この國の海岸を去る六百五十海里のガラパゴス諸島(GALAPAGOS)は、こ

の國に屬し、海龜を以て著はるるにより海龜諸島(TORTOSE ISLANDS)の名あり。

陸地

(六)ペルー

ペルー(PERU)は、エクアドールの南、アマゾン河の上流に位し、面積約十二萬方里、人口二百七十萬あり。

地勢はエクアドールと粗相同じ、氣候は熱帯に位せるに拘らず、アンデス山脈の高地は溫暖にして、綿、珈琲、カケイオ、馬鈴薯、玉蜀黍、甘蔗等の農産物を山だし、また山脈の東斜面は貿易風を受けて降雨多く、從ひて森林繁茂し、幾那皮の産殊に夥し、されど、海岸地方は降雨乏しきを以て、不毛の砂漠地をなし、水灌ある處、僅に甘蔗、綿を山だすに過ぎず、輸出は、綿、珈

琲、砂糖、カケイオ、幾那皮、羊駝毛、銀等を主とし、鳥糞(GUANO)は、往時の如く盛大ならざれども、今も猶、海岸地方より採取せられ、主要の輸出品に屬す。我が國、製品の絹布、屏風、漆器、陶磁器、花筵等は、支那人の手を経て、この地に輸入せらる。

住民は、インデアン族全人口の六割を占め、支那人の移住せるもの、また約二割に達す。宗教は、基督教の舊派を以て國教と定め、信仰の自由を許さず。

リマ(LIMA)は國の首府にして、人口十萬、この國を征服せしスペインのピザロ(PIZARRO)將軍の建てし都會にして、府内にその墳墓あり。この地にアンリカ最舊の大學あり。カラオ(CALAO)は國內第一の海港にして、リマとの間に鐵道を通ず。オロヤ(OROVAI)は、アンデス山脈中、一萬五千五百尺の高處に位し、リマとの間にま

た鐵道の設けあり。オロヤの北なるパスコ(PASCO)は銀の産を以て著はれ、オロヤに通ずる鐵道は、目下工事中に屬す。クローツコ(CLOUTCO)は、古へ土人の建設せしインカ帝國の首府たりし處にして、海岸地方との間に鐵道を通ぜり。

政體は、西曆千八百二十四年、スペインの領土より獨立したる共和政治にして、近年チリと戦ひて、國力大に疲弊し、また、疊にイギリスより募集したる外債は、その利子の支拂だもなす能はざるを以て、千八百九十年條約を締結し、同年より、向後六十六年間、烏糞採取所、鑛山、鐵道の管理權を同國に讓り、財政猶未だ整理する能はず、明治六年、我が國と通商條約を結べり。

(七)ボリヅ、ア

ボリヅ、アは、ブラジル・ペルーの間に挟まり、面積九萬五千方里、人口百二十五萬あり。

地勢は、東部はアマゾン河、ラブラータ河水源の流域に屬すれども、西部はアンデス山脈蟠結して、最も峻嶒を極め、チチカカ湖(TITICACA)の如きは、海拔一萬二千尺の高地にあり、高原山地の氣候は、稍寒冷なれども、低地は溫暖にして、濕潤なり。輸出は、銀、彈力、腰膜を主とし、殊に銀塊は、全輸出の三分の二を占め、彈力、腰膜また品質佳良なり。國土、瀕海の地なきを以て、外國との貿易は、専らパラグアイ河の沿岸、及びチリ・ペルーの海港を通じて行はる。

住民はインゲン族、全人口の四分の三を占む。宗教は基督教の舊派を以て國教と定む。全土もと、スペインの領地なりしが、西暦千八百八十年、獨立して共和政府を立つ。

首府スークレは、國の中央、九千尺以上の高地に位す。チカカ
GUATEMALA湖の東、イリマニ山麓のジバツは、國の最大都會にして、一萬二千尺の高處に位す。この地の南なるオルロロよりは、
LA PAZチリの海岸に鐵道の設けあり。ポトシは、首府の西南、一萬三千二百尺の處に位せるを以て、他國人は、一歩一喘呼吸を取らざれば、二十歩以上を進むこと能はずといふ。この地、また銀の産を以て著はる。

(八)チリ

チリは、本土南部の西岸、アンデス山脈の西斜面を占め、面積四萬八千餘方里、人口約三百萬あり。

内地は山岳に富み、その豁谷は、土地豊饒にして、耕作に適すれども、南緯三十度以北は、アマカマ砂漠にして、硝石鳥糞をATACAMA除くの外は、一の生産物なし。國土は南北千餘里に亘りて、氣候は、變化を受くること甚だ少なきを以て、よく健康に適し、殊に一月二月の夏期は、暑氣酷烈なれども、南氷洋より來る寒流は、よく炎熱を調和し、南アメリカ中、氣候稍寒冷なり。輸出は、銅、銀、硝石、鳥糞を主とし、また、牛、羊、山羊等これにつぐ。

住民は、スペイン人の子孫多數を占む。宗教は、基督教の舊派

を以て國教と定むれども、普ねく信仰の自由を許せり。全部もと、スペインの領土なりしが、西曆千八百十八年、その羈絆を脱して共和政府を組織し、その後、ボリヅ、ア・ペルーと戦ひて、大に版圖を廣め、今は本大陸屈指の強國なり。軍備は、陸軍の常備兵九千を有し、海軍は、甲鐵艦五隻の外、艦艇合せて、凡そ四十隻あり。

サンチアゴ(SANTIAGO)は國の首府にして、人口三十二萬あり。ツルパタ(VALPARAISO)イソは、この國第一の海港にして、首府との間に鐵道を通じ、市況盛んなり。

この國の南端、マゼラン海峡を距つるチラデルフーゴ島(TIERRA DEL FUEGO)は、この國とアルゼンチンとに分屬す。マゼラン海峡は、西曆千五百十九年より三箇年かかりて、始めて世界を一週したる

ホルトガルのマゼラン氏が千五百二十年に發見せし處にして、今も猶南アメリカ廻航船の南洋の風波を避けて、航行する通路に當れり。

(九)パラグアイ

パラグアイはブラジルの西南に位し、面積二萬六千方里、人口四十五萬あり。

地勢は、パラグアイ河、國の中央を流れ、東北部はブラジル高原につづきて、稍山地をなし、土地一般に肥沃なり。物産は、氣候の溫暖なると、水灌の良しきとにより、米、麥、甘蔗、煙草等の耕作に適し、またパラグアイ茶、即ちエルバマータ(YERBA MATE)は國の特産に

かかり、多く本大陸土人の飲料に供せらる。輸出は、煙草、砂糖、獸皮を主とす。

住民はインディアン族最も多し。宗教は、基督教の舊派を以て國教とす。教育は甚だ不振にして、國民讀み書きをよくするもの、全人口の二割に過ぎず。

全土もと、スペインの領地なりしが、西曆千八百十一年、獨立して共和政府を立つ。アスンシオン(ASUNCIÓN)は國の首府にして、人口四萬五千あり。

(十) ツルグアイ

ウルグアイはブラジルの南に位せる本大陸の最小國にして、(URUGUAY)

面積一萬二千方里、人口九十萬あり。

地勢は、全土概ね低平にして、一面の草原をなし、ウルグアイ河西部を流れ、灌溉漕運共に便なり。氣候は、一般に溫暖にして、よく健康に適す。産業は、牧養最も盛大にして、剥皮、羊毛、乾肉、獸脂の産夥し。

住民はメスタゾ族最も多し。宗教は、基督教の舊派を以て國教とす。全土もと、スペインの領地なりしが、ブラジルの一州となり、西曆千八百二十五年、獨立して共和政府を立つ。モンテビデオ(MONTEVIDEO)は國の首府にして、ラプラタータ河口に位し、商業盛んに行はる。

五十四

(十一)アルゼンチン

アルゼンチンは本土南部の大半を領し、面積十九萬方里、人口四百八十萬あり。

地勢は、ナリとの間にアンデス山脈を横たへ、北はボリヴ、ア高原につづきて山地なれども、内地は一般に低平にして、南部の**パタゴニア**平原の如きは、砂礫及び噴灰よりなれる不毛の砂漠をなし、中部の草原地方は、北の**グランチャコ**地方につづき、延いてボリヴ、ア、パラグアイまでに及び、一面の牧草よく馬・牛・羊の飼養に適す。

氣候は、南部は寒冷、中部は溫暖、北部は炎熱酷烈にして、大部は乾燥なり、産業は、牧養最も盛大にして、羊毛の産は世界に

名高く、農産は、小麦・甘蔗・葡萄等を主とし、殊に麥類は輸出品中の第一位を占む、鑛産また山地より出づれども、採掘未だ盛んならず。

住民はスペイン人の子孫最も多く、イタリヤ・ス・スペイン等より移住せるもの、また人口の四分の一を占む、宗教は、基督教の舊派を以て國教とす。

全部もと、スペインの領地なりしが、西曆千八百五十二年、獨立して共和政府を立て、大統領を民選して、これに行政權を委し、立法權は兩院制の議會に屬す、軍備は、陸軍の常備兵三萬を有し、海軍は四十一隻の艦艇あり。

ブエノス・アイレスは國の首府にして、人口八十四萬、**ラ・プラタ**河に臨み、水陸交通の便ありて、南アメリカ第一の大都

たり。ユルドツは國の中央に位し、人口凡そ七萬あり。
CORDOVA
この國南端の東方に位せるフークランド諸島は、面積我が
FALK LAND
四國と同じく、人口二千許ありて、イギリスに屬す。

結 論

地球の形状は球體なれども、その眞形は、遠心力の作用により、赤道部に膨大して、稍扁平なる楕圓形をなせるにより、

赤道部に於ける直徑は三千三百餘里あれども、

兩極部に於ける直徑は三千二百九十餘里ありて、

赤道の直徑は、極の直徑より凡そ十一里長し、赤道の周圍は、一萬里ありて、面積は凡そ三千三百萬方里あり。

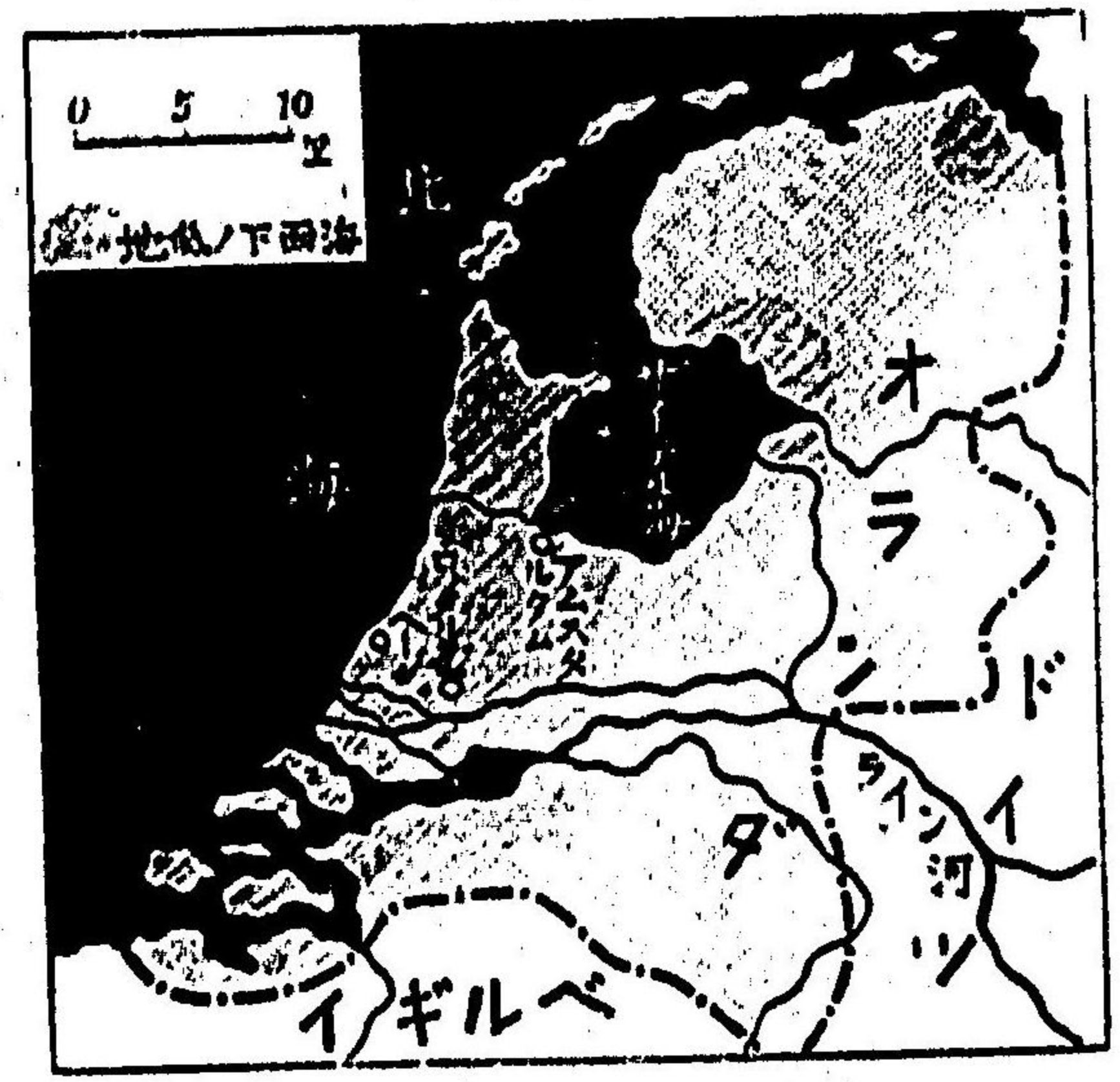
地球の表面は、陸地と海洋とよりなり、その割合は、地球の全面を百とせば、陸面はその二十七、水面はその七十三に當り、陸地の面積は八百八十三萬餘方里あり。

陸地は三大塊に分れ、西徑十七度四十分を以て、これを東西

の各半球に分つ東半球は、いはゆる東大陸にして、うちに、ユーラシア、即ちアジア及びヨーロッパの二部よりなれる陸塊と、アフリカ、大洋洲よりなれる二個の陸塊とあり、西半球は、いはゆる西大陸にして、北アメリカ及び南アメリカの二部よりなれり。その面積を示せば、左の如し。

- アジア 二、八六〇、〇〇〇方里
- ヨーロッパ 六五〇、〇〇〇方里
- アフリカ 一、九四〇、〇〇〇方里
- 北アメリカ 一、四五〇、〇〇〇方里
- 南アメリカ 一、二八〇、〇〇〇方里
- 大洋洲 六〇〇、〇〇〇方里

陸地の表面は、峻険たる峯巒高く、天を撐ふるものあり、平坦



海面下の地低

砥の如き低野、觸目數百里の遠きに亘るものありて、その状態一樣ならざれども、海面よりの高さにより、高地、低地に區分し、概して海拔六百六十尺を以てその分界とし、高地の中には、山岳、高原あり、低地の中には、低く海面下に降れるものあり。今假りに低きを填め、高きを夷らかにして、同一の高度となさば、左の如し。

三、三三〇尺

ヨーロッパ	九九〇尺
アフリカ	二三〇〇尺
北アメリカ	二四〇〇尺
南アメリカ	一九五〇尺
大洋洲	二一九〇尺
平均	二〇〇〇尺

海洋は陸地の分布によりて、太平洋・大西洋・印度洋・南氷洋・北氷洋の五大洋に分つ、五大洋の中、面積の最も大なるは太平洋にして、千百四十萬方里、即ち地球表面の三分の一以上を占め、大西洋・印度洋これにつき、南氷洋・北氷洋の如きは、その面積、遙かに小にして、他の三大洋に對比すべくもあらず、いま、北氷洋の面積を一として、各大洋を比較すれば、左の如し。

北氷洋	一〇〇
南氷洋	一三〇
印度洋	四八〇
大西洋	五七五
太平洋	一一四〇

各大洋の水深は、その深度に淺深あるはいふまでもなく、地表に山岳・谿谷あると同じく、海底にもまた、海底山脈・海底谿谷等、互に相錯雜して、凸凹起伏の状態平等ならず、海洋は、その深度によりて、淺海・深海に區分し、六百六十尺を以てその分界とし、タスカローラ海床の如きは、二萬八千尺に達す、蓋し今日までに、世に知られたる海洋の最も深きは、グアム島の東南に當り、北緯十三度、東經百四十六度の交點にありて、

(TUSCARORA DEPTH)

三萬一千六百尺に達すといふ、今假りに、海底の高きを削り、低きを平らかにして、同一の深度となさば、左の如し。

太平洋	一二、五四〇尺
大西洋	一〇、五〇〇尺
印度洋	一一、八八〇尺
平均	一一、六四〇尺

地表面の氣候は、受温の多少により、分ちて、熱温寒の三大帶とす。熱帶は、赤道を中心として、南北各二十三度半に至る間を稱し、寒帶は、南北兩極圈と南北兩極との間をいひ、温帶は、寒熱二帶の間をいふ。

氣候は、生物に重大の影響を及ぼすことはいふまでもなく、殊に人類の如きは、その群居せる地方の位置如何により、開

化の進歩に遲速なき能はず、熱帶地方の民は、天産豐饒なるによりて、勞働せざるも、猶且つ飽食逸居の娛樂あるを以て、一般に遊惰に流れ、進取の氣象に乏しく、また寒帶地方の民は、天産の稀少なる氷原雪野に、沍寒と戦ひ、辛うじて生命を保てるを以て、人文發達の機會に遇ふこと能はず、獨り、温帶地方の民は、放逸なれば、生活する能はざると共に、勤勉なれば、その報酬あるが故に、理想よく發達し、百般の慾望自らその間に生じ、人文の進歩最も速かなり。

地球上の住民は、十五億以上ありて、その分布は、アジアに多く、太平洋に最も少なし、されど、面積と比較して、一方里の平均をとれば、人口の最も稠密なるはヨーロッパにして、アジアこれにつぐ、その比較は左の如し。

	人口(百万人)	一方里平均人口
アジア	八五〇人	三〇〇人
ヨーロッパ	三八〇人	五八五人
アフリカ	二〇〇人	一〇三人
北アメリカ	九八人	六七人
南アメリカ	三七人	三一人
太平洋	六人	一〇人

世界の住民は、皮膚容貌及び毛髪等の異同により、大別して左の五種とす。

(一)蒙古人種 (MONGOLIANS) 皮膚通常黄色を帯ぶるにより、又黄色人種と稱し、毛髪剛硬にして黒く、兩眼の位置斜めにして、頬骨隆し、多くはアジアの東部及び北部に住し、その數、五億一千萬



族ンアゲンイ

あり。

(二)コーカサス人種 (CAUCASIANS) 皮膚通常白色を呈せるに

より、又白哲人種と稱し、毛髪柔滑にして褐色を帯ぶ、多くはヨーロッパ西部アジア、南北アメリカ、濠洲大陸等に住し、その數、七億七千萬あり。

(三)アメリカ人種 (INDIANS) いはゆるインデアン族にして、皮膚通常赤褐色を帯

ぶるにより、又銅色人種と稱し、毛髪剛直にして黒色を呈し、顔廣く鼻隆し、大抵南北アメリカに住し、その數、二千三百萬あり。

(四) **アフリカ人種** (NEGRO) 皮膚通常黒色を帯ぶるにより、又**黒色人種**と稱し、毛髪卷縮し、鼻廣く唇厚し、主にアフリカに住み、また南北アメリカに分布し、その數、一億八千萬あり。

(五) **マライ人種** (MALAYAN) 皮膚通常褐色を呈せるにより、又**褐色人種**と稱し、外容は、蒙古人種と粗異同なきにより、或は黄色人種の中に含まれることあり、主にマライ群島・マライ半島地方・大洋洲に散布し、その數、三千萬あり。

地球上に行はるる言語は、その類多けれども、最も多數の人民に用ゐらるるは、**支那語** (CHINESE) にして、**サンスクリット語** (SANSKRIT) これにつ

ぎ、**イギリス語** (ENGLISH) **ロシア語** (RUSSIAN) **ドイツ語** (GERMAN) **スペイン語** (SPANISH) **フランス語** (FRENCH) 等これにつぐ、されど、イギリス語は一般商業社會に用ゐられ、フランス語は紳士社會及び外交事務に貴重せられ、ドイツ語は學者間に勢力を有す、スペインは嘗て南アメリカの大部を占有せしより、その言語は、今も猶該地方の勢力語たるを失はずして、約五千萬人に使用せらる。

世界に流布する宗教を分ちて、**多神教** (POLYTHEISM) 及び**單神教** (MONOTHEISM) の二とし、**多神教** には、**インド教** (HINDUISM) **佛教** (BUDDHISM) を始め、**野蠻未開の民人** に信奉せらるる**拜物教** **拜火教** 等これに屬し、**單神教** には、**ユダヤ教** (JUDAISM) **基督教** (CHRISTIANITY) の三種これに隸す、されど、最も多數の信者を有せるは、**佛教** **インド教** **基督教** **回教** にして、**佛教** は四億八千萬の信徒を有し、**基督教** これにつき、**舊教** **新教** 及び**ギリシヤ教** の三

派を合同して、四億以上の教徒あり、インド教及び回教また
(BRAHMINISM) (MOHAMMEDANISM)
 これにつき、共に二億の信徒を有せり。

邦國の政體を分ちて、君主民主の二政體とす。君主政體は、主權の皇帝又は王に屬する政治組織にして、またこれを立憲專制の二政體とし、立憲政體は、主權は君主の手に存すれども、憲法を制定し、人民をして政務に參與せしむるの制なり。專制政體は、君主親ら國の政治を獨裁し、人民に參政の權を與へざるの制なり。民主政體は、いはゆる共和政體にして、主權は人民に存し、大統領を選舉して、國民を代表せしむるの制なり。

世界に國を建つるもの、幾百を以て數ふれども、一國の獨立に必要な立法、司法、行政の三大權を完備せる邦國はヨ一

ロッパの諸國、アジアに於ける我が日本、及び南北アメリカの諸國にして、アジア、アフリカ、大洋洲の大部は、概ね他國に隸屬し、然らざれば、邦國の體裁を備へざる蠻族の集合たるに過ぎず。

他國に隸屬せる邦國には、國運發達の程度如何により、領地、殖民地もしくは保護地の名目あり。現時、列國の有せる領土、殖民地の最も廣大なるはイギリスにして、その分野は、世界の各地に散在して、廣さ全地球の五分の一に及び、人口は世界の四分の一、即ちヨーロッパ全部のと粗相同じく、イギリス國旗の飄る處、太陽終年地平線下に没せずとはイギリス人の常に誇稱する處とす。これにつげるはロシア、フランス、ドイツ、オランダにして、ロシアの領土は、本國と合して全地球

の七分の一以上に及び、人口また一億三千萬を保有し、フランスはその領土、本國に約二十倍し、ドイツは約五倍し、オランダの如きは、實に本國に六十五倍の面積を保有せり。現時、世界の列國中、國力の最も富強なるは北米合衆國にして、イギリス・フランス・ドイツ・オーストリア・イタリア等これにつぐ、いま、これ等の各國と我が國との國勢を比較すれば、左の如し、表中の人口は百萬人を、その他は、百萬圓を以て單位とす。

種別	國名	人口	國富	國債
日本	日本	38,000,000	11,500,000,000	2,500,000,000
北米合衆國	北米合衆國	76,000,000	16,000,000,000	5,000,000,000
イギリス	イギリス	42,000,000	9,000,000,000	3,000,000,000
フランス	フランス	36,000,000	8,000,000,000	1,100,000,000
ドイツ	ドイツ	68,000,000	12,000,000,000	1,350,000,000
ロシア	ロシア	150,000,000	5,000,000,000	1,600,000,000
オーストリア	オーストリア	52,000,000	6,500,000,000	3,500,000,000
イタリア	イタリア	32,000,000	3,000,000,000	2,000,000,000

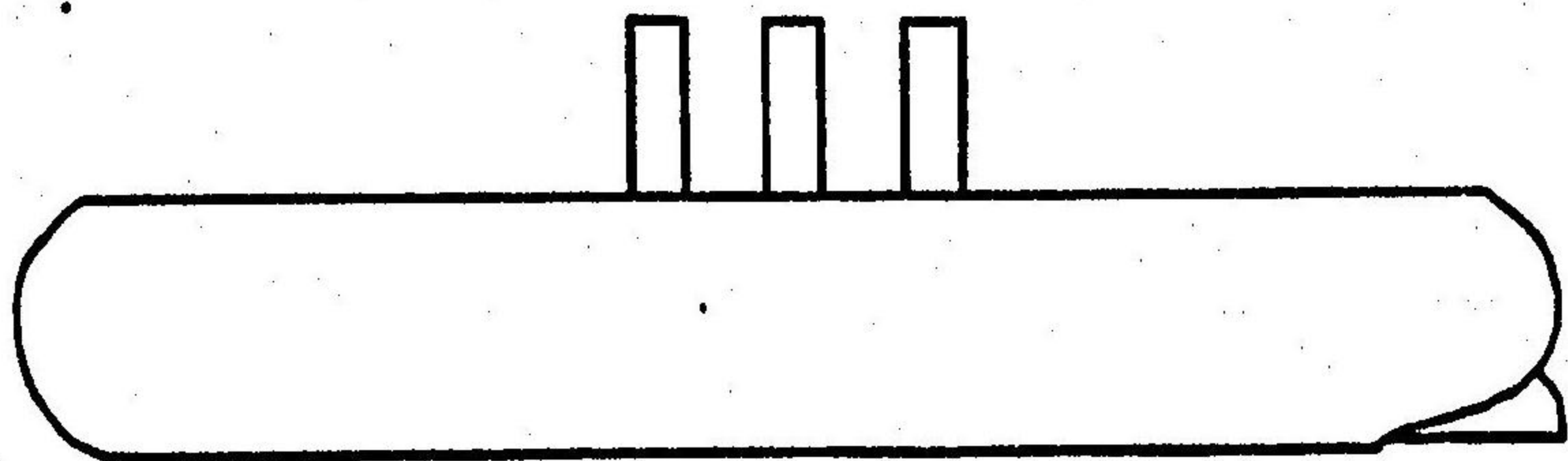
國力の富強とは、他なし、國民の勤勉にして、その産業に力を盡すの多少と、奢侈を戒めて餘資を蓄積するとに外ならず。我が國の如きは、産業は、漸次發達の域に向へるにも拘らず、國民の貯蓄力に乏しきは、實に遺憾の極みにして、明治三十一年の貯蓄預金を、同年現在の人口に割りあつれば、一人の平均金額僅に一圓内外にして、これを列國の貯蓄預金人頭別と比較すれば、左の如し。

國名	金額(單位)	國名	金額(單位)
デンマーク	一五二	スイス	一二七
北米合衆國	八九	ドイツ	七七
ノルウェイ	七二	ベルギー	六二
オーストリア	四九	スウェーデン	四九

フランス	四四	イギリス	四二
イタリア	二七	オランダ	二〇
ロシア	五	ホルトガル	四
スペイン	三	日本	一

軍備は、一國の獨立を保持する最大要具にして、海面に瀕せざる諸國は、専ら陸軍のみを組織すれども、その他は、大抵陸海軍を整備し、財力の許す限りは、年々巨額の資金を投じて、軍備を充實す。現時、世界の海軍中、最も優勢なるはイギリスにして、フランス・ロシア・北米合衆國・ドイツ・日本・イタリア等これにつぐ、いはゆる世界の七大海軍國にして、イタリアの如きは、老朽艦をも加算したる噸數に於ては、我が國の上位を占むれども、戰鬥力を有する船艦の噸數を計算すれば、實

スリギイ



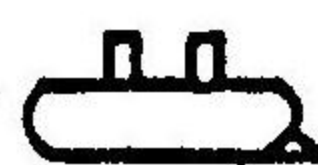
ツイド



本日



アリタイ



スンラフ



アシロ



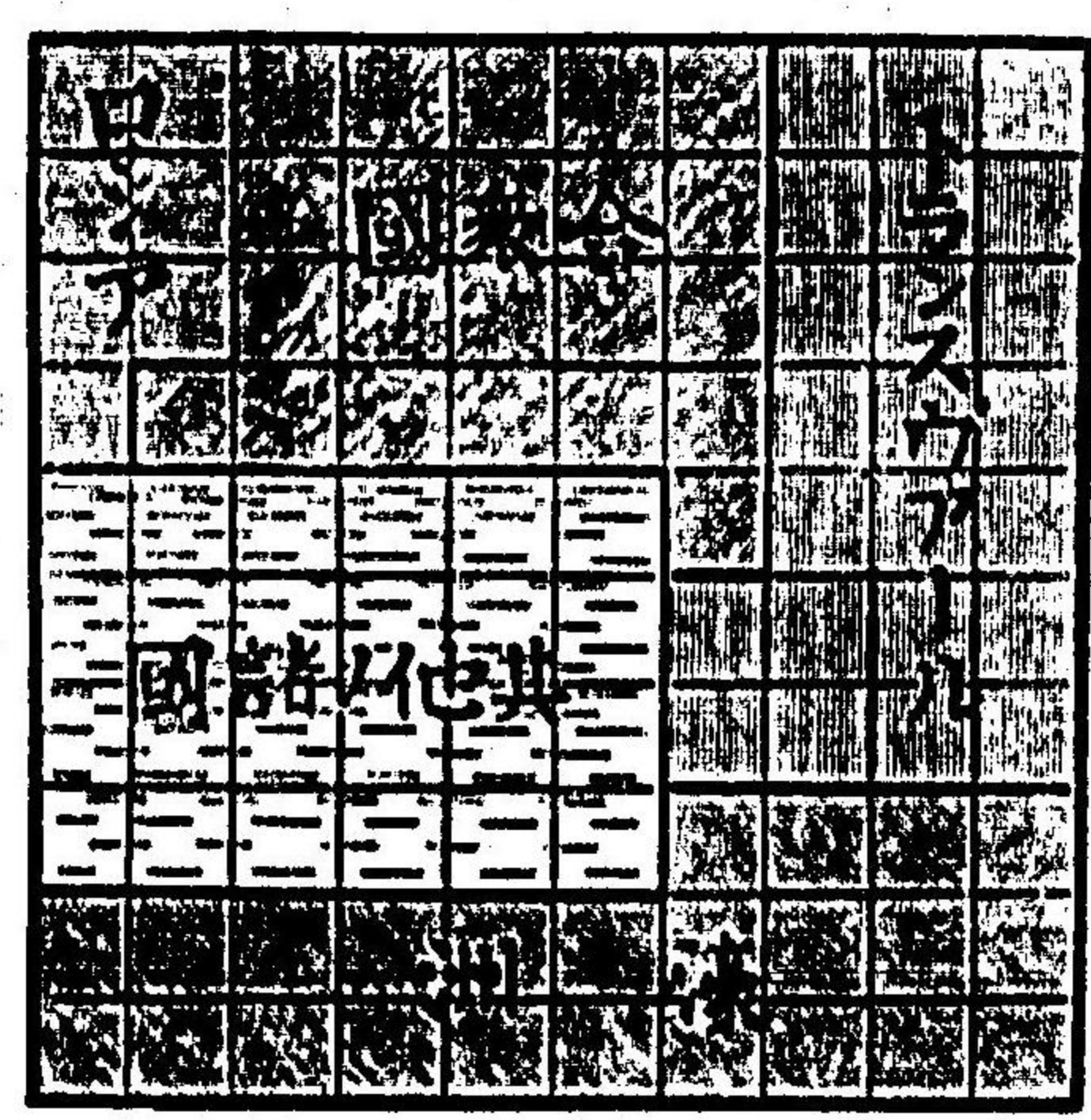
國衆合米北



七大海軍國船艦噸數の比較

に右の圖の如し、イタリヤの軍艦隊の長さを十四萬五千噸とす。
 陸軍は、ロシア・ドイツ・フランスの三國最も精銳を極め、ドイツの如きは、一旦緩急あらば、兵をとつて事に従ふもの三百萬、ロシア・フランスまた二百七十萬乃至二百五十萬あり、これにつぐをオーストリア・イタリヤとし、共に戦時に際すれば、二百萬の兵士を召集す。
 世界の市場に出づる貨物を分類せば、その根元は動物・植物及び鑛物の三種とす。
 動物類につき、最も主要なるは、羊毛及び生絲にして、羊毛の産出は濠洲大陸を第一とし、アルゼンチン・アフリカの南部地方及びヨーロッパ・アメリカの諸國これにつぐ、生絲は、支那・イタリヤ・フランス、及び我が國を始め、アジアの西部諸國と

ヨーロッパの南部地方とをその主産地とす。
 植物類につき最も主要なるは穀類及び綿にして、穀類の中、米・小麥・燕麥・玉蜀黍等は、人類の主食物として、世界の到る處に耕作せらる。綿は、北米合衆國・インド・エジプトを第一とし、支那・ブラジル・トルコ等そのつぎに位す。

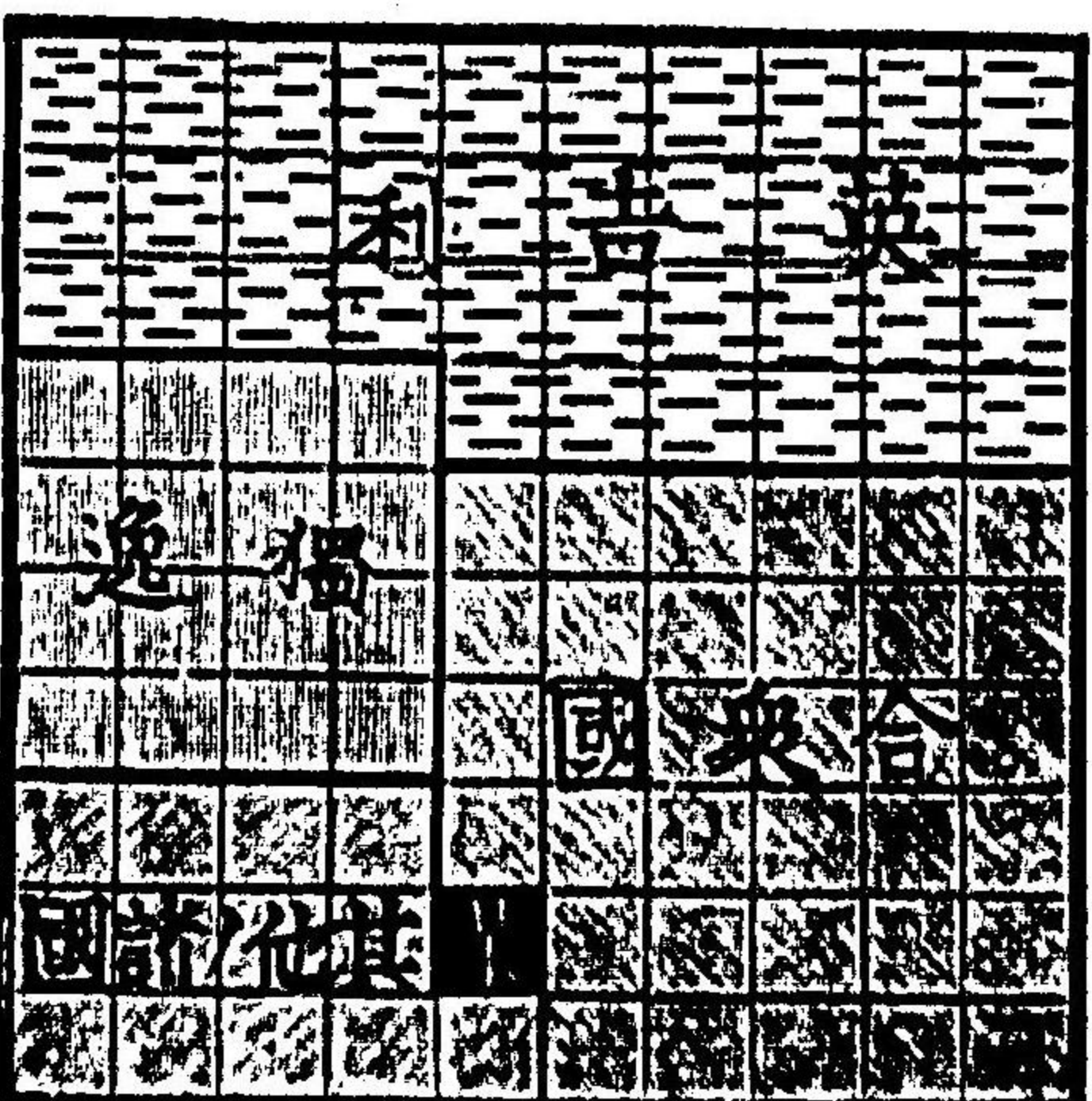


金の産額

鑛物類につき主要なるは、金・鐵・石炭等にして、金は、世界の年産額約十三萬貫目にして、濠洲大陸・フランス・ヴァール殖民地・北米合衆國・ロシアを主とし、鐵は、世界の年産額六千萬噸にして、北米合衆國・イギ



鐵の産額



石炭の産額

リス・ドイツより出づるもの最も多く、石炭は世界の年産額六億噸にして、イギリス・北米合衆國・ドイツを主産地とす。世界の列國中、貿易の最も盛大なるはイギリスにして、ドイツ・北米合衆國・フランスこれにつき、オランダ・ベルギー・オーストリア・ロシア・イタリア・スイス・スペイン及び我が國、また

その次に位す。これ等諸國の貿易年額の價格を示せば、左の如し。表中の單位を百萬圓とす。

輸出額	イギリス	ドイツ	北米合衆國	フランス	ベルギー	オランダ
六六六	三二〇	二六八	二六八	二〇三	一四一	一六六
輸入額	オーストリア	ロシア	イタリア	スイス	スペイン	日本
二六六	一七〇	一八二	一六二	一四一	一〇六	一〇六
輸出額	イギリス	ドイツ	北米合衆國	フランス	ベルギー	オランダ
六六六	三二〇	二六八	二六八	二〇三	一四一	一六六
輸入額	オーストリア	ロシア	イタリア	スイス	スペイン	日本
二六六	一七〇	一八二	一六二	一四一	一〇六	一〇六

世界の交通を分ちて、陸路及び水路とし、その主なる機關を船舶・鐵道・郵便・電信・電話等とす。陸路の交通につき、始めて貨物の運搬機關として、軌道を用

みしは、遠く數世紀前に由來し、當時は、木製或は木鐵並用の軌道を使用して、その動力は、専ら人畜に限られしが、十九世紀に至りて、蒸汽力を應用し、西曆千八百四年に至り、汽車を發明せり、これ實に現今のいはゆる鐵道の端緒を開きしものにして、これを公衆の交通用に運轉せしは、千八百二十五年、イギリスを以て嚆矢とす。

現時、世界に於ける鐵道の延長は、五十三萬哩に達し、その固定資本金は約八百億圓に及ぶ。世界の各大陸にて、鐵道の最大延長を有せるは、アメリカにして、全世界鐵道延長の過半を占め、これにつぐは、ヨーロッパにして、全世界の三割六分を有す。各列國につき、鐵道延長の最大なるは、北米合衆國を以て第一とし、ドイツ・ロシア・フランス・イギリス領インド・オ-

ストリア、ハンガリ、イギリス等これにつぐ、されど、國の面積と、鐵道延長との割合の最も大なるは、ベルギーにして、一方里に對し、平均二哩半の鐵道を有し、イギリス・ドイツ・スイス・オランダ・フランス等これにつぐ、世界主要國の鐵道延長を示せば、左の如し。

北米合衆國	二二〇,〇〇〇哩
ロシア	三三〇,〇〇〇哩
フランス	二九〇,〇〇〇哩
イギリス領インド	二五〇,〇〇〇哩
オーストリア、ハンガリ	二四〇,〇〇〇哩
イギリス	二三〇,〇〇〇哩
イギリス領カナダ	一九〇,〇〇〇哩

水路は、最も至便なる交通路にして往時は、櫓船帆船を用ひしより、終始風力を離るる能はざりしが、西暦千八百一年、始めて蒸汽力を航船に應用し、その後、數年を経て、現時のいはゆる汽船を發明せしより、世界の水路交通ここに一變し、千八百十九年に、汽船の始めて大西洋を航せしより、帆船の領域は、殆ど汽船の侵す所となり、殊にスーエズ運河の開けし以來、著しく世界の航路を短縮し、從來世界を周航するには、凡そ三年を要せしに、今は僅に二箇月餘を以て一週するに至れり。

いま、我が横濱を起點とし、水陸兩路を利用して、最も迅速に全世界を一週する通路を求むれば、

(一) スーエズ運河を経て、プリンゼンに

四十二日

(二) プリンゼンより、シブラルタル海峡を過ぎて、サウザンプ

トンに

四日

(三) サウザンプトンより、大西洋を横きりて、ニールホルタに

六日

(四) ニールホルタより、カナダ太平洋鐵道に出て、ヴァンクーヴ

ーに

五日

(五) ヴァンクーヴより、太平洋を航して横濱に

十三日

にして、約七十日の旅程を費すに過ぎず、されど、シベリア鐵道、東清鐵道を利用したる後は、旅程約四十五日にして、全世界を一週せらるべきなり。

現今、ヨーロッパより、信書を我が國に送致するには、ヴァンクーヴを経由するものは、三十七八日を要し、プリンゼンを経由するものは、日數約四十五日を要すれども、シベリア鐵道、東清鐵道を経由せば、僅に二十日間にして、遞送することを

得べし、陸路の交通、かくの如く輕易なると共に、水路もまた、ニカラトグ運河もしくはパナマ運河の開くるに際すれば、著しく船舶の航路を短縮すべく、現時、ロンドン・サン・フランシスコ間の航行は、南アメリカの南端を廻航せるを以て、航程一萬三千六百海里なれども、七千海里を減じ、ロンドン・ハワイ間は、同じく一萬二千三百海里なれども、五千六百海里を減じ、ニール、ホルク・サン、フランシスコ間は、一萬二千八百海里なれども、殆どその三分の一を要するに過ぎざるべきにより、これ等大工事の竣工するに至らば、世界の貿易に關係を及ぼすこと、極めて大ならむ。

世界の各國が有する汽船の總數は、約一萬三千艘、その噸數凡そ二千四百萬噸あり。そのうち、最も多數を占むるは、イギ

リスにして、我が國の如きは、第九位にあり。されど、一時海上の覇權を握りしホルトガルの如きは、今は、僅に汽船二十五艘、その噸數四萬五千噸に過ぎず。オランダ・オーストリア、ハンガリ、デンマルク・スウェーデン・ベルギーまた順次我が國の次に列せり。

	艘數	總登簿噸數百噸以上
イギリス	八一〇七	一二七四〇〇〇〇
ドイツ	二二九三	二四二〇〇〇〇
北米合衆國	一〇三六	一七〇〇〇〇〇
フランス	六七九	一〇七〇〇〇〇
ノルウイ	八五九	八一〇〇〇〇
スペイン	四六六	七三〇〇〇〇

イタリヤ	三三九	六六〇〇〇〇
ロシア	五二九	五三〇〇〇〇
日本	五一〇	五二〇〇〇〇
帆船の總數は、殆ど三萬艘、その噸數八百二十萬噸ありて、こ れまた、イギリスを以て第一とし、我が國はその第十一位を 占むること、左の如し。		
イギリス	七、一三四	二、九七〇、〇〇〇
北米合衆國	三、七二六	一、三九〇、〇〇〇
ノルウヰイ	二、〇〇二	八八〇、〇〇〇
ドイツ	九六六	五四〇、〇〇〇
イタリヤ	一、五五三	五一〇、〇〇〇
艘數	總登簿噸數五十噸以上	

ロシア	二、六九三	五〇〇、〇〇〇
フランス	二、四〇六	四〇〇、〇〇〇
スウェーデン	一、五四二	二九〇、〇〇〇
ギリシヤ	九二五	一八〇、〇〇〇
トルコ	九一六	一八〇、〇〇〇
日本	一、五〇二	一七〇、〇〇〇
これを既往に徴するに、帆船はその艘數噸數に於て、世界の 各國共に漸次減少すれども、汽船は、年々著しく増加の傾向 あり、今十年前の汽船の艘數噸數を示せば、左の如し。		
イギリス	六、八八一	九、二二〇、〇〇〇
ドイツ	八、四六	一〇、九〇〇、〇〇〇
艘數	噸數	

北米合衆國	四三一	五七〇〇〇
フランス	五三二	八三〇〇〇
ノルウヰイ	五一五	三四〇〇〇
スペイン	四〇九	四四〇〇〇
イタリヤ	二二七	三二〇〇〇
ロシア	二四九	二一〇〇〇
日本	二五〇	一四〇〇〇

これによつて、これを觀れば、我が國の如きは、既往十年間に於て、艘數は二倍以上に達し、噸數また殆ど四倍の増加を示せるを以て、海運の發達に於ては、もとより長足の進歩をなせるには相違なければ、宇内の列國と對峙して支那朝鮮シベリヤはもとより、南洋諸島及びインドに至るまでの海

權を爭ひ、進んで、南北アメリカの沿岸に航路を開かんとせば、猶現時の趨勢を以て甘んずべからざるなり。

電信を始めて實地に應用せしは、西曆千八百四十六年にして、海底線は、千八百五十六年、イギリス・フランス間に沈設せしに始まる。現時、電信の延長二百萬哩以上に達し、海底線の延長十五萬哩以上に及び、大西洋の如きは、アメリカ・ヨーロッパを接續する七線の海底線あり、印度洋もまた、先づ頃、濠洲大陸の西南端より、ロートリーグ島・モリシ、ス島を経て、アフリカのダルバン港に至る七千七百二十海里の海底線を沈設せり、もしそれ、太平洋の兩岸を接續する海底線にして、沈設せらるるに至らば、電信は、世界を一週するを以て、我が國よりアメリカにあつる通信は、ヨーロッパを迂回するに及

ばざるに至らん、現時、我が國より外國への電線は、長崎より、上海・サイゴン・シンガポール・マドラス・ポル・ペー・アデン・スーエズを経て、ヨーロッパに連絡せるもの、ポル・ペーより、ベルーチスタンの海岸に沿ひ、ペルシヤ灣に入り、アジフ、トルコを経て、ボスニア・ヘルツェゴヴィナを渡り、コンスタンチノープルに至りて、ヨーロッパ線に接するもの、長崎よりウラジオストクに通じ、シベリアを経て、ヨーロッパ線に接するもの及びシンガポールより、ジブツアを経て、濠洲大陸に達するものあり。

最新外國地理教科書下卷 終

明治三十五年十二月九日印刷
 明治三十五年十二月十二日發行

最新外國地理教科書上卷
 定價金四拾五錢



著者 岩崎重三
 著者 池田鹿之助
 發行者 内田淺
 印刷者 佐久間衡治
 印刷所 英舍

發行所

内田老鶴圃

東京市日本橋區大傳馬町二丁目十六番地

(電話 漢花一三三五番)

86
 2
 381

86
之
287

明治三十五年十二月九日印刷
明治三十五年十二月十二日發行

最新外國地理教科書下卷
定價金六拾錢

著作
權有
所

著者 岩崎重三

著者 池田鹿之助

發行者 內田淺

印刷者 佐久間衡治

印刷所 株式會社 秀英舍

發行所

東京市日本橋區大傳馬町三丁目十六番地

內田老鶴圃

(電話浪花一三三五番)

